# 世界史確認プリント 前編



### オリエント史

オ	<b>リエント</b> …エジプト・シリア・メソポタミア・シリア・小アジアを含む地域で別名肥 …大河の流域では穀物生産。他地域ではラクダや馬を利用する遊牧中心	沃な三日月
		の間の地域』の意
	文化 o <u>シュメール</u> が基・ <sub>3</sub> 文字・太陰暦・ <sub>4</sub> (聖塔)・ <u>60 進</u>	<u>ま</u> ・週7日制
	o <sub>5</sub> 伝説…シュメールのウルク王の冒険神話・「ノア <i>o</i>	
	<b>エジプト</b> …ナイル河流域 cf『 <b>エジプトはナイルの賜</b> 』 – <u>6</u>	の言葉
		<b>ポタミアに先行</b>
	└ 文化 o <u>神聖文字・<sub>7</sub> 暦・</u> ピラミッド・ミイラ・スフィンクス・ <u>測地</u> ?	<u>柜</u>
	o 『 <sub>8</sub> 』 死者の生前の証明書兼,オシリス神の支配する	冥界の案内書
	o <sub>9</sub> 文字→神官文字→民衆文字( <u>デモティック</u> )と簡略化,パヒ	ルスの使用
	<del></del>	
	<b>シリア</b> ··・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>j</b> でもある
-	- 	後はセム系活動
	エジプト文明の展開	
		+. 7
1	*-11	: なる。
モフ	→上エジプト (ナイル流域の中心部)・下エジプト (デルタ地域) に収斂	) が具知の妹・国宝
ス	*前 3000 頃伝説的な <sub>12</sub> (現人神としての王号) メネス (別名ナルメル	) が取例の机一国家
古	*前 27 C~前 22 Cの第 3~第 6 王朝期を言う。首都は <sub>13</sub>	ッド時代
呈		を造営
国	<b>クフ王</b> …近郊にカフラー王・メンカウラーのピラミッドや守護獣 <sub>15</sub>	
	*前 22 C~前 18 Cの第 11・第 12 王朝。首都はナイル中流域の <sub>16</sub>	
中	→テーベの守護神 <sub>-17</sub> が最高神の太陽神 <u><b>ラー</b></u> と同一視され, <sub>18</sub>	信仰
亩	*孤立していた古王国時代と異なり、シリア・クレタ島・紅海沿岸地域と交易	
		o III. ØTLÆL)
(	20 1127 20 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	8 世紀頃)
19		
新王	*前 1567 ~前 1085 の第 18 ~第 20 王朝期。首都は <sub>21</sub> 。ヒクソス追 *ミタンニ・ヒッタイトと抗争→前 13 C末から前 12 Cに活動した <b>海の民</b> の攻撃を受けて	
王国	位前 1504 ~前 1450   …第 18 王朝の王で、ヒクソスを追撃し、シリアに進出	(衣医
当	位前 1504~前 1450   お16 工事の工で、こととの工事で、シブケル連出   トトメス 3世   …ナイル川上流のヌビアも征服、豊富な金の産地	
		しみ夕
	位前 1379 ~前 1362 …アモン神に対し唯一神 22 の宗教改革。 23	
	25	天心
	位前 1354 ~前 1345 ···・テーベのアモン神官中心の復古派勝利し、アモン信仰復活 ツタンカーメン ···・1922 年にハワード = カーターがその墓を発掘。ファラオの呪い	
	- 11 - フラスス ロークス - 11111119777 3454 アンチャン・コーク ニカータ ニカビ ひをかませ カーカメンカ ケルエリ	<b>かん</b> タ.
	位前 1304 ~前 1237 ··· 第 19 王朝の王。ヒッタイトとカデシュの戦い。現存する最古の →ヒッタイトと和平を結び、シリアを分割支配	

 1. ティグリス
 2. ユーフラテス
 3. 楔形
 4. ジッグラト
 5. ギルガメシュ
 6. ヘロドトス
 7. 太陽
 8. 死者の書
 9. 神聖
 10. 海の民

 11. ノモス
 12. ファラオ
 13. メンフィス
 14. ピラミッド
 15. スフィンクス
 16. テーベ
 17. アモン
 18. アモン = ラー
 19. ヒクソス

 20. セム
 21. テーベ
 22. アトン
 23. イクナートン
 24. アマルナ
 25. アメンホテプ4世
 26. ラメス (ラムセス)
 2世

メソポタミア文明発生 シュメール人建設。アッカド・アムルのセム系民族進出し抗争
…前 18 世紀 <sub>10</sub> …前 18 世紀 <sub>10</sub> がメソポタミア統一。同害 <b>復讐法・身分法</b> の法典編纂
→ <b>印欧系民族活動</b> → インド・ヨーロッパ系侵入。前 15 C 前 13 Cエジプト新王国と抗争
前 1650 頃~前 1190   …戦車を用い,小アジアに建国。都ボアズキョイ→前 16 世紀初め <b>古バビロニア</b> を滅
<u>□ 武器</u> 使用→エジプト新王国と抗争→ <b>海の民</b> に滅亡
前 16 C~前 12 C頃   …ザグロス山中より両河地方 <b>南部</b> に侵入の民族
▼ <u>地中海東岸三民族</u> 海の民の侵入でヒッタイトと新王国の勢力後退し、活動活発化
前 12 C~前 2 C … <b>セム系</b> 。現レバノン付近に拠点。エーゲ文明の滅亡後 <b>地中海交易</b> に進出
<u>では</u>
16
18   18   18   18   18   18   18   18
18   18   18   18   18   18   18   18
1000 頃 * 11 322
─o 前 13 C : <sub>22</sub>
──o 前 922 : 29 <u>■</u> …北部で都サマリア・前 722 年 30のサルゴン 2 世に滅
: <u>31 王国</u> …南部で都 <sub>27</sub>
→ ○前 586 : 33
▼
アッシリアの統一 一強制移住政策など過酷な支配で諸民族反抗し、短期に崩壊
前 20 C~前 612 … <b>セム系</b> 。ティグリス上流拠点。ミタンニより自立→騎兵導入→前 8 C サルゴン 2 世発展 …前 671 年エジプト征服しオリエント統一→前 612 年メディア・カルデアに滅
Ψ L
▼
四王国の分立
前7 C~前 546
<u>121                                  </u>
前8 C末~前550 … <b>インド・ヨーロッパ系</b> イラン人の国。イラン高原支配。都エクバタナ
前 625 ~前 538   … <b>セム系</b> <sub>39</sub>
→ 10 023 * 11 336 * 12 33
**       31       上目がわると、33       33         1.シュメール 2. ウル 3. ウルク 4. アッカド 5. セム 6. サルゴン1世 7. 古バビロニア 8. セム 9. アムル 10. ハンムラビ
11. ヒッタイト 12. 鉄製 13. ミタンニ 14. カッシート 15. フェニキア 16. シドン 17. ティルス 18. アラム 19. ダマスクス
20. ヘブライ 21. カナーン22. 出エジプト23. モーセ24. ヤーヴェ25. 選民26. ダヴィデ27. イェルサレム28. ソロモン29. イスラエル30. アッシリア31. ユダ32. 新バビロニア33. バビロン34. メシア35. ニネヴェ36. リディア37. 貴金属38. メディア

3

39. カルデア 40. ネブカドネザル 2 世

前 550 \*イラン西南部のペルシア(ファールス or パールス)地方を支配し、当初はメディアに臣従 **位前 559 ~前 529** <sup>⋯</sup>2\_\_\_\_\_\_より自立し、これを滅ぼしてアケメネス朝建国。都 3\_\_\_\_ ケメネス朝 → <sub>4</sub>\_\_\_\_\_\_も滅。<sub>5</sub>\_\_\_\_\_\_を征服してユダヤ人を解放 **位前 529 ~前 522** ...アケメネス朝二代の王。前 525 年 <sub>6</sub>\_\_\_\_\_\_を滅ぼしてオリエント統一 カンビセス2世 |…ペルシア戦争ではマラトンの戦いに敗北。黒海北岸の遊牧民スキタイと抗争 \_\_\_\_\_\_…王が任命する州の長官。徴税と治安維持を任務 \_····王直属の監察官で州を巡察して王に報告 財政政策…金貨・銀貨鋳造し税制確立 <u>- 通商政策</u>…<sub>14</sub> \_\_\_\_\_\_\_(<u>スサ–サルデス</u>間)と <sub>15</sub> \_\_\_\_\_\_<u>制</u>整備。フェニキア人の地中海交易保護 |服属民族統治政策|-風俗を尊重し自治を認め、穏和な統治を行う→アッシリアとの違い **位前 485 ~前 465** ──ダレイオス 1 世の子で自らギリシア大遠征軍を率いる →サラミスの海戦敗北後帰国。残留軍はプラタイアの戦いで敗北 **位前 336 ~前 330** …アケメネス朝最後の君主。サトラップの反乱続発に苦しむ …**アレクサンドロス**に敗北。前 330 年暗殺され,アケメネス朝滅亡 \*オリエントの文字 神聖文字 |...<sub>18</sub>\_\_\_\_\_。神殿・墓などに刻まれる \_\_\_\_\_で<u>シャンポリオン</u>解読 ─o **神官文字**(ヒエラティック)…簡略書体で公文書(cf<sub>20</sub>\_\_\_\_ −o **民衆文字**(デモティック)…最も簡略化 アラム文字 \*ロゼッタストーンの書体は、ギリシア文字、神聖文字、民衆文字 ・21\_\_\_\_\_に記述・ペルセポリス碑文でグローテフェント 楔形文字 ··ベヒストゥーン碑文で<sub>22</sub>\_\_\_\_\_解読 キリル文字 カナーン文字

1. キュロス 2世 2. メディア 3. スサ 4. リディア 5. 新バビロニア 6. エジプト 7. ダレイオス 1世 8. インダス 9. エーゲ 10. ペルセポリス 11. サトラップ 12. 王の目 13. 王の耳 14. 王の道 15. 駅伝 16. クセルクセス 17. ダレイオス 3世 18. ヒエログリフ 19. ロゼッタストーン 20. パピルス 21. 粘土板 22. ローリンソン

世界史確認プリント: 前編

エーゲ文明				
	30 C 頃発生した史上最初の海洋			
* 1?	毎を中心としたクレタ・トロイア	?・ミケーネの各立	文明で <sub>2</sub>	<b>器</b> 文明
	<b>月</b> …前 20 C頃 - 前 15 C頃に東坎	<b>业中海贸易公额</b> 党		
1   3 <del></del>	月 …前 20 0 頃 - 前 15 0 頃に東京		7	文明
_			24///	
発見o <sub>5</sub>	- ···大宮殿の迷宮( <sub><u>6</u> - ···平和・開放的性格,写実的・</sub>		月名   郵回 0 <u>7</u> 美術   発見 0 <b>8</b>	
			美術    <sup>70,70</sup> 8	
	』…絵文字・線文字A使用も未角			
V   10 Cキリシア糸 <b>ノ</b>	<b>アカイア人</b> 南下。前 13 Cにはク		₩	
文明				
	···クレタ文明の影響・ <sub>10</sub>			
都市 0 9	…巨石を使った城塞と円頂墓建	設	*ミケーネのギリシ	ア人の勝利
ひアイリン人 祭日 0	… <u>線文字B</u> 使用→英人 <sub>11</sub>	解	→シュリーマンの発」 	見の背景
8	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·備( <sub>12</sub>	王政)↑	
	ー かなどで,ミケーネ文明滅亡・ギ			
<del></del>		<u>14</u>		<b>2001</b>
前12 C頃~前8 Cポリ	ス形成までの時代で、文字は未依	吏用。鉄製農具使用	用で生産性は向上	
<u> </u>	<u>オリス</u> 人・ <u>イオニア</u> 人・ <u>ドーリフ</u>	<b>ア</b> 人に分化し,北7	から順に小アジア沿岸	<b>岸へも移動</b>
	) [前 750 年頃] …貴族指導			
<b>→ 前8C</b> ··· 城壁	外の農地も含む, <sub>17</sub>	には神殿	と・自由民にクレーロ	ス(持ち分地)分配
┃ポリス成立 ┃ <sub>ァイ:</sub>	<u>オリス人</u> はテーベ・ <sub>18</sub>	 <b>人</b> はアテネ	・ <b>ドーリア人</b> はスパ	ルタが代表的ポリス
- <u>前8世紀</u> <sub>19</sub>	建設点人口増による耕地	 也不足や政争の敗	者など建設し、交易	活動の窓口の役割
	(現マルセイユ)			
	レントゥム		_	
		o がはハロ <u>22</u> o シチリア東岸		
	₃──── ト進出で異民族と接触し,共通す			
	ス・自称 <u>ヘレネス</u> ・異民族の蔑			- バリマンの話順
₩休问鈕…仲殿	を共有するポリスの同盟← <u>25</u> の祭典…ゼウスを祭	カトル 益壮会を	<u>////オイ/ の作品</u> … . ひみてみる	・)かロンの作品
V 0 <u>26</u> ————	の宗典…とリスを宗	仲とし、脱汉云な	2 n L 4 )	
奴隷制の社会				
*被征服民や戦争捕虜の奴隷化が一般的,債務奴隷(市民が借財のため転落)は,ソロンの改革で禁止				
*家内奴隷、労働奴隷(中小農民の市民が、城壁外の私有地で農耕に使役)が一般的				
* 27(ヘロット) (スパルタの国有奴隷) は、中世ヨーロッパの農奴に近い存在 *アテネは家内奴隷中心(全人口の1/3) も、ラウレイオン銀山の採掘などにも使用				
*アテネは家内奴隷中心	(全人口の 1 / 3) も,ラウレイ> ——————	オン銀山の採掘な 	どにも使用 <del></del>	
スパルタの特徴				
*ペロポネソス半島ラコニ	ニア地方, <sub>14</sub> 人	の征服型ポリス→	征服地を公平に分配	し市民の平等実現
* (完全) 市民が <sub>28</sub>	(劣格市民,商 法で完全市民の特権	工業)と <sub>27</sub>	(隷属]	民,農耕)を支配
				事国家体制を構築
市民団の結束維持のため,貨幣の使用禁止・他国との自由な往来を禁じる鎖国政策				

1. エーゲ2. 青銅器3. クレタ4. クノッソス5. エヴァンズ6. ラビリントス7. トロイア(トロヤ)8. シュリーマン9. ミケーネ10. アカイア11. ヴェントリス12. 貢納13. イーリアス14. ドーリア15. シノイキスモス16. アゴラ17. アクロポリス18. イオニア19. 植民市20. マッサリア21. ネアポリス22. ビザンティオン23. ミレトス24. バルバロイ25. デルフィ26. オリンピア(オリュンピア)27. ヘイロータイ28. ペリオイコイ29. リュクルゴス

### アテネの特徴

26. デマゴーゴス 27. テーベ

	*オリーブ・ブドウ生産し、陶器製造盛ん→黒海方面の穀物(スキタイ人が支配)と交易
貴	_* <u>貴族</u> 政 集住( <sub>1</sub> )を貴族指導=貴族がポリス防衛を担当→貴族の参政権独占
族	→ _前7世紀 <b>商工業発達</b> して <b>貨幣経済</b> 普及→ <b>富裕平民</b> は <b>武具自弁</b> し軍に参加
政	市民軍の主力は平民も参加する重装歩兵←ファランクス(長槍密集隊形)戦術で
	実力を増した平民は <b>参政権</b> 要求・貨幣経済普及による貧富の格差拡大も混乱に拍車
	*前 632 キュロンのクーデタ…僭主になろうとして失敗
504	*前 621 <sub>2</sub> の立法… <b>最初の<u>成文法</u>で</b> 貴族の法独占を破り,改革への一歩
前 594	前 640 頃~前 560 頃・・・ <u>負債の帳消し</u> とアテネ市民の <u>債務奴隷化防止</u> (身体を抵当にした借金の禁止)
り 一 二 二 二 二	
財産政	but 下層市民の不満増大・貴族も反発→ソロンの引退→貴族と無産市民の対立激化
前 561	・
僭主政	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
王	but 息子のヒッピアス暴君化 $\rightarrow_6$ = テュランノス tyrannos は英語の tyrant = 暴君の語源
前 508	·
	<b>前6世紀末頃</b>   … <sub>8</sub>
民主	
政	原因… <sub>9</sub> 中心の <u>イオニア</u> 植民都市の反乱→アテネとその同盟市が支援
の	<b>前 500- 前 449</b>   結果…ペルシアの第三次遠征軍をアテネ・スパルタ中心に撃破し勝利   ペルシア戦争
基	意義…オリエントの専制政治に対してポリスの自由と独立を守る
礎	- 前 490: <sub>10</sub>
	— 前 480:テルモピュレーの戦い… <sub>12</sub> <u>王</u> 親征の遠征軍にレオニダス指揮のスパルタ軍全滅
	- 前 480: <sub>-13</sub>
	→ <sub>15</sub> がこぎ手となり、軍に参加して発言権増大→直接民主制の完成へ
	└ 前 479: <sub>16</sub>
	(17) <b>同盟</b> …ペルシアの再来に備え, <sub>18</sub> <b>盟主</b> に結成。軍資金か軍艦を拠出
前 443	…デロス島に同盟金庫→アテネが資金流用し繁栄・前5世紀中頃にはアテネ独裁体制
古	<b>前 495 頃 - 前 429</b> … <sub>20</sub> に選ばれ,アテネの全盛期( <sub>19</sub> <u>時代</u> [前 443- 前 429])を現出
直接	… <sub>21</sub>
民	直接民主政完成 6 18 歳以上の <b>成年男子市民</b> 全員参加資格の <sub>23</sub>
主	o <b>24 制</b> に立脚し, <b>女性・在留外国人</b> (メトイコイ)に参政権なし
政	o <u>将軍</u> 職以外の役人は抽選,任期一年・日当の支払,民衆裁判所の <u>陪審員</u> も抽選
	○ 市民権所有者は、両親ともアテネ市民の者に限定(ローマとの相違)
前 429	前 431-前 <del>404</del>
衆	
愚	* <b>衆愚政…扇動政治家(<sub>26</sub></b>
政	→戦争終結後, デロス同盟解体も, アテネ自体は復興し繁栄を回復
	→ポリス社会はペルシアの煽動で戦乱が続く→中小農民の没落で傭兵使用流行→市民皆兵の原則崩壊
	* 27がレウクトラの戦い(エパメイノンダス指導)でスパルタに勝利し一時覇権
1.シル	<del> </del>
	T
18. アテ	- ネ 19. ペリクレス 20. 将軍 21. パルテノン 22. フィディアス 23. 民会 24. 奴隷 25. ペロポネソス

#### ヘレニズム

'	マケドニア台頭	…ヘラス北方のギリシア系の国で都ペラ。 <sub>1</sub>	
	· • · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	…アテネで親マケドニアのイソクラテスと反マケドニアのデモステネ	ス対立
		- <b>の戦い</b> (前 338)勝利, <b>コリント同盟</b> 結成(	スパルタ不参加)
ア	レクサンドロス帝国	(3世) 建国。都バビロン・オ	リエント風専制政治
Ļ		各地にギリシア風都市( <u>アレクサンドリア</u> )建設 , 共通語の <sub>4</sub>	普及
	前 334-324	√…ペラ出発→シリア・エジプト征服→ペルシア征服→ソグディアナ行	正服
	東方遠征	<i>】</i> →カイバル峠より <u>インダス</u> 流域侵入→インド諸侯連合軍と交戦後,	東進を断念し帰国
		ジア東部の <sub>5</sub> <b>の戦い</b> で <u>ダレイオス3世</u> に勝利	
		ポタミアの <sub>6</sub> <b>(ガウガメラ)の戦い</b> → <b>アケメネス</b> 朝の	
	-(7 単	<del>浄</del> …部下の将軍達が後継者( <sub>z</sub> )を称して戦う	
		→前 301 年イプソスの戦いで決定的に分裂	
<b>→</b>	前 304- 前 30		
	8		
	前 306- 前 168	一…マケドニアの王朝・ディアドコイ戦争で一時有力もイプソスの戦	いで敗北
	11	第二次ポエニ戦争でカルタゴに味方→ <b>ローマ</b> に滅ぼされる 	
	前 312- 前 63		ギリシア風都市建設
	12	のポンペイウスに滅ぼされる	
	→0 <u>14</u>	(前 255- 前 139) …中央アジア西部・ <sub>-15</sub>	<u>系</u> ・都 <u>バクトラ</u>
		(前 248- 後 226) …イラン・ <u>イラン系</u> ・都 <sub>17</sub>	
		7 241- 前 133) …小アジアの都市国家・大図書館と羊皮紙の発明で有名	
	▶ 0 ハスモン朝(則	i 140- 前 63)…ユダヤ教禁止に対し,マカベア戦争で独立したユダヤ 	人国家
	イラン世界		
前 24	8 <b>游牧</b> イラン人がカ	スピ海南東に建国。初期の都ヘカトンピロス→前1世紀中頃以降 <sub>17</sub> —	
パ		司期で <b>絹の道</b> の交易で繁栄。前 1 世紀中頃以降 <b>ローマ</b> と抗争(クラッ)	
ルテ			
1	19	… <u><b>セレウコス</b></u> 朝より独立。彼の名よりパルティアの中国名を <sub>20</sub>	
ア	<b>位前 171- 前 138</b>     ミトリダテス 1 世	…最盛期の王でイラン西南部併合しメソポタミア進出	
<u></u>	6	耶 <u>ペルセポリス</u> 付近から建国。都 <sub>17</sub> (ティグリスJ	山海七岸
++		毎 <u>  <b>ハルヒボラス</b>  </u>	
サエ	位 226-241		
サ	アルデシール 1 世	・・ハルティアを滅ぼして建国。始祖ササンの孫	
ン	位 241-272	2代皇帝でササン朝の基礎を確立	
朝	21	─西−シリア進出しローマと抗争して軍人皇帝 <sub>22</sub> ─東−西北インドの <sub>23</sub> <u>朝</u> を圧迫し服属させる	
			3 7#-III
	位 531-572	6世紀中頃の帝国最盛期を現出→突厥を介し中国と交易・インド洋に - 西-東ローマ と抗争しシリア進出→イエ	
	24	一西-東ローマ <sub>25</sub> と抗争しシリア進出→イエ 「東- <sub>26</sub> を <sub>27</sub> とむすび挟撃	して滅ぼす
651	年 642年の <sub>28</sub>	で新興 <i>アラブ人イスラーム教徒</i> に敗北。651 年	

1. フィリッポス 2世2. カイロネイア3. アレクサンドロス4. コイネー5. イッソス6. アルベラ7. ディアドコイ8. プトレマイオス朝9. アレクサンドリア10. ムセイオン11. アンティゴノス朝12. セレウコス朝13. アンティオキア14. バクトリア15. ギリシア16. パルティア17. クテシフォン18. 漢19. アルサケス20. 安息21. シャープール1世22. ウァレリアヌス23. クシャーナ24. ホスロー1世25. ユスティニアヌス26. エフタル27. 突厥28. ニハーヴァンドの戦い

### 共和政ローマ

\(\(\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc	六仙城口 (		
前8 C <b>王</b>	▽ │ * <u>イタリア人</u> の一派 <sub>1</sub> <u>人</u>	がティベル河畔に建国(トロイアのア	'エネイスを祖 cf. ヴェルギリウス)
	_		
前 509			
共		- 期一年の最高行政官→非常時に一名独	
和	-	高官経験者 300 名(当初)の終身詞	_
政   前			
期	聖山事件[前 494]…8	として実力を増した平民が貴族	<b>実に反抗した事件</b>
	_	 民に不利な元老院やコンスルの決定 <sup>。</sup>	
身分闘	[前 47	[2] …平民のみの立法機関で議長は護	民官(護民官も平民会で選出)
厨   争	前 450 頃 …ローマ最古	の成文法でギリシア法にもとづき、十	<b>一二枚の板に公示</b>
ě   半	II I	占を打破,貴族と平民の通婚は禁止	
半島		<b>有を制限</b> し,平民の負債を軽減	
統		の一人は平民→ <sub>13</sub>	(新貴族) 成立の契機に
期			
		議が元老院の承認をへずに国法	
		独裁官にちなむ。貴族と平民の法的平	等達成し, 身分闘争元成
	→ but 新貴族 (ノビレス) が政治(		
前 272	。	<b>街道</b> など軍道も整備	
共		ア人都市タレントゥムを征服し統一会	· <del>-</del>
和	16————————————————————————————————————	市を植民市・自由市・同盟市などに分	
政	前 264-前 146西地中海の覇権を	かけた <b>フェニキア</b> 人の <sub>18</sub>	( <u>ティルス</u> 植民市)との戦争
後		<u> </u>	
期		<b>島</b> での勢力争いが発端	
対	…ローマ勝利し、19-	<b>島</b> を最初の <sub>20</sub>	
外		·タゴ=ノヴァで <sub>21</sub>	
発展	/…アルブス越えでイタ	ソフア侵入もローマ勝利してイベリアキ 	
		[前 216] <u>ハンニバル</u> がイタリア東南	
と社会		前202] <u>大スキピオ</u> がカルタゴ郊外て	
0	一 第二次	失ったカルタゴの奇跡の経済復興にロ	
変質	<u> </u>	ゴを破壊→同時期にギリシア・ <sub>24</sub>	
期		を <u>25</u> としイタリア中心に	<del>_</del>
		穀物流入→戦争で疲弊した中小農民没	
		)が徴税請負で台頭→ " <u>27</u> ————	
	問題 政治の混乱と,重	<b>装歩兵市民軍の解体による軍事力の</b> 弱	体化
		活で大土地占有を制限し、自作農に。	
		<u>護民官</u> として改革→ <u>元老院</u> による <sub>29</sub> -	
	*党争… <u>平民派 <sub>30</sub></u>	(ユグルタ戦争勝利・職業軍人制導入)	v s <b>閥族派</b> <sub>31</sub>
	* 反乱 o <u>シチリア島奴隷反乱</u> …最初の原		
		<b>浄</b> …→ <sub>31</sub> 鎮圧し独裁官	
	=	<b>の乱 剣奴</b> など奴隷の大反乱	
<ol> <li>ラテン</li> <li>十二素</li> </ol>	<ul><li>2. エトルリア 3. パトリキ 4. プレブス</li><li>表法 12. リキニウス・セクスティウス法 13</li></ul>	5. コンスル   6. ディクタトル   7. 元老院 / ビレス   14. ホルテンシウス法   15. アッピ	
	タゴ 19. シチリア 20. 属州 21. ハンニバル		

### 帝政ローマ

	前 60- 前 53 ・・・・無産市民を私兵とした有力者が反乱鎮圧や征服で功績を競い、政治力を増大
三	<b>第一回</b> , 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
頭	├─O <sub>2</sub> ────────────────────────────────────
政	- o <sub>3</sub> - · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
治	└o <u>5</u> 担当→征服してケルト人平定
	<ul><li>n カエサルが元老院と結んだポンペイウスに勝利し、インペラトールの称号→終身独裁官へ</li></ul>
	$\circ$ 属州政治の改革や貧民救済・エジプトでクレオパトラの即位助け, $_{\overline{I}}$
	o 元老院で <sub>8</sub>
	前 43- 前 31 …カエサル暗殺後、カエサル系の将軍が共和派に対抗し、元老院の承認を得て結成
	<b>第二回</b>
	o <sub>9</sub> カエサルの部下で早期に失脚し引退
	12
前27	前 27 ···オクタウィアヌスが元老院より <sub>15</sub>
帝	14
政前	*最初の 200 年がローマ最盛期 <sub>17</sub> (ローマの平和) も 3 世紀は危機の時代
期	96-180 …五人の優れた皇帝が続出した時代・属州のローマ風都市発展,季節風貿易
元	□ <b>五賢帝時代</b> …イタリアの相対的地位低下と奴隷流入の減少→ラティフンディアの衰退
首	<u> </u>
政	18
	19
	20
	<u>21</u>
	23       23       10       <
284	<b>軍人皇帝時代</b>
帝	<b>一                                   </b>
政	〜 204
政後	
期	<b>位 284-305</b> ···帝国の混乱収拾・東西の正帝, 副帝が統治を分担する <u>四帝分治</u> (テトラルキア)
専	<b>26</b>   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
制	<b>位 324-337</b> …313 年 <u>ミラノ勅令</u> でキリスト教公認し,325 年 <u>ニケーア公会議</u> 開催
君主	27と改称
上 政	社会政策  …ソリドゥス金貨を創設し地中海交易を振興・官僚制度を整備し、職業の固定化
以	<b>位 379-395</b> …ゲルマン民族の侵入に対応する一方 <b>キリスト教国教化</b>
	29 …395 年の死後,帝国は東西に分裂
	ローマ帝国東半の復興と西半の衰退
	o 3 C の危機…軍人皇帝時代の戦乱と貨幣改悪→帝国内の交易に打撃→ <sub>30</sub> 制へ
	o 4 C 帝国東半の復興…東方世界との交易(インドでグプタ朝台頭)盛ん、金貨の安定
	帝国西半の衰退…都市への重税で都市の富裕者は郊外のヴィラへ逃れ、コロナートゥス経営
	o ゲルマン人大移動…西ゴートのローマ略奪(410 年)・476 年 <sub>31</sub> に西ローマ帝国滅亡
1. 三頭西	L

10. アントニウス 11. クレオパトラ 12. オクタウィアヌス 13. アクティウム 14. プリンキパトゥス 15. アウグストゥス 16. プリンケプス 17. パクスロマーナ 18. ネルウァ 19. トラヤヌス 20. ハドリアヌス 21. アントニヌス・ピウス 22. マルクス・アウレリウス・アントニヌス 23. ストア 24. ササン 25. ドミナートゥス 26. ディオクレティアヌス 27. コンスタンティヌス 28. コンスタンティノープル 9

### キリスト教の成立と発展

28. カルケドン

干!	リスト教の成立と発展				
誕	*属州ユダヤでは, <sub>1</sub> 人(戒律主義)とサドカイ人(祭司・親ローマの上層)が支配層				
生	前4頃後30頃 …北部ガリラヤ地方のナザレに出現し祭司などユダヤ人支配層を批判				
	<b>イエス・キリスト</b> … <sub>1</sub> <u>人</u> の <u>戒律主義・選民思想</u> 批判。 <u>隣人愛</u> を説き,最後の審判を約束				
	*ローマ総督ピラトゥによる十字架刑→復活信仰→人類救済のための贖罪の死としてキリスト教成立				
迫	イエスを <sub>2</sub> (メシア・救世主)と信じる者は救済(新約)→階級・民族を越える普遍宗教				
害	* <sub>3</sub> (第一の使徒・初代教皇)・ <sub>4</sub> (死後・異邦人の使徒・贖罪信仰確立) ら伝道				
	*国家祭祀や <b>皇帝崇拝</b> を拒否→無神論者として迫害→ <sub>5</sub> (地下墓地)で信仰維持				
	o <sub>6</sub>				
	- o <sub>7</sub> <b>帝</b> 4C初めに大迫害				
	- *各地に信者の共同体( <u>教会</u> )結成,社会的弱者や貧困者の救済を相互扶助で行う				
	* 1~2 Cのローマの平和期に、奴隷や下層民衆へ→3 C以降社会不安背景に上層市民へも普及				
1	<b>位 324 337</b> … <u>313</u> 年 <b>, 勅令</b> でキリスト教公認, 神寵帝理念で帝権の神聖化				
マ	8 <u>公会議</u> で <u>アリウス派</u> を異端→ <u>ゲルマン人</u> に布教				
国教	* 11				
化	<b>位 379 395</b> …380 年合同信仰令で帝国全人民にキリスト教の信仰を命じる				
	12   ···392 年 <b>アタナシウス派</b> 以外の信仰を禁じ <b>国教</b> →翌年オリンピック停止				
新約	*新約聖書が正経典(397 年)… 2 - 4 世紀にコイネーのギリシア語で成立,新しい契約の意				
	o <sub>13</sub> <b>書</b> …マタイ・マルコ・ルカ・ヨハネによるイエスの言行の記録で2世紀末頃には成立				
聖書成立	o 使徒行伝…ペテロやパウロの伝道の記録				
並	<b>立</b>				
拟	o 黙示録…ヨハネによる終末と最後の審判の暗示の書				
教義	* <sub>14</sub> の活動…ギリシア哲学など導入し、キリスト教の教義を確立				
の確					
뿔	では、				
	o ヒエロニムス (4 ~ 5 C 初)…聖書のラテン語訳(ウルガタ)→西方教会はラテン語使用				
	o <sub>15</sub> (4~5 C) …北アフリカの司教, 教父最大の思想家で, 教父哲学確立				
	・『 <sub>16</sub>				
	・『告白』…青年時代にマニ教の信徒→キリスト教に改宗				
	* <b>公会議</b> による教義の決定				
	o 431 年: <sub>17</sub> <b>公会議</b> … <u>ネストリウス派</u> を異端→ササン朝で保護。 <b>景教</b> として東方伝播				
	o 451 年: <sub>18</sub> <b>公会議</b> …レオ1世活躍。ネストリウス派・ <b>単性論</b> を異端				
	・リスト教の分裂 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	<del>- 325 · ···</del> ・··イエスの <sub>20</sub> <b>性を強調</b> する一派				
	<b>派 ···<sub>21</sub> 公会議</b> で異端→ローマ領域外で <b>ゲルマン人</b> に布教				
19	325 ···イエスに人性と神性の 2 性を認め、イエスの神性と神(ヤーヴェ)との同一を説く				
	派・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
22	431 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	派 ··· 24				
23					
	451 …イエスの <b>人性と神性の完全な融合</b> を唱える一派 <b>派</b> … <sub>28</sub> <u>公会議</u> で異端→エジプトのコプト派教会に継承,アクスム王国に普及				
27 1 パリ	サイ 2. キリスト 3. ペテロ 4. パウロ 5. カタコンベ 6. ネロ 7. ディオクレティアヌス 8. コンスタンティヌス 9. ミラノ				
	サーア 11. ユリアヌス 12. テオドシウス 13. 福音 14. 教父 15. アウグスティヌス 16. 神の国 17. エフェソス 18. カルケドン				
19. ア	リウス 20. 人 21. ニケーア 22. アタナシウス 23. ネストリウス 24. エフェソス 25. ササン 26. 景 27. 単性論				

10

世界史確認プリント:前編

### ローマの文化と社会

*文学··· <sub>1</sub>	<b>帝</b> 時代が <b>ラテン文学</b> 黄金期で三大詩人活躍
O <sub>2</sub>	『3』…トロヤ戦争の英雄を主人公に建国叙事詩
- οホラティ	ウス『叙情詩集』…叙情詩。サッフォーなどギリシア叙情詩人に範をとる
οオウィデ	`ィウス『転身譜』…神話より変身の物語を集める
*哲学 ヘレニ	ズム哲学流入し、特にストア派が発展
o <u>4</u>	『国家論』…カエサルの政敵の弁論家。ギリシア哲学をローマに紹介
οルクレテ	ィウス(前1C)…エピクロス派哲学者で唯物論
O <u>5</u> ———	(後1C) …ストア派哲学者でネロ帝師
O <u>6</u> ———	(後2C)『語録』…ギリシア人解放奴隷のストア派哲学者
o <u>7</u> ———	『自省録』 哲人皇帝
*歴史 ポリビ	オスやプルタルコスのギリシア人活躍
<u> </u>	(前2C)『歴史』…小スキピオ家庭教師のギリシア人。 <b>政体循環</b> 史観
_	『 <b>ガリア戦記</b> 』…ガリア(現フランス辺り)遠征の記録,ゲルマン史料
	(紀元前後)『 <b>ローマ建国史</b> 』…建国の歴史。アウグストゥス帝に仕える。
	』…ゲルマン史料・腐敗したローマの現実を批判
	』…アウグストゥス帝からネロ帝までの記録で共和政に共感
	(1C-2C)『 <u>対比列伝</u> 』…ギリシア人でギリシアとローマの英雄を比較
	! ギリシア・ヘレニズムの伝統の集大成
<u></u>	(紀元前後)『 <u>地理誌</u> 』…ローマ版風土記。地域毎に史実から伝説まで
_	(1C)『 <b>博物誌</b> 』…ネロ帝期将軍で、ポンペイ救出に向かい殉職。著作は一大博物学書
	(2C) 『アルマゲスト』…ギリシア人で地球中心の <b>天動説</b> を主張,世界地図も有名
ローマ法	…ローマが後世に残した最大の文化遺産で十二表法に始まる
1 +54	」…裁判官の判決例や、法律家の解釈なども法としての権威を認められる
	共和政・帝政初期に作られた,市民権所有者に適用される法
│	<b>帝</b> の全自由民への市民権拡大により、帝国全住民に適用される法
19	…勅法集・学説集・法学理論で構成のローマ法の集大成の法典
	円形闘技場< 22
	ドルトリス多~ 22
	…フランス東南部に現存する代表的水道橋
	がエジプトの <b>太陽暦</b> を修正し採用 = <sub>23</sub>
	の <sub>24</sub>
	ア文字から <b>ローマ字</b> 作成。言語 <b>ラテン語</b> は,中世西欧の共通語
	ちの宗教とギリシアのオリンポス 12 神を同一視
	記以後キリスト教拡大。一方でペルシア起源の <u>マニ教</u> , <sub>25</sub>
o <u>ラティフ</u>	<b>ンディウム</b> …奴隷を用いオリーブなど商品作物,ローマの平和による奴隷の減少と属州の発展で衰退
o <b>コロナー</b>	<b>トゥス</b> …小作人 <sub>26</sub> より地代→ <b>コンスタンティヌス帝</b> の時にコロヌスに土地緊縛令
	2. ウェルギリウス 3. アエネイス 4. キケロ 5. セネカ 6. エピクテトス 7. マルクス・アウレリウス・アントニヌス
	カエサル 10. リウィウス 11. タキトゥス 12. ゲルマニア 13. 年代記 14. プルタルコス 15. ストラボン
	7. プトレマイオス 18. カラカラ 19. ローマ法大全 20. ユスティニアヌス 21. トリボニアヌス 22. コロッセウム
23. ユリソム 24.	グレゴリウス 25. ミトラ 26. コロヌス

### 古代南アジア世界

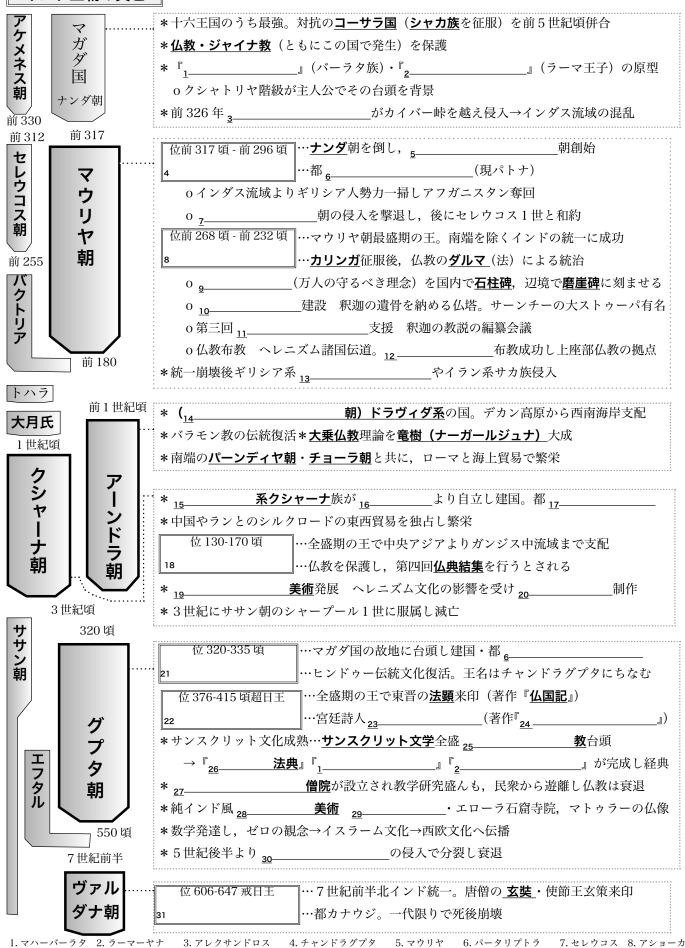
**インダス文明** <前 2300 ~前 1800 頃>

都市遺跡	場所	特徴		
1 *パキスタンに所在 3 *パキスタンに所在 その他ロータル(造) ドーラヴィーラ(19 どの遺跡がインド共	インダス <b>下流</b> シンド地方 鉛所の遺構発見), 90 年代に発掘)な	* 4 文明 * <b>都市</b> 文明  o 都市計画に基づき,給排水設備  o 大浴場・城塞・穀物倉庫・作業場  o 王宮・神殿が見られず  * 5 人建設  * <u>巾</u> 章に象形文字の <b>インダス文字</b>	*シュメールと交易(ロータル) *インド文明の源流 のシヴァ神や牛の像の出土 の菩提樹・水を神聖視 の沐浴の習慣 の二進法と十進法の度量衡 *洪水や流路の変更で衰退	
前 1500 年: <sub>2</sub> 前 1200 年: <sub>Z</sub>	<b>地方</b> 	<b>系</b> の遊牧民で,中央アジアやイラン東 で部族社会を構成し,半定住生活,イ 1000 頃にかけて) <u>知識</u> の意で <sub>8</sub>	ンダス文明の要素を吸収 <b>文字</b> で記述	
→ 2 は最古のヴェーダで神々への賛歌,自然を神格化→バラモン教の経典 前 1000 年:ガンジス川流域に移動・定住し、鉄器使用と稲作農耕→小王国と 10 (種姓)形成 11 (僧侶)・12 (戦士)・13 (庶民)・14 (隷属民) →紀元前後にヴァルナの権利や義務,慣習が『15 』にまとめられ、社会的規範として定着 →後に 16 (職種別、部族別集団、婚姻・会食の禁忌)と結合し、17 制度 前 7 世紀:十六王国成立(前 6 世紀にかけて) ガンジス流域中心に成立し <b>マガダ国とコーサラ国</b> 有力				
インドの宗	<u> </u>	1		
バラモン教 <奥義書哲学>	開祖	自然を神格化・ <u>ヴェーダ</u> (知識の意) 19	根本原理 梵我一如	
21 教	ヴァルダマーナ (マハーヴィーラ)	禁欲・ <u>不殺生</u> ・カースト否定・肉体Ⅰ → <u><b>ヴァイシャ</b></u> (特に商人へ)	的 <u>苦行</u> 重視	
22 教	ゴータマ = シッダールタ	八正道の実践・カースト否定・精神 →苦行を否定・ <b>クシャトリヤ・ヴァ</b>		
*海の道の海上交易	<u></u> 系 で繁栄	中心で言語はタミル語…バクティ運動	で吟遊詩人がタミル語の文芸作品	
o チェーラ朝…前 o パッラバ朝(3 <sup>o</sup> <u>23</u>	世紀~9世紀)…半島 <b>朝</b> (前3~後 13 世	南部の西部沿岸を支配し,サータヴァ 東南部を支配,グプタ朝のサンスクリ 紀)…11 世紀に全盛で宋に使節派遣,	ット文化を受容し,東南アジアへ シュリーヴィジャヤに遠征	
_		後 14 世紀)…チョーラ朝と抗争,13 →デカンから南インドには <sub>25</sub>	C末ペルシア湾岸と馬の交易 <b>王国</b> 成立	

9. リグ = ヴェーダ 10. ヴァルナ 11. バラモン 12. クシャトリヤ 13. ヴァイシャ 14. シュードラ 15. マヌ法典 16. ジャーティ 17. カースト 18. ウパニシャッド 19. ブラフマン 20. アートマン 21. ジャイナ 22. 仏 23. チョーラ 24. パーンディヤ 25. ヴィジャヤナガル 12

1. ハラッパー 2. パンジャーブ 3. モエンジョダーロ 4. 青銅器 5. ドラヴィダ 6. インド = ヨーロッパ 7. ヴェーダ 8. サンスクリット

### インド王朝の興亡



1. マハーパーフタ 2. フーマーヤナ 3. アレクサントロス 4. チャントフクフタ 5. マワリヤ 6. パータリフトラ 7. セレワコス 8. アショース 9. ダルマ 10. ストゥーパ 11. 仏典結集 12. セイロン(スリランカ) 13. バクトリア 14. サータヴァーハナ 15. イラン 16. 大月氏 17. プルシャプラ 18. カニシカ 19. ガンダーラ 20. 仏像 21. チャンドラグプタ 1世 22. チャンドラグプタ 2世 23. カーリダーサ 24. シャクンタラー 25. ヒンドゥー 26. マヌ 27. ナーランダー 28. グプタ 29. アジャンタ 30. エフタル 31. ハルシャ = ヴァルダナ

## 東南アジア世界

## 東南アジアの地勢

*地域…大陸部(インドシナ半島部分)と諸島(島嶼)部(マレー半島・スマトラ島・ジャワ島など)に大別					
o 大陸部…沿岸地域と河川の流域(4世紀インド化でサンスクリット・ヒンドゥー教や仏教の影響)に国家の形成					
・ <sub>1</sub>					
・ $_2$					
- 13 世紀以降流域にタイ人が南下					
・3					
11 世紀にビルマ人のパガン朝が成立し、領域を統一					
o 諸島(島嶼)部 …スマトラ島・ジャワ島の沿岸部に港市国家,ジャワ島内陸では水稲耕作も発展					
ベトナム地域の歴史					
* <b>文化</b> …1924 年ベトナム北部で発見の青銅器・鉄器文化。:権威の象徴として <sub>5</sub> の出土					
*秦始皇帝···ベトナム地域まで支配とされるも不明。現在の中国の広東省に南海郡設置					
黄 202 . 黄 111     素土の担利 畑 2 瀬 1 の納炉が建見   戊重   戊亜 4 2 4 2 1 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
南   前 203 ~前 111   …秦末の混乱期に漢人の趙佗が建国。広東・広西からベトナム北部支配   越					
6   一					
前 111 ~後 220   … <b>武帝</b> が南越滅ぼし支配。現 <sub>2</sub> に交趾郡。現ユエに <sub>8</sub> <b>郡</b> 設置   <b>ア</b>					
1 t   0   0   1   1   1   1   1   1   1   1					
<b>1</b>					
李 1010~1225 …唐滅亡後の <u>五代十国</u> 時代に漢民族支配から独立後,短期王朝興亡 朝 いる 国 …初めての本格的王朝。李公蘊建国。都ハノイ(昇竜)。宋の侵入撃退					
<u>1225~1400</u> …李朝にかわった大越国の王朝。 <u>モンゴル</u> の侵入を3度撃退					
1225~1400   すいにかわりた人圏国の工物。 <u>にクコル</u> の及べき 3及季圏					
○					
- 1427-1789 …明より黎利が独立し建国。都 <u>ハノイ</u> (東京) <sub>20</sub> 学を官学 朝 朝大越国 …チャンパーを滅ぼしベトナム統一も北 <b>鄭氏・</b> 南 <b>阮氏(広南国)</b> に分裂					
<b>阮</b>   鄭   o 鄭氏(1592 ~ 1786)…16 世紀黎朝に一時代わった莫朝を打倒し,黎朝を復興,実権を掌握   氏   氏					
○ 阮氏 (1555 ~ 1777) …中南部を支配し、鄭氏と抗争、広南国として日本やオランダと交易					
西 1789-1802 …1777 中部地域で西山党の乱を起こした阮文岳・文呂・文恵 3 兄弟が建国					
朝 <b>朝安南国</b> …阮氏,鄭氏を滅ぼし,黎朝を支持した清の介入を撃退→安南国王として冊封					
<u>「</u> 1802-1945 ・・・・ 「					
に 朝					
図					
o 1862: <b>サイゴン条約</b> ~ <b>コーチシナ東部三省</b> をフランスに割譲					
o 1882: <b>トンキン</b> 占領 cf. 劉永福の黒旗軍がフランス軍に抗戦					
o 1883: <b>ユエ条約</b> で保護国化→清朝反対し <u><b>清仏戦争</b></u> (1884)→ <b><u>天津条約</u>で清朝の宗主権放棄</b>					
o 1887: <u>カンボジア</u> (1867 年仏の保護国)とともに <u>インドシナ連邦</u> → 1899 年 <u>ラオス</u> も加盟					
1. メコン 2. チャオプラヤ 3. イラワディ 4. ドンソン 5. 銅鼓 6. 南越 7. ハノイ 8. 日南 9. 微 10. 光武帝 11. 安南都護府					
12. チャンパー 13. チャム 14. 林邑 15. 占城 16. 李朝大越 17. 陳 18. チュノム<字喃> 19. 黎 20. 朱子 21. 西山					

22. 阮朝越南 23. 阮福映 24. ピニョー 25. フエ 26. 越南

### カンボジアの歴史

1-2 C ~ 7 C =	 半ば …メコン川下流域にインド人の王が <sub><b>2</b></sub>	<b>人</b> 支配し成立。インド・中国と交易		
1		の金貨と漢の鏡出土		
6 C∼	···メコン中流域に <sub>2</sub> <b>人</b> 建国,南	百下し扶南を滅ぼす		
3		景に繁栄		
o $7 \sim 8$	C沿岸の水真臘と内陸の陸真臘に分裂			
o 9世紀	o $9$ 世紀初にジャヤヴァルマン $2$ 世が国内を統一しアンコール朝( $802 \sim 1431$ )を開く			
o 12 C	~ 13 C初にかけ,インドシナ半島全域を版図に全盛	至も,タイ族の南下に圧迫され衰退		
o <u>4</u>	12 Cにスールヤヴァルマ	ン2世を祭るヒンドゥー寺院として建立		
o アンコール = トム…アンコール朝の都城で,全盛期のジャヤヴァルマン 7 世が完成				

#### ラオスの歴史

\*タイ人…中国の雲南地方が原住地、13 C雲南の大理国がモンゴルに滅ぼされ、インドシナ半島南下に拍車

ο 1893 年タイとフランスの協定でメコン川以東がフランス領→ 1899 年仏領インドシナ連邦に編入

#### タイの歴史

o **ラーマ5世**(位 1868-1910, チェラロンコーン大王) がタイの独立維持と近代化に努める

#### ビルマの歴史

* <u>9</u> -	人…ビルマ	・タイの沿岸地域に	こ居住し,インド文	化・上座部仏教学	受容	
	$6 \sim 11$ 世紀にチャオプラ	ヤー川下流に <sub>10</sub> —		建国→ア	ンコール朝の支配	下に
* <u>1</u>	<sub>1</sub>	川中流域に4世紀	成立のチベット・	ビルマ系の国で,	9世紀南詔の攻撃	ぎで衰退
	1044~1287 …ビルマ	最初の統一王朝。	チベット・ビルマ系	<b>を</b> で先住の <b>モン</b> 人	の文化受容	
12	···· <sub>13</sub>		<b>(小乗) 仏教</b> 受容。	ビルマ文字作成。	<u>元</u> の侵入で滅亡	
	1287~1531 …モン人	のペグー朝など小	国分立状態が続く			
	<b>分裂時代</b> …13 C 』	以降タイ族の侵入と	∴抗争→インドシナ	半島に上座部(小	、乗) 仏教伝播	
	1531~1752タウン	グー朝。イラワデ	ィ川流域を支配した	た統一王朝,都は	タウングーよりペ	グーへ
14	朝…ベンガ	ル湾交易で繁栄,	タイの <u>ア<b>ユタヤ朝</b></u> る	と抗争,モン人の	反乱で滅亡	
	1752~1886アラウ	ンパヤーがモン人	勢力を撃退し,建国	国,別名 16———		朝
15	朝…タイの	<u>アユタヤ朝</u> を滅ぼ	し清軍撃退→一時活	青に朝貢		
	oインドのアッサム地方に	進出し,イギリス	と衝突→ビルマ戦争	争に敗北し,イン	ド帝国に併合	

 1. 扶南
 2. クメール
 3. 真臘
 4. アンコール=ワット
 5. スコータイ
 6. アユタヤ
 7. ラタナコーシン
 8. バンコク
 9. モン

 10. ドヴァーラヴァティ
 11. ピュー
 12. パガン
 13. 上座部
 14. トゥングー
 15. コンパウン
 16. アラウンパヤー

### 諸島部の歴史

- \*7世紀にマラッカ海峡利用本格下し、マレー半島とスマトラ島に港市国家、ジャワ島内陸部の開発も進む
- \*初期は大乗仏教やヒンドゥー教が流入、13世紀以降スーフィーの布教によりイスラーム化が進む

〒 7 C ~ 14 C
8 C~9 C …ジャワ島中部に成立し、シュリーヴィジャヤと交流、古マタラム王国を従属させる
 ο 古マタラム王国(8C~ 10C)…ジャワ島中部のヒンドゥー教国でプランバナン寺院群建設
928 ~ 1222
<u>朝</u> …ジャワ島東部、米と交換に入手したモルッカ諸島の香辛料や胡椒を輸出し繁栄
$\overline{}$ $o$ シンガサーリ朝( $1222\sim1292$ )…クディリ朝を滅ぼす,元の使者を追い返し,元のジャワ遠征招く
1293 ~ 1530 頃   …シンガサーリ朝への元遠征軍利用し建国→ 14 C シュリーヴィジャヤ滅ぼし全盛
8
14 C末~1511 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1511 年 <sub>12</sub> に滅→イスラームはスンダ海峡利用の航路開発し対抗
16 C末~1755   …ジャワ島中部の農耕地域を基盤としたイスラーム教国でオランダ東インド会社に対抗
13 17世紀後半の貿易縮小で打撃を受け衰退
o <sub>15</sub> <b>王国</b> (15 C末~ 1903) …スマトラ島北端でオスマン帝国と交易したイスラーム教国家
… <u>アンボイナ事件</u> (1623)でイギリス排除。ポルトガルより <b>マラッカ</b> (1641)
<b>オランダ領東インド</b> …ジャワ島 <u>バタヴィア</u> を香辛料貿易の拠点→ 18 世紀より領域支配と植民地経営へ
 o 1755 年ジャワ島のマタラム王国を滅,1904 年スマトラ島のアチェー王国を滅

- o ジャワ島の中部・東部の低地で砂糖(中国人による製糖業を導入),西部の高原でコーヒー生産
- o 強制栽培制 (1830-1870) …ジャワ島で総督ファン・デン・ボス実施。コーヒーや砂糖など強制栽培

#### 東南アジア地域の特徴

- \*海上交易で繁栄
  - ・香辛料(胡椒など)・香木(沈香・白檀など)の特産品の原産地
  - ・インド洋と南シナ海を結ぶ、海の道の交易の要衝
- \*国家の類型
  - ・港市国家…沿岸部に成立した都市国家で、交易で繁栄→河川を通じ内陸の農耕国家と結合することも
  - ・農耕国家…7世紀頃より灌漑網整備され,水稲耕作を基盤にインドシナ半島内陸部の大河の流域に成立
- \*宗教
  - ・大乗仏教 シュリーヴィジャヤやシャイレンドラで信仰、現在はベトナム北部で信仰
  - ・<u>ヒンドゥー教</u>アンコール朝のアンコールワットはヒンドゥー教寺院として建立 ジャワ島のクディリ、シンガサーリ、マジャパイトはヒンドゥー教王国
  - ・上座部仏教\_モン人が受容し、ビルマのパガン朝で信仰→ベトナムを除くインドシナ半島に普及
  - ・イスラーム教 13世紀以降スーフィーの布教により諸島部に普及、マタラム、バンテン、アチェ
  - ・キリスト教 16世紀以降スペインがルソン島中心にフィリピンに布教

1. シュリーヴィジャヤ 2. 大乗 3. 義浄 4. シャイレンドラ 5. ボロブドゥール 6. クディリ 7. ワヤン 8. マジャパヒト 9. マラッカ 10. 鄭和 11. イスラーム 12. ポルトガル 13. マタラム 14. バンテン 15. アチェ

### 世界史確認プリント:前編

⑩フィリピン



①ベトナム

⑤ビルマ ⑥マレーシア ⑨インドネシア

②ラオス ③カンボジア

⑦シンガポール

⑧ブルネイ

《もしもし亀よ♪》

阮朝

<ベトナム編>

④タイ

占城

<カンボジア・ラオス・タイ編> チャンパーを 扶南 真臘 カンボジア

大越 鄭氏

林邑

越南

李 陳 黎朝に 阮氏 西山朝 ラオスも一緒にインドシナ

スコータイ アユタヤ チャクリ朝

インドシナ タイは立憲君主国

<ビルマ・マレーシア編> ドヴァーラヴァティー ピューから パガン朝 トゥングー アラウンパヤ インド帝国 マラッカイスラーム王国も

ポルトガル オランダ イギリス領

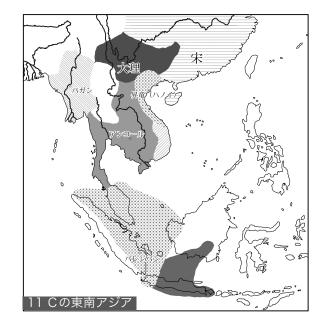
<インドネシア編>

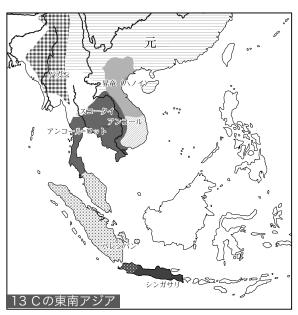
シュリーヴィジャヤ シャイレンドラ 仏教国 クディリ シンガサリ マジャパイト

マタラム バンテン アチェ王国

オランダ領の東インド







++	$\overline{}$	• 1	_
田団	ょ	~ /	1
米田	,	_	,

30. アンコール = ワット

不用ノフノ	
*地域…大陸部(インドシナ半島部分)	と諸島(島嶼)部(マレー半島・スマトラ島・ジャワ島など)に大別
	世紀以降サンスクリット・ヒンドゥー教と仏教などインド化)に国家の形成
・ <sub>1</sub> 東南アジア	最大の国際河川で,1C下流に扶南,6C中流に真臘形成
13世紀以降上流はタイ人が進出	しタイ・ラオスの領域,デルタ地域はベトナム進出
・ <sub>2</sub> 川···タイ最大の河	可川,別名 <u><b>チャオプラヤ川</b></u> で6世紀モン人のドヴァーラヴァティー成立
13世紀以降流域にタイ人が南下	
· <u>3</u>	紀にインド化でピュー成立,11 世紀にビルマ人のパガン朝が領域を統一
ο諸島(島嶼)部 …スマトラ島・ジュ	ャワ島の沿岸部に港市国家,ジャワ島内陸では水稲耕作も発展
中国文化の影響	ベトナム北部は中国の文化圏
* <b>文化</b> …1924 年ベト	ナム北部で発見の青銅・鉄器文化。中国の影響と土着要素: <sub>5</sub> 特
*秦始皇帝…ベトナム地域まで支配と	- されるも不明。現在の中国の広東省に南海郡設置
* 6(前 203 ~前 111) … 雾	<b>秦末の混乱期に漢人の趙佗が建国。広東・広西からベトナム北部支配</b>
前 111 ~後 220 ··· <sub>7</sub> が厚	南越滅ぼし支配下。現 <sub>8</sub> に交趾郡。現ユエに <sub>9</sub> <b>郡</b> 設
	の反乱→ <u><b>光武帝</b></u> 鎮圧。166 年 <sub>11</sub> の使
	インドシナ半島沿岸にインド人商人往来
<b>■</b>	はインド人の王が <sub>13</sub> 人支配し成立。インド・中国と交易
	と響、外港オケオよりローマの金貨と漢の鏡出土、14に滅亡
	<b>人</b> が後漢より独立して建国。中国名 <sub>17</sub> →環王→ <sub>18</sub>
15 …インド文化学名	ドし,海上交易で繁栄の港市国家連合。cf.11 C 中国へ <b>占城稲</b> の伝来
インド化・唐帝国と交易(7~9℃)	──マラッカ海峡航路の発達と,インドより水稲耕作の伝来で各地に国家
*イスラーム商人がマラッカ海峡を通	— 行し,唐帝国と交易,東南アジア諸国と唐との朝貢貿易も盛ん
6 C~15 C …メコン中流域に	こ <sub>13</sub> <b>人</b> 建国。扶南を滅ぼす
…ヒンドゥー教芸	 受容。メコン河の水稲耕作背景に繁栄
7 C~ 14 C …スマトラ島中/	<b>心にマラッカ海峡の海上貿易で繁栄の港市国家連合。都パレンバン</b>
20	繁栄。7cに唐僧 <sub>21</sub> 滞在「 <sub>22</sub> 」
24	建立(グプタ様式の仏塔)で有名な大乗仏教国
	からチャオプラヤー川流域のモン人の港市国家連合
o ピュー… 4 世紀にインド化の影響	で成立,イラワディ川流域の諸都市の連合, 9 世紀南詔の攻撃で衰退
中国商人進出(10 ~ 13 C) _ [	ジャンク船の改良で中国商人が南シナ海・インド洋貿易に進出
*港市国家は中国向け特産品の生産地	
<ul><li>o 占城···ベトナム南部で沈香の輸出</li></ul>	
	カ、三仏斉)…マラッカ海峡の交易支配し中国に朝貢
	文化,ワヤン[影絵]発展)・シンガサリ朝…ジャワ島で香辛料貿易
*インドシナ半島内陸部では灌漑農業	
	七十国時代に漢民族支配から独立後,短期王朝興亡
…初めての木柊角	り王朝。李公蘊建国。都ハノイ(昇竜)。宋の侵入撃退
20	充一王朝。 <b>チベット・ビルマ系</b> で先住の <sub>28</sub> <b>人</b> の文化受容
	<u> </u>
↓   27	, <sub>30</sub> (ヒンドゥー寺院), アンコール・トムを造営
	5. 銅鼓     6. 南越     7. 武帝     8. ハノイ     9. 日南     10. 徴姉妹     11. 大秦王安敦
	パー 16. チャム 17. 林邑 18. 占城 19. シュリーヴィジャヤ 20. 大乗仏教 21. 義
22. 南海寄帰内法伝 23. シャイレーンドラ 24. ボ	ロブドゥール 25. クディリ 26. 李朝大越国 27. パガン朝 28. モン 29. 上座部

18

世界史確認プリント:前編

### 領域国家成立(130~150) - 130のモンゴル侵入とタイ人南下の影響で東南アジア社会も変動

ビ	1287	]… <u>元</u> の遠征軍に <u>パガン朝</u> 滅亡	→ペグー朝など小国分立状態が紛	たく(1287-1531)
_	パガン朝の滅亡	···13 C以降タイ族の侵入とカ	t争→インドシナ半島に上座部(⁄	小乗)仏教伝達
ル	$1531 \sim 1752$	-    ···タウングー朝。イラワディ	川流域を支配した統一王朝,都は	はタウングーよりペグーへ
<sub>₹</sub>	1	…ベンガル湾交易で繁栄,タ	イの <b>アユタヤ朝</b> と抗争,モン人の	反乱で滅亡
ベ	$1225 \sim 1400$	-  ···李朝にかわった大越国の王!	朝。 <u>モンゴル</u> の侵入を3度撃退	
	2	… <u>科挙</u> 整備と文字に <sub>3</sub>	<b>&lt;字喃&gt;</b> 使用。「	大越史記」の編纂
<sub>ナ</sub>	1427-1789	-  … <b>明</b> より黎利が独立し建国。	鄒 <u>ハノイ</u> (東京) <sub>5</sub>	を官学
ム	4		を征服しベトナム統一も北 <u>鄭氏</u> ・	南 <b>阮氏(広南国)</b> に分裂
タ	1257~15世紀	…中国 <u>雲南</u> 地方より南下のタイ	イ族建国(雲南の大理国の滅亡で	南下に拍車)
			1 % (CELL (AII) 2 7 K ELL 2 1 % (CELL )	113 1 (-314.1)
	7		ラーマ・カムヘン王が <b>上座部仏</b>	
		…カンボジア・ビルマと抗争。		<b>教受</b> 容し、タイ文字作成
1	1351-1767	…カンボジア・ビルマと抗争。 …アンコール朝の領土を奪い,	ラーマ・カムヘン王が <b>上座部仏</b>	<b>教受</b> 容し、タイ文字作成
1	1351-1767	…カンボジア・ビルマと抗争。 …アンコール朝の領土を奪い, …アユタヤを王都, ビルマ人。	ラーマ・カムヘン王が <u><b>上座部仏</b></u> スコータイ朝を吸収したタイ人	<u>教受</u> 容し、タイ文字作成 の国家

### 商業の時代(16 C~17 C) - イスラーム・ヨーロッパ・中国・日本の商人来航し国際貿易の中心

<u>14 C末~ 1511</u> … <b>明</b> に朝貢し <u>11</u> の基地→ <u>12</u> <b>教</b> に改宗,南シナ海とイ	ンド洋を結ぶ
…1511 年 <u>13</u> に滅→イスラームはスンダ海峡利用の航路開	発し対抗
0 <u>14</u> <b>王国</b> (16 C末~ 1755)…ジャワ島中部の内陸農耕地域を基盤としたイス	、ラーム教国
o <u>15</u> 王国 (1526 ~ 1813) …ジャワ島西端で,香辛料交易で繁栄のイスラー	ム教港市国家
o <u>16</u> 王国(15 C末~ 1903)…スマトラ島北端でオスマン帝国と交易,イスラー』	ム教港市国家
*ビルマのトゥングー朝,タイのアユタヤ朝,ベトナムの鄭氏,阮氏(広南国)も交易活動	
*ヨーロッパ商人の来航…大航海時代背景	
o ポルトガル商人… <sub>17</sub> 占領し,モルッカ(マルク)諸島に進出して香辛料貿易	
o オランダ商人…ジャワ島の <sub>18</sub>	・イギリス排除
o スペイン商人…フィリピンに <sub>20</sub> 建設(1571), <b>ガレオン船</b> でアカプルコ貿易,メ <sup>*</sup>	キシコ銀流入
・*中国商人・日本商人の来航 明の海禁緩和で,東南アジアで出会い貿易(日本の <sub>21</sub>	貿易)

### 再編の時代 (18 C~ 19 C) 書 諸島部はオランダの植民地化、大陸部はほぼ現在の領域に再編

- \*日本の鎖国と清朝の遷界令で17世紀後半に商業の時代の終焉,17世紀末には香辛料価格が暴落 のオランダはコーヒー栽培など植民地経営に転換し,ジャワ島の征服を進める
- \*大陸部は18世紀の中国の人口増を受け、中国向け米の輸出が増大、ベトナム・ビルマ・タイの再編

	$1752 \sim 1886$	…アラウンパヤーがモン人勢力を撃退し,建国,別名 <sub>23</sub> <b>朝</b>
22		…タイの <sub>8</sub> を滅ぼし清軍撃退→一時清に朝貢
	1782 ~	…ラーマ 1 世(チャクリ)建国。都 <sub>25</sub> でバンコク朝・チャクリ朝
24		…ラーマ4世が英とボウリング条約(1855 不平等な通商条約)締結
	1789-1802	…1777 中部地域で西山党の乱を起こした阮文岳・文呂・文恵 3 兄弟が建国
26		…阮氏,鄭氏を滅ぼし,黎朝を支持した清の介入を撃退→安南国王として冊封
	1802-1945	…阮氏の一族 <u>阮福映</u> が仏宣教師 <u>ピニョー</u> の支援で西山朝倒し建国。都 <b>フエ</b>
27		…国号を <u>越南</u> として,清に朝貢,2代帝よりキリスト教弾圧策

 1.トゥングー朝
 2. 陳朝
 3. チュノム
 4. 黎朝
 5. 朱子学
 6. チャンパー
 7. スコータイ朝
 8. アユタヤ朝
 9. マジャパヒト

 10. マラッカ王国
 11. 鄭和
 12. イスラーム
 13. ポルトガル
 14. マタラム
 15. バンテン
 16. アチェ
 17. マラッカ
 18. バタヴィア

 19. アンボイナ
 20. マニラ
 21. 朱印船
 22. コンバウン朝
 23. アラウンパヤー
 24. ラタナコーシン朝
 25. バンコク
 26. 西山朝

 27. 阮朝

### 東アジア地域の特徴

\*中国の南北…淮河で風土の特徴が二分

淮河以北…乾燥地域で黄河流域の華北では麦・栗・こうりゃんなどの畑作が中心,北方で遊牧地域と接する 淮河以南…湿潤地域で長江流域の華中と華南では稲作が中心,東南アジア・朝鮮・日本に続く

\*漢字文化圏…表意文字の漢字で結ばれた文化圏を形成

中国文化を生みだした人々は自らを文化的に優越する存在とみなす=中華思想

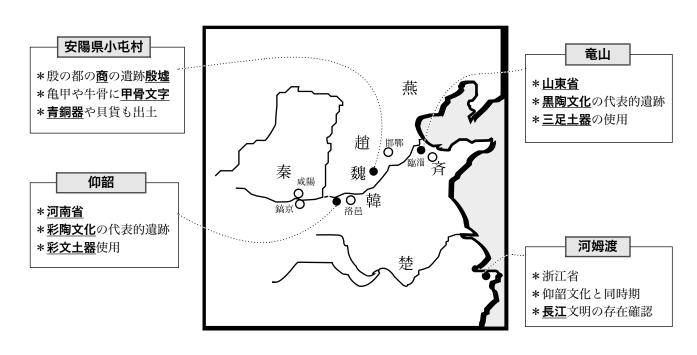
異なる文化を持つ周辺の人々を夷狄(北狄・南蛮・東夷・西戎)として区別

→漢字文化や礼を学んで身につけると夷狄も中華に加わる→中華の範囲は時代とともに拡大

### 黄河文明

- …前 4000-3000 年頃<u>黄河</u>の中・下流の黄土地帯で初期農耕発生
- …土器は鼎など三足土器(鬲・鼎)が形態状の特徴

文化名	遺跡	土器	特徴
* 1 <b>&lt; 仰韶&gt;</b> 文化 o 前 4000 ~前 2000 年頃	* 河南省       皮西省       半坡遺跡       陜西省       姜寨遺跡	* 1	* 黄河上・中流域 * 竪穴式住居; <b>粟・黍</b> 栽培 * 犬豚を家畜
* 3 <b>&lt;竜山&gt;</b> 文化 o 前 2000 ~前 1500 年頃	*山東省4	* 3のその他粗製 <u>5</u> の使用も盛ん	* 黄河下流中心に北は遼東半島,南は長江流域に拡大 *牛・馬を家畜; <b>邑</b> の成立
* <u>長江</u> 文化 o前 4000 ~前 1500 年頃	* 浙江省 <sub>6</sub> o 長江流域で <b>水稲耕作</b>	*彩陶文化と同時期に存在 *四川で三星堆文化,江南	で良渚文化が発展



春秋期より, <u>鉄製農具・牛耕</u>が普及して生産性が向上し, 家族単位での農業経営が可能となった。そのため, <u>邑</u>(城壁などで囲った集落)における氏族共同体の土地の共有と、共同耕作の伝統が崩壊した。また、諸侯は富国策で新開地の開発を進め、家族単位で入植した農民に土地を配分して独立自営農民とし、納税と軍役を負担させ、これらの土地を県として、役人を派遣して直接管理した。一方、変質した邑も、新たに県に再編していった。この結果、邑の授受と、氏族的な血縁秩序に基づいていた<u>封建制</u>は崩壊して<u>郡県制</u>が普及するとともに、唐中期まで続く自営農民を基盤とする国家体制が成立した。

### 邑制国家から領域国家へ

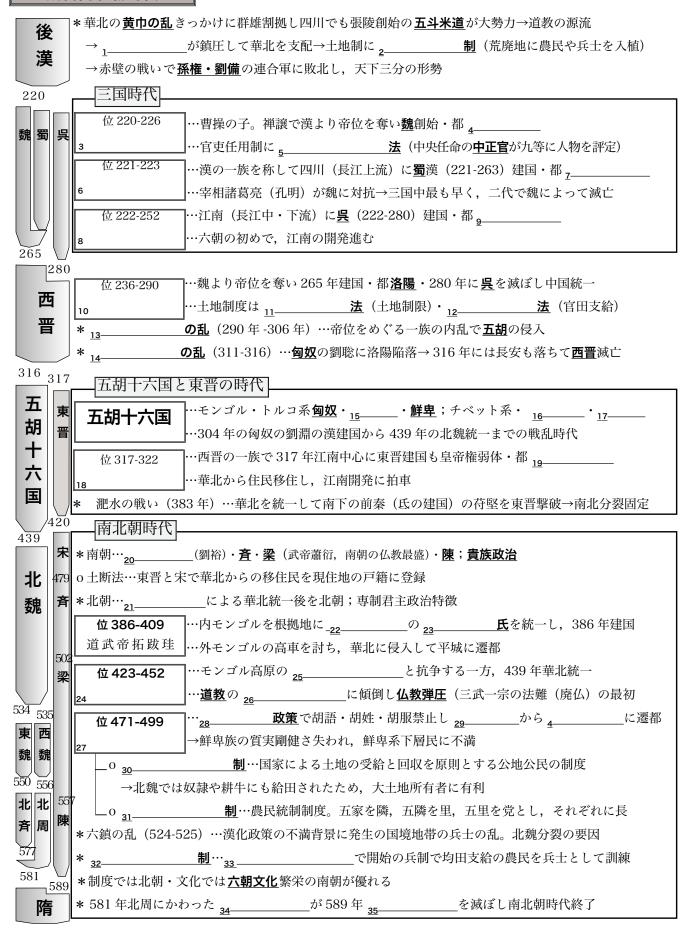
夏	····伝説の中国最古の王朝,最初の帝王堯が舜に禅譲,舜の禅譲を受けた <b>禹</b> が <b>夏</b> 王朝を創始と伝わる
前 20.C	→*都市国家 <sub>1</sub> の連合体として王朝発生
119 20 0	一…確認できる最古の王朝,湯王が夏を滅ぼして建国と伝わる
段	*前 1500 年頃都 <sub>2</sub> 邑(現 <u>河南省安陽市小屯村</u> )・遺跡を <sub>3</sub>
,,,,	* 出土品 o 殉葬遺骨 o 亀甲・獣骨に刻まれたト辞(文字を <sub>4</sub> 文字)…神権政治を証明
	o 青銅製の武器・祭器… <sub>5</sub> <b>文明</b> 証明・青銅器に施された文字を金文
	o 真珠・子安貝(貨幣として使用)…南方との貿易と交易の利益による強大化の証明
	* <u>政治制度</u> <sub>6</sub> <u>政治</u> …天帝を祭り、その意を占って統治
	ο 邑の連合体である邑制国家で,配下の邑に対し,宗教的権威としてのぞむ
前11(	]… <b>陝西</b> 省の <sub>7</sub> 盆地(秦以降関中と呼称)に拠点・殷に服属しその文化受容
西	・・・牧野の戦いで殷の紂王を討つ(易姓革命に基づく放伐→理想は禅譲)
周	武王 (現西安付近)に定め、諸侯の統率者として華北支配
7-5	* <u>政治制度</u> * <u>助度</u> で諸侯に <u>封土</u> を与え貢納・軍役の義務。諸侯→ 10 ・大夫・士の家臣団
	*社会制度 O 11 (血縁共同体) と 12 (同姓不婚など定めた規則) で封建制強化
	の農民は氏族共同体で土地を共有し、木や石の農具で共同農業、井田制の土地制(伝説)
<b>*</b> * 7	/ 70 <b>周室東遷</b> …異民族犬戎が陝西・山西北部に侵入→都を <b>洛邑</b> へ
B1 /	
東着	* 諸侯は <u>尊王攘夷</u> を唱え <sub>13</sub> (会盟の指導者)の座を争う
,-3	→ <b>春秋五覇</b> …斉 <sub>14</sub> ・晋 <sub>15</sub> ・ ・ 楚荘王・秦穆公・宋襄公・越王勾践・呉王夫差など
	* 文化圏拡大 ・・長江流域に呉・越・楚の建国
24: 4	
	図 <b>晋の分裂</b> …韓・魏・趙の三国成立し実力万能の下剋上の時代に
	03 <b>晋の分裂</b> …韓・魏・趙の三国成立し実力万能の下剋上の時代に * 周王室の権威は衰え,諸侯は王を称して争う→ <b>戦国の</b> <sub>16</sub> <u>燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦</u>
	*周王室の権威は衰え,諸侯は王を称して争う→ <b>戦国の</b> <sub>16</sub> <b>燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦</b> *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を <b>戦国時代</b>
判	*周王室の権威は衰え,諸侯は王を称して争う→ <b>戦国の</b> <sub>16</sub> <u>燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦</u>
判	*周王室の権威は衰え,諸侯は王を称して争う→ <b>戦国の</b> <sub>16</sub> <b>燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦</b> *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を <b>戦国時代</b>
判	*周王室の権威は衰え,諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> 燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦 *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を <mark>戦国時代</mark> *農業発展・・前4世紀より <sub>17</sub> 製農具・ <sub>18</sub> 耕 (牛犁耕法) 普及し生産性増大,家族単位の農耕可能 *青銅貨幣・・・ 19 貨 (武器を模し燕・斉で使用)・ <sub>20</sub> 貨 (農具を模し韓・魏・趙で使用)  31 銭 (中央に孔・秦で使用)・ <sub>22</sub> 銭 (貝貨を模して楚で使用)
判	*周王室の権威は衰え,諸侯は王を称して争う→ <u>戦国の</u> <sub>16</sub> <u>燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦</u> *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を <u>戦国時代</u> *農業発展・・前4世紀より <sub>17</sub> <u>製農具・</u> <sub>18</sub> <u>耕</u> (牛犁耕法)普及し生産性増大,家族単位の農耕可能 * <b>青銅</b> 貨幣… <sub>19</sub> <b>貨</b> (武器を模し燕・斉で使用)・ <sub>20</sub> 貨(農具を模し韓・魏・趙で使用)
野国	*周王室の権威は衰え,諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> 燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦 *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を <mark>戦国時代</mark> *農業発展・・前4世紀より <sub>17</sub> 製農具・ <sub>18</sub> 耕 (牛犁耕法) 普及し生産性増大,家族単位の農耕可能 *青銅貨幣・・・ 19 貨 (武器を模し燕・斉で使用)・ <sub>20</sub> 貨 (農具を模し韓・魏・趙で使用)  31 銭 (中央に孔・秦で使用)・ <sub>22</sub> 銭 (貝貨を模して楚で使用)
前 256	*周王室の権威は衰え、諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> <u>燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦</u> *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を <u>戦国時代</u> *農業発展・・前4世紀より <sub>17</sub> <u>製農具・<sub>18</sub> 耕</u> (牛犁耕法)普及し生産性増大、家族単位の農耕可能 * <b>青銅</b> 貨幣・・・ <sub>19</sub> 貨(武器を模し燕・斉で使用)・ <sub>20</sub> 貨(農具を模し韓・魏・趙で使用)  21 <u>銭</u> (中央に孔・秦で使用)・ <sub>22</sub> <u>銭</u> (貝貨を模して楚で使用) *社会変化・・・諸侯領土拡大と開拓を行い郡県制実施→封建制崩壊 *文化圏拡大・・・四川(長江支流上流で秦支配)・東北地方西南部(燕支配)・朝鮮半島北部
野国	*周王室の権威は衰え、諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> <u>燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦</u> *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を <u>戦国時代</u> *農業発展]…前4世紀より <sub>17</sub> <u>製農具・<sub>18</sub> 耕</u> (牛犁耕法) 普及し生産性増大、家族単位の農耕可能 *青銅貨幣… <sub>19</sub> 貨 (武器を模し燕・斉で使用)・ <sub>20</sub> 貨 (農具を模し韓・魏・趙で使用)  21 <u>銭</u> (中央に孔・秦で使用)・ <sub>22</sub> <u>銭</u> (貝貨を模して楚で使用) *社会変化・・諸侯領土拡大と開拓を行い郡県制実施→封建制崩壊 *文化圏拡大」・・四川(長江支流上流で秦支配)・東北地方西南部(燕支配)・朝鮮半島北部  ・・前4世紀孝公が <sub>23</sub> の <sub>24</sub> 登用し、什伍の制(隣保制の村落制度)など富国強兵の改革
前 256	*周王室の権威は衰え、諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> <u>燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦</u> *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を <u>戦国時代</u> *農業発展]…前4世紀より <sub>17</sub> <u>製農具・<sub>18</sub> 耕</u> (牛犁耕法) 普及し生産性増大、家族単位の農耕可能 *青銅貨幣… <sub>19</sub> 貨 (武器を模し燕・斉で使用)・ <sub>20</sub> 貨 (農具を模し韓・魏・趙で使用)  21 <u>銭</u> (中央に孔・秦で使用)・ <sub>22</sub> <u>銭</u> (貝貨を模して楚で使用) *社会変化…諸侯領土拡大と開拓を行い郡県制実施→封建制崩壊 *文化圏拡大」・四川(長江支流上流で秦支配)・東北地方西南部(燕支配)・朝鮮半島北部  …前4世紀孝公が <sub>23</sub> の <sub>24</sub> 登用し、什伍の制(隣保制の村落制度)など富国強兵の改革
前 256 前 221	*周王室の権威は衰え、諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub>
前 256 前 221	*周王室の権威は衰え、諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> <u>燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦</u> *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を戦国時代 *農業発展・前4世紀より <sub>17</sub> <u>製農具・<sub>18</sub> 耕</u> (牛犁耕法)普及し生産性増大、家族単位の農耕可能 * <b>青銅</b> 貨幣・・・・  19 貨(武器を模し燕・斉で使用)・・ 20 貨(農具を模し韓・魏・趙で使用) 21 <u>銭</u> (中央に孔・秦で使用)・・ 22 <u>銭</u> (貝貨を模して楚で使用) *社会変化・・諸侯領土拡大と開拓を行い郡県制実施→封建制崩壊 *文化圏拡大・・四川(長江支流上流で秦支配)・東北地方西南部(燕支配)・朝鮮半島北部  ・・前4世紀孝公が 23 の 24 登用し、什伍の制(隣保制の村落制度)など富国強兵の改革 位前221-前210 ・・・・秦王政・根拠地は陝西で都 26 ・前221年中国統一
前 256 前 221	*周王室の権威は衰え、諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> 燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦 *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を戦国時代 *農業発展・前4世紀より <sub>17</sub> 製農具・ <sub>18</sub> 耕 (牛犁耕法)普及し生産性増大、家族単位の農耕可能 *青銅貨幣・・・19 貨 (武器を模し燕・斉で使用)・20 貨 (農具を模し韓・魏・趙で使用) 21 銭 (中央に孔・秦で使用)・22 銭 (貝貨を模して楚で使用) *社会変化・・諸侯領土拡大と開拓を行い郡県制実施→封建制崩壊 *文化圏拡大・・四川(長江支流上流で秦支配)・東北地方西南部(燕支配)・朝鮮半島北部 ・・前4世紀孝公が23 の24 登用し、什伍の制(隣保制の村落制度)など富国強兵の改革 ・・前221年中国統一・・前221年中国統一・・・東アジア最初の領域国家(統一国家)を建設 *内政 0 27 制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
前 256 前 221	*周王室の権威は衰え、諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub>
前 256 前 221	*周王室の権威は衰え、諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> 燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦 *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を戦国時代 *農業発展・前4世紀より <sub>17</sub> 製農具・ <sub>18</sub> 耕 (牛犁耕法)普及し生産性増大、家族単位の農耕可能 *青銅貨幣・・・19 貨 (武器を模し燕・斉で使用)・20 貨 (農具を模し韓・魏・趙で使用) 21 銭 (中央に孔・秦で使用)・22 銭 (貝貨を模して楚で使用) *社会変化・・諸侯領土拡大と開拓を行い郡県制実施→封建制崩壊 *文化圏拡大・・四川(長江支流上流で秦支配)・東北地方西南部(燕支配)・朝鮮半島北部 ・・前4世紀孝公が23 の24 登用し、什伍の制(隣保制の村落制度)など富国強兵の改革 ・・前221年中国統一・・前221年中国統一・・・東アジア最初の領域国家(統一国家)を建設 *内政 0 27 制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
前 256 前 221	*周王室の権威は衰え,諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> 燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦 *総横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を戦国時代 *農業発展・・前 4 世紀より <sub>17</sub> 製農具・ <sub>18</sub> 耕 (牛犁耕法) 普及し生産性増大、家族単位の農耕可能 *責銅貨幣・・・19 貨 (武器を模し燕・斉で使用)・20 貨 (農具を模し韓・魏・趙で使用) *社会変化・・諸侯領土拡大と開拓を行い郡県制実施→封建制崩壊 *文化圏拡大・・四川(長江支流上流で秦支配)・東北地方西南部(燕支配)・朝鮮半島北部 ・・前 4 世紀孝公が 23 の 型 登用し、什伍の制(隣保制の村落制度)など富国強兵の改革 ・・前 221 年中国統一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
前 256 前 221	*周王室の権威は衰え、諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> 燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦 *縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を戦国時代 *農業発展」・前 4 世紀より <sub>12</sub> 製農具・ <sub>18</sub> 耕 (牛犁耕法) 普及し生産性増大、家族単位の農耕可能 *責銅貨幣… <sub>19</sub> 賃 (武器を模し燕・斉で使用)・ <sub>20</sub> 貨 (農具を模し韓・魏・趙で使用)  2」 銭 (中央に孔・秦で使用)・ <sub>22</sub> 銭 (貝貨を模して楚で使用) *社会変化」・諸侯領土拡大と開拓を行い郡県制実施→封建制崩壊 *文化圏拡大・四川(長江支流上流で秦支配)・東北地方西南部(燕支配)・朝鮮半島北部  ・・前 4 世紀孝公が <sub>23</sub> の  ② 登用し、什伍の制(隣保制の村落制度)など富国強兵の改革 ・・前 221 年中国統一 ・・前 221 年中国統一 ・・東アジア最初の領域国家(統一国家)を建設 *内政 ο <sub>27</sub> 制・全国を 36 郡(後 48 郡)に分け皇帝任命の官吏による直接統治(李斯の献策) ・○三権分立・・丞相(行政)・太尉(軍事)・御史大夫(監察)に権限三分  丞相 ○ 統一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
前 256 前 221	*周王室の権威は衰え,諸侯は王を称して争う→戦国の <sub>16</sub> 燕・斉・楚・趙・魏・韓・秦 *総横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を戦国時代 *農業発展・・前 4 世紀より <sub>17</sub> 製農具・ <sub>18</sub> 耕 (牛犁耕法) 普及し生産性増大、家族単位の農耕可能 *責銅貨幣・・・19 貨 (武器を模し燕・斉で使用)・20 貨 (農具を模し韓・魏・趙で使用) *社会変化・・諸侯領土拡大と開拓を行い郡県制実施→封建制崩壊 *文化圏拡大・・四川(長江支流上流で秦支配)・東北地方西南部(燕支配)・朝鮮半島北部 ・・前 4 世紀孝公が 23 の 型 登用し、什伍の制(隣保制の村落制度)など富国強兵の改革 ・・前 221 年中国統一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

27. 郡県 28. 半両 29. 焚書 30. 坑儒 31. 万里の長城

## 秦漢帝国

	…始皇帝の死後,急激な中央集権化や大規模な外征・土木事業の負担に反感爆発
秦	* <sub>1</sub> <b>の乱 王侯将相いずくんぞ種あらんや</b> をスローガン・大反乱の口火
前 206 前 202	→楚の <sub>2</sub> (一時天下に号令)・江蘇省沛の農民出身の <b>劉邦</b> (前 206 年秦を滅ぼす)
[] ZOZ	位前 202-前 195   …前 202 年垓下の戦いに勝利( <u>四面楚歌</u> の故事)・都 <b>長安</b> (現西安付近)
前	<b>制</b> …秦の郡県制の失敗から採用
	<b>制</b> (都の周辺)+ 6 <b>制</b> (遠隔地に一族・功臣を王として封じる)
漢	*前 154 年 <sub>7</sub> の乱…皇帝の諸王抑圧政策に対しておこる→景帝鎮圧に成功し皇帝権力強化
	- 位前 141-前 87 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	・・・・対外積極政策に転換する一方,大規模な土木・造営事業を展開
	外征   「 <sup>0</sup> 9
	<u> </u>
	財
	政
	難
	【
	【
	▼ ・
	N 以
	-0 22
	ーo その他商人への重税・売位・売官・贖罪など実施
	→経済衰退し、社会不安増大
	[http://o 23
	YJ   の <b>儒学官学</b> … <sub>24</sub> の献策で <sub>25</sub>
	* <u>限田</u> …哀帝の時,土地の広さと奴隷の数を制限して豪族抑制を狙うも実施されず
後 8	* <b>外戚</b> (皇后や妃の親族)・ <sub>26</sub> (去勢され,主に後宮で使用された男子)の抗争激化
	位後 8-23 ···前漢の <b>外戚</b> で儒学者として声望を集め、讖緯説を利用して即位し、復古政策
新	27 … 「周礼」にもとづき井田制をモデルに全土を王田として売買を禁止
23	* <sub>28</sub> <b>の乱</b> (18-27) きっかけに各地の豪族蜂起
_25_	
後	位 25-57 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 河南省南陽出身。豪族の援助で漢復興し都を 30 施治主義で統治
漢	29 …ベトナム徴姉妹の反乱鎮圧・ <b>倭</b> の使者来中し金印授与 cf.「漢委奴国王」
天	西域・・・1世紀後半-2世紀初め匈奴の分裂利用して北匈奴討伐
	経営 <u>31</u> が <u><b>西域都護</b></u> (前漢宣帝時設置)に任じられ,カスピ海以東 50 余国を支配下
	→部下の <sub>32</sub> を大秦国 (ローマ) に派遣も失敗 (シリアまで到る)
	* 166 年 <u>大秦王 <sub>33</sub> </u>
	* 166 年 <u>34</u> <u>の禁</u> … <sub>26</sub> による儒教官僚の弾圧事件
	* 184 年 <u><b>の乱</b></u> … <sub>36</sub> (病気治療の民間信仰)の <sub>37</sub> 指導し混乱,
1 Print plus pri	同時期四川では五斗米道が勢力→各地の豪族が私兵を率いて割拠・三国時代の混乱へ
1. 陳勝呉	
25. 五経	博士 26. 宦官 27. 王莽 28. 赤眉 29. 光武帝(劉秀) 30. 洛陽 31. 班超 32. 甘英 33. 安敦 34. 党錮 35 黄巾
36. 太平流	道 37. 張角

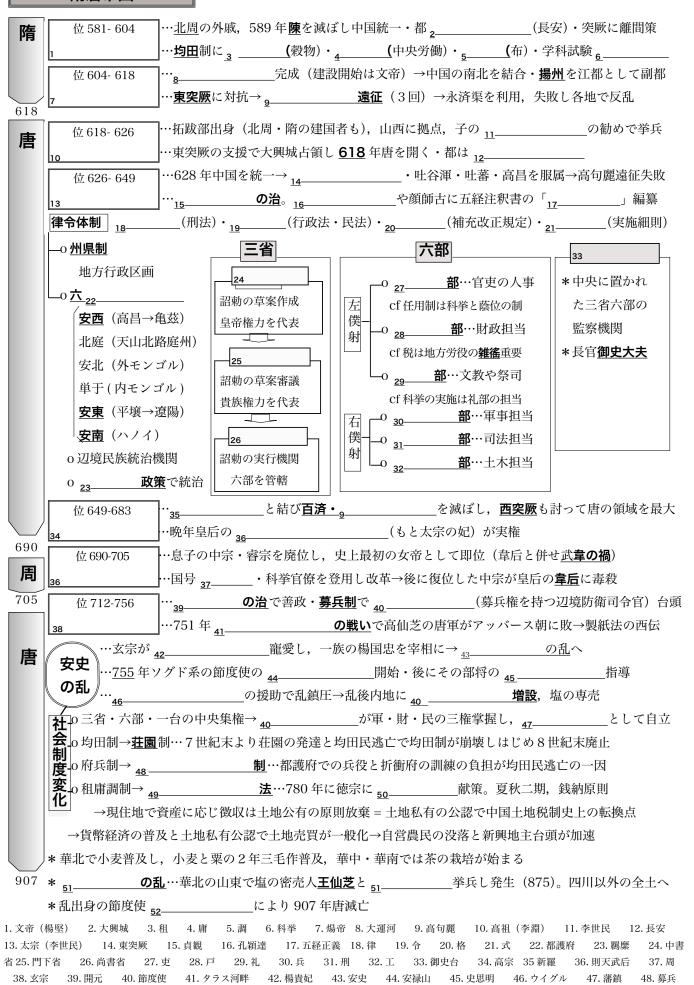
### 魏晋南北朝時代



1. 曹操 2. 屯田 3. 曹丕 4. 洛陽 5. 九品(官人) 中正 6. 劉備 7. 成都 8. 孫権 9. 建業 10. 司馬炎(武帝) 11. 占田 12. 課田 13. 八王 14. 永嘉 15. 羯 16.17. 氐・羌(順不同) 18. 司馬睿 19. 建康 20. 宋 21. 北魏 22. 鮮卑 23. 拓跋 24. 太武帝 25. 柔然 26. 寇謙之 27. 孝文帝 28. 漢化 29. 平城 30. 均田 31. 三長 32. 府兵 33. 西魏 34. 隋 35 陳

### 隋唐帝国

49. 両税 50. 楊炎 51. 黄巣 52. 朱全忠



24

世界史確認プリント:前編

#### 【唐と対外関係】

* 唐は新羅・渤海・南詔などと $_{1}$ 関係の君臣関係,軍事的に強大な東突厥・ウイグル・吐蕃と
家族関係,遠方の日本,真臘などとは。貿易のみの関係からなる国際体制を構築した。
*6世紀より突厥を介してササン朝との交流が活発化、ササン朝滅亡後はイスラーム帝国との交流
→ササン朝工芸や, <sub>3</sub> 派キリスト教,ゾロアスター教,マニ教の流入
→ 陸路イラン系の <sub>4</sub> 人商人が長安に往来し絹馬貿易
海路イスラーム商人が来航し、貿易事務機関の $_{\underline{5}}$ を $_{6}$ に設置
【宋と貿易問題】
*内陸交易路は,遼や西夏が支配・ $_{\mathbb{Z}}$ ——船の改良で,中国商人の遠洋航海が可能に $\rightarrow$ 海上貿易発展
*東南アジアへ進出、イスラーム商人に陶磁器、日宋貿易も発展(平氏政権と)し、銅銭輸出→国内の銅銭不足
*民間貿易(私貿易)を <sub>5</sub> で管理→泉州、杭州、広州などの海港都市発展
<b>佃戸制荘園</b>   ···新興地主 <sub>8</sub> は,科挙合格の <sub>9</sub> を目標→ <u>士大夫</u> (読書人)の中核
…小作人 <sub>10</sub> に土地を貸与し、小作料を徴収(佃戸の多くは自分の土地も所有)
o 華北=粟麦二年三毛作,江南=囲田の干拓・ <u>占城米</u> 導入・二毛作普及→ <u>蘇湖(江浙)熟すれば天下足る</u>
*地主中心の社会 唐の両税法施行より国家の基盤は自営農民から地主へと変化→宋の文治主義で徹底
都市の発達 …都市の商業の時間・場所が制限された唐代に対し、時間・場所の制限撤廃
…城外の交易場であった唐代の <u>草市</u> から商工業の発展で <u>鎮</u> の成立,瓦市(歓楽街)も発達
o 貨幣経済発達し,唐末の手形の飛銭から北宋で 11・南宋で 12の紙幣
o 同業組合の <sub>13</sub> (商人組合)・ <sub>14</sub> (職人組合) 誕生
*飲茶(唐代後半から普及)の流行→窯業の発達→ <sub>15</sub> で <u>青磁</u> ・ <u>白磁</u> の生産
官吏任用制

郷挙里選 |\* 前漢の武帝の時、董仲舒献策。郡国長官が儒教的基準で人材推薦 →豪族の官界進出の開始

九品中正(官人)法 \* 魏の文帝の時開始。中央より派遣の中正官が九段階に人物判定し推薦 「上品に寒門なく下品に勢族なし」→有力豪族は門閥を形成し,貴族成立

科学 |\* 隋の文帝創始。試験による官吏任用制。三年に一度実施。実施機関は礼部 唐では官吏の人事を担当する吏部が門閥貴族に支配、父の官職に従って官位が与 えられる蔭位の制もあって、貴族優位も、太宗や則天武后は科挙官僚重視 初期秀才・明経・進士などの区分で秀才重視→進士重視→宋では進士に一本化 宋の太祖趙匡胤が、最終合格者に対する皇帝試験の殿試を導入し、君主独裁強化 解試 (州試, 地方試験) →省試→殿試の三段階選抜に 元では一時中断。清末の1905年に廃止

#### 来印の三仏僧

名前	王朝	インドの王朝と君主	使用交通路	著作
法顕	東晋	グプタ朝 チャンドラグプタ 2 世	往路 = 陸路 復路 = 海路	仏国記
玄奘	唐	ヴァルダナ朝 ハルシャ = ヴァルダナ	往復陸路 *ナーランダ僧院留学	大唐西域記
義浄	唐	分裂期 *ナーランダ僧院留学	往復海路 *シュリーヴィジャヤ滞在	南海寄帰内法伝 大唐西域求法高僧伝

1. 冊封 2. 朝貢 3. ネストリウス 4. ソグド 5. 市舶司 6. 広州 7. ジャンク 8. 形勢戸 9. 官戸 10. 佃戸 11. 交子 12. 会子 13. 行 14. 作 15. 景徳鎮

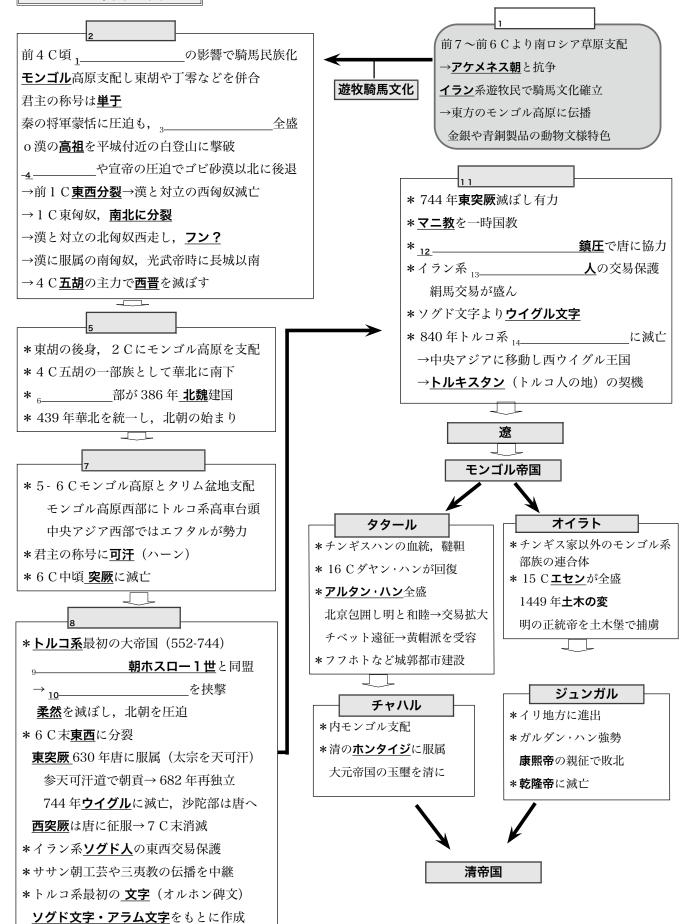
### 宋と北方民族の台頭

907	9	16	
五			<b>位 907- 912</b> … <b>黄巣の乱</b> 出身の唐の節度使で唐を滅ぼし <sub>2</sub> 建国,汴州(開封)を都
		尞	…中国の統一に失敗し, <b>節度使</b> による <b>武断政治</b> 続く→貴族の没落
+			*後梁→後唐→後晋→後漢→ <u>後周</u> の五王朝と十の地方政権・ <sub>3</sub> の都洛陽。それ以外は <sub>-4</sub>
国			*後晋の石敬瑭は <b>契丹</b> の援助を受け, <sub>5</sub>
960			
			<b>位 960- 976</b> …960 年都を <sub>4</sub>
.038			<u>6</u> → 979 年北漢滅ぼし中国統一は二代目 <u>太宗</u>
‡ ;	Ł		「 <u>軍制</u> …皇帝直属の <sub>Z</sub> 強化・節度使の欠員は中央より派遣の文官を任命の <sub>8</sub> 主義
_ f	Ħ		<u>  科挙完成</u>  …進士科主体・州試(別名解試の地方試験)→省試→ <sub>9</sub> (皇帝自らの試験)
西夏			└─→ 文治主義完成→ but 軍事力弱体化の異民族に対する歳幣と官僚増大の給費増で財政危機
乏			* 10···1004 年締結, <u>遼</u> との和約で宋を <u>兄</u> ,遼を弟とし,毎年銀・ <u>組</u> ・茶などを歳幣
			<b>位 1067- 1085</b> …内政 <sub>12</sub> を宰相,富国強兵目的に <b>新法</b> を実施し中小農民保護
			11 …外政 対西夏積極外交に転じ、ベトナム遠征も行うが、成功せず
			O 13     法     ・・・・     上     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			「 o <sub>15</sub>
			o <sub>17</sub> <u>法</u> …農民訓練し,民兵治安維持 o <sub>18</sub> <u>法</u> …官馬を民間に与え戦時に徴収
	<u>/</u> 1	125	<u>【『資治通鑑』</u> の著者)中心に結成の <u>旧法党</u> が国家の経済介入に反対し党争
112	27		* <sub>20</sub>
	1	金	<b>位 1127-1162</b> … 欽宗の弟で江南に逃れ、 <sub>24</sub> を <sub>25</sub> として都 = 南宋
	5		<u>23</u> …主戦派 <sub>26</sub> が対立し,和平派勝利
床	₹		
			*モンゴル系 <sub>29</sub>
			<b>位 907- 926</b> …916 年遼河上流の根拠地より遼(キタイ帝国)建国しモンゴル高原を支配
			30 …926 年 <sub>31</sub> を滅ぼし東北地方も支配
			* <u>燕雲十六州</u> 獲得(936 年)…華北地方の一部も支配・1004 年 <b>澶淵の盟</b>
			* <u>二重統治体制</u> …遊牧・狩猟民= <sub>32</sub> <u>制</u> ・北面官で統治,農耕民= <u>州県制</u> ・南面官で統治
			*文化…宗教は仏教盛ん・ウイグル文字と漢字より <sub>29</sub> 文字作成し独自性維持に努力
			cf.1125 年に金に滅亡後,一族の <sub>33</sub>
			* <u>ツングース系</u> 族。半農半猟生活。渤海構成の靺鞨族と同系で遼に服属
			位 1115-1123 …遼の支配より自立し東北地方中部根拠地に建国。都を会寧府
			35   ···宋と同盟   ···宋と同盟   ···宋と同盟   ···宋と同盟   ···宋と同盟   ···宋と同盟   ····宋と同盟   ····宋との田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
			* <u>二重統治体制</u> …女真族= <u>制</u> (軍事行政組織),漢民族= <u>州県制</u>
			*文化··· <sub>34</sub> 文字作成・華北で <sub>37</sub> が <sub>38</sub> (儒・仏・道調和) 創始
			*都…海陵王が会寧から <u>燕京</u> に遷都→モンゴルの攻勢に <u>開封</u> に遷都
\ 1227			西夏
127	712 79	<i>3</i> 4	* <u>チベット系 39</u> (党項)族。遊牧主体に東西仲介交易で繁栄 (党項)族。遊牧主体に東西仲介交易で繁栄 (党項)を対して、 中国の存代は、第7
万			位 1038- 1048 …1038 年寧夏地方中心に建国・都は <u>興慶</u> 府で、中国の官制を導入
1. 朱全	_		40   …1044 年慶暦の和約で宋に臣礼 but 歳幣獲得・ <sub>41</sub>   <u>文字</u> 作成し独自文化   2.後梁 3.後唐 4.開封 5.燕雲十六州 6.太祖趙匡胤 7.禁軍 8.文治 9.殿試 10.澶淵の盟 11.神宗 12.王安石
1. 朱全			2. 後梁       3. 後唐       4. 開封       5. 燕雲十六州       6. 太祖趙匡胤       7. 禁軍       8. 文治       9. 殿試       10. 澶淵の盟       11. 神宗       12. 王安石         14. 募役       15. 青苗       16. 市易       17. 保甲       18. 保馬       19. 司馬光       20. 靖康の変       21. 徽宗       22. 欽宗       23. 高宗       24. 杭州

25. 臨安 26. 岳飛 27. 秦檜 28. 淮河 29. 契丹 30. 耶律阿保機 31. 渤海 32. 部族 33. 耶律大石 34. 女真 35 完顏阿骨打

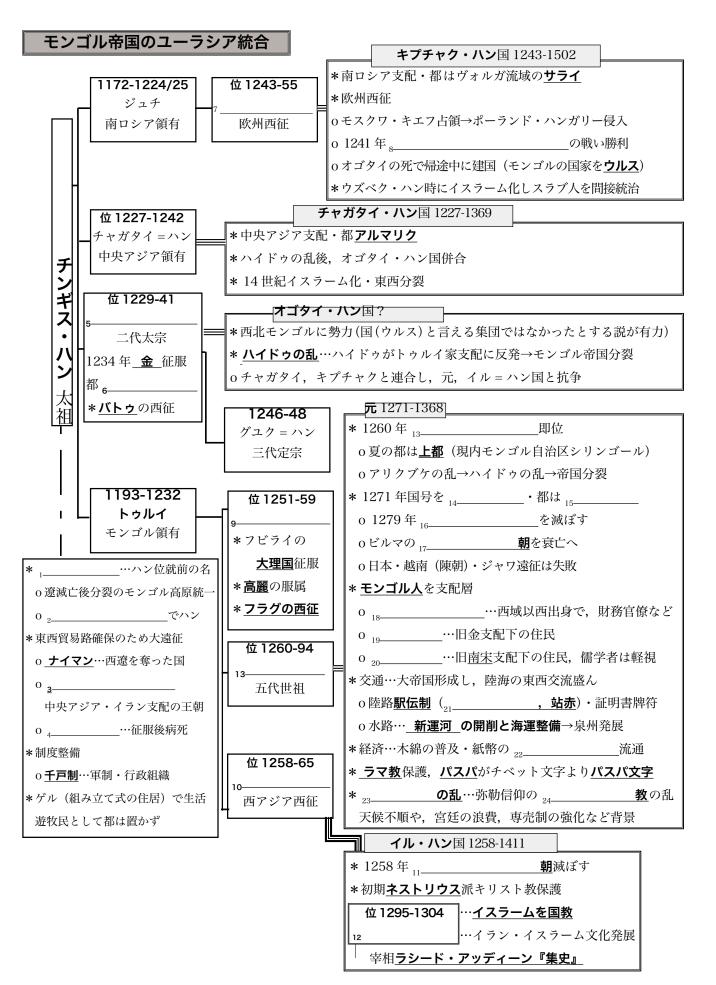
36. 猛安謀克 37. 王重陽 38. 全真教 39. タングート 40. 李元昊 41. 西夏

### モンゴル高原の興亡



1. スキタイ 2. 匈奴 3. 冒頓単于 4. 武帝 5. 鮮卑 6. 拓跋 7. 柔然 8. 突厥 9. ササン 10 エフタル 11. ウイグル 12. 安史の乱 13. ソグド 14. キルギス

\*沙陀突厥は、後唐・後晋・後漢を建国



1. テムジン 2. クリルタイ 3. ホラズム 4. 西夏 5. オゴタイ 6. カラコルム 7. バトゥ 8. ワールシュタット 9. モンケ 10. フラグ 11. アッバース 12. ガザン = ハン 13. フビライ 14. 元 15. 大都 16. 南宋 17. パガン 18. 色目人 19. 漢人 20. 南人 21. ジャムチ 22. 交鈔 23. 紅巾 24. 白蓮

### イスラーム世界

	*イスラーム化以前の時代をアラビア語でジャーヒリーヤ (無明時代)	
前	— 6世紀末 <u>ササン朝と 東ローマ 帝国の対立激化</u> → <u>シルクロード</u> (絹の道)の国境部分が戦争地域	
史		
	<b>アラビア</b> …7世紀初期よりシリアとイエメンを結ぶ紅海沿岸が陸上交易の要路となり <b>アラブ人</b> 発展	
	<b>半島</b> … <u>ヒジャーズ地方</u> (紅海沿岸)のヤスリブ(後の <sub>1</sub> )・ <sub>2</sub> 繁栄	
	<b>570 頃 - 632</b> ···メッカの支配部族 <sub>4</sub> <u>族</u> のハーシム家出身	
ム		
八	<b>イスラーム教</b> では、モーセやイエスも預言者とする	
ンマ	622 年 <sub>6</sub>	
ド 時		
代	630 年 <b>メッカ</b> 征服 ··· <sub>8</sub> <b>神殿</b> の偶像を破壊し,聖地→アラビア半島の大部分を支配下	
632	…ムハンマドの後継者・政治的権限のみ(教義決定と立法は <b>ウラマー</b> の合意)	
正	9 …初期四カリフ( <u>正統カリフ</u> )は選挙制,以後は世襲となる	
統		
カー		
リフ	位 634- 644 <td black="" of="" rowspan="2" th="" the="" the<="" to=""></td>	
時		
代	$_{\rm O}$ 対ササン朝…バスラ(最初の <b>ミスル</b> )建設 $\rightarrow$ 642 年 <b>ニハーヴァンドの戦い</b> (滅亡は 651 年)	
	<b>位 644-656</b> …コーラン完成期のカリフ・ウマイヤ家出身で一族に権力集中し分裂の原因	
	ウスマーン	
	<b>位 656-661</b> …ムハンマドの従兄弟で <sub>13</sub> と対立→ハワーリジュ派に暗殺	
661	12死後支持者が <sub>14</sub>	
	位 661- 680 …ウスマーンと同じ <sub>15</sub> <u>家</u> 出身の <u>シリア</u> 総督で <u>アリー</u> と対立	
ウ		
イ	<b>アラブ帝国</b> アラブ人の異民族支配を目的。アラブ人に <sub>17</sub> (地租) の免税特権	
ヤ	アラブ帝国       …アラブ人の異民族文配を目的。アラブ人に 17 (地租) の兄祝特権         …異民族はイスラーム教に改宗しても 18 (人頭税) の支払い義務	
朝	└ <u>爾王</u> …領土最大。アブド・アルマリク(アラビア語行政語),ワリード1世(西ゴート滅時の君主)全盛 (○ 中央アジア西部支配し <b>パミール高原</b> で唐 ○ 小アジア東部で東ローマ帝国に接する	
	o 中央 / シ / 四	
	* but732 年 <sub>20</sub> <b>間の戦い</b> でフランクに敗北し進撃停止	
750	<b>位750-754</b> ···ムハンマドの叔父 <sub>21</sub> の一族, ホラーサーン(イラン東部)で蜂起	
ア	<b>位750-754</b>	
ッ		
バ	<ul><li></li></ul>	
l		
朝	o イスラーム法(シャリーア)の施行がカリフの責務, 宗教学者( <sub>22</sub> ) の台頭	
刊	o 宰相 (ワズィール) 統率の官僚制度が発達し俸給制度アター制を施行→後マムルークの権限強化	
	o 二代 <b>マンスール</b> の時 <sub>24</sub>	
	Q五代(位 786-809) <sub>25</sub> (カール大帝と使節交換)全盛	
	ナ       2. メッカ       3. ムハンマド       4. クライシュ       5. コーラン       6. ヒジュラ       7. ウンマ       8. カーバ       9. カリフ       10. ジハード	
	の民 12. アリー 13. ムアーウィヤ 14. シーア 15. ウマイヤ 16. ダマスクス 17. ハラージュ 18. ジズヤ 19. 西ゴート ール・ポワティエ 21. アッバース 22. スンニ 23. ウラマー 24. バグダード 25. ハールーン・アッラシード	

### イスラームの分裂

26. ニザーミーヤ学院 27. ホラズム

3カリフ国の鼎立	<b>ー</b> ウマイア家,シーア派の反アッバース運動でイスラーム世界分裂
756~1031 …アブド	・アッラフマーン1世建国。都 $_2$
10 C ∅	<u>アブド・アッラフマーン3世</u> がカリフ称し,宰相マンスール起用。全盛
909~1171 …過激4_	<u>派</u> のイスマーイール派が <u>チュニジア</u> に建国。969 年エジプト征服
<b>3</b> ···新都 <sub>5</sub>	
	頁黒人奴隷反乱のザンジュの乱で動揺。 <sub>7</sub>
<u> </u>	トのトゥールーン朝(868)中央アジアのサーマーン朝(875)など自立
イラン人軍事政権台頭	ー中央アジアのサーマン朝, イランのブワイフ朝など強勢 
875~999 …中央アミ	ジア最初の <sub>9</sub> 系イスラーム王朝。900 年以降都 <u>ブハラ</u> 。スンニ派信仰
8アッバ-	- ス朝から事実上独立。トルコ人を <sub>7</sub> としてイスラーム世界に供給
932~1055 <u>イラン</u> ラ	系で穏健 <sub>4</sub> <u>派</u> ,イランより台頭→ 946 年 <u><b>バグダード</b></u> 入城
	<b>- ス朝</b> の実権奪い <u>大アミール</u> の称号。 <sub>11</sub> <b>制</b> を開始
トルコ人諸王朝の建設	<b>―</b> 9Cのウイグル滅亡後,トルコ人の東方移動加速。世界へ
10 C中~12 C中頃 …最初の	3 <b>系</b> イスラーム王朝。中央アジアのトルコ化とイスラーム化を促進
12 …都はべき	ラサグン。サーマン朝を滅ぼす。11 Cに東西に分裂。東は西遼の支配下へ
1132~1211 <sub>15</sub>	がカラハン朝を滅ぼし建国。 <b>西遼</b> 。支配層は仏教信仰。契丹族
14 …都はべき	ラサグン。東西トルキスタン支配も,内紛が続き,ナイマンに滅ぼされる
977~1186 …アフガン	ニスタンの <u><b>ガズナ</b></u> にサーマン朝のトルコ人マムルーク,アルプテギン建国
16 …10 世紀	末に即位しスルタンを称したマフムードが <b>インド侵入開始</b> ,フィルドゥーシーを保
1148~1215 …アフガン	ニスタンの <b>ゴール</b> に建国しガズナ朝を滅ぼす
17 …インドル	こ侵入し,北インド支配。内紛で <u>奴隷王朝</u> 自立。ホラズムに滅ぼされる
1206~1290 …ゴール草	明のマムルーク, <sub>19</sub> がインドに自立し建国。都 <sub>20</sub>
18 …以後ハ)	レジー・トゥグルク・サイイド・ロディーと <sub>21</sub> 朝
1038~1157 <sub>23</sub>	が中央アジアのメルブに建国。1055 年 <i>ブワイフ朝</i> 滅ぼす
<u>バグダ</u> -	<b>- ド</b> 入城し,アッバース朝カリフより <sub>24</sub> の位。大帝国建国
0マンジケルト(マラー)	ズギルト)の戦い…1071…2代アルプ・アルスラーンがビザンツに勝利
	ンャーの宰相 <sub>25</sub> が現出
	台まる <sub>11</sub> <b>制</b> を整備
* 26———	
	こ分裂。ホラズムにイランを奪われ消滅
	<b>危域のホラズム地域に成立のトルコ系国家</b>
	ューク朝よりイラン, ゴール朝滅ぼしアフガニスタン併合もモンゴルに滅
•	一西方からの十字軍と東方からのモンゴルの襲来でイスラーム世界の動揺
	小アジアにルーム = セルジューク朝成立(都コンヤ)し、ビザンツ圧迫
( 下中国活動 ) <del>22 - 1</del>	<u>回十字軍</u> にシリアを奪われる。 <u>イェルサレム王国</u> の建設 <b>ドス・ハン</b> の遠征で <b>ホラズム</b> 敗北。東方イスラーム世界の大部分が征服
10.6	<b>キス・ハン</b> の選供で <u><b>ホラスム</b></u> 敗れ。東方イスラーム世界の人部分が低版 年 <b>フラグ</b> の西征で <b>アッバース朝</b> が滅亡
【 エンゴルの龍本 ) 1256	+ <u>ノフラ</u> の西征で <u>アサバース朝</u> が滅亡 √・イラクに <b>イル・ハン</b> 国成立→後にガザン・ハンがイスラームを国教
•	-7 ( $-7$
	ラハン朝 13.トルコ 14.カラキタイ 15. 耶律大石 16. ガズナ朝 17. ゴール朝 18. 奴隷王朝

 $19. \ \text{PT}$   $7 - 20. \ \text{FT}$   $19. \ \text{PT}$   $19. \ \text{$ 

世界史確認プリント:前編

1169-1270	エジプト王朝の繁栄	<b>一十字軍とモンゴルの襲来をエジプトのイスラーム王朝が防ぐ。</b>
1250-1517	1169~1250 …クルド	_ 人の部将 <sub>2</sub> が <u>ファーティマ朝</u> より自立し建国。 <sub>3</sub> <u>派</u>
	<u> </u>	ティマ朝, <sub>4</sub> <b>王国</b> 滅ぼし,第3・5・6回十字軍と交戦
* インド・東南アジア・アフリカなどへの布数はスーフィー数目が大きな働き * インド・東南アジア・アフリカいでグリブ (西北アフリカ) のベルベル人が11 C イスラーム教政宗改宗  の。 朝 (1056~1147) …ベルベル人建国。マラケシュ首都。ガーナ王国演。イベリア進出 の 5 朝 (1130~1269) …ムラード・朝に代わったベルベル人側、レコンキスタと敗北 の 6 朝 (1230~1492) …都。	1250~1517マムル	ーク軍指令官のアイバク建設。第5代バイバルスが確立
*インド・東南アジア・アフリカなどへの布数は2 <b>-フィー</b> 数別が大きな働き *イベリア半島・西北アフリカ・マグリブ (西北アフリカ) のベルベル人が11 Cイスラーム教政宗政宗  の	↓ 5 …第6回	十字軍に勝利。 <b> イル・ハン国</b>  侵入撃退。アッバース朝のカリフを擁立
* イベリア半島・西北アフリカ・マグリブ (西北アフリカ)のベルベル人が11 C イスラーム教改宗改宗 の。 朝 (1056~1147) …ベルベル人建国。マラケシュ首都。ガーナ王国滅、イベリア進出	イスラームの拡大と浸	透
○ s	*インド・東南アジア・アフ	■■■ リカなどへの布教は <u>スーフィー</u> 教団が大きな働き
0 7	*イベリア半島・西北アフリ	カ… <u><b>マグリブ</b></u> (西北アフリカ)の <u>ベルベル人</u> が 11 Cイスラーム教改宗改宗
* 内陸アフリカ・・・・イスラーム化以前から黒人王国が存在  * 内陸アフリカ・・・・イスラーム化以前から黒人王国が存在  * 内陸アフリカ・・・・イスラーム化以前から黒人王国が存在  * 日本国 (前 920 頃~前 656) ・・・ナイル上流の黒人王国。前8 C にはエジプト支配  * 18	o <sub>6</sub> <b>朝</b>	(1056 ~ 1147) …ベルベル人建国。マラケシュ首都。 <u><b>ガーナ王国</b></u> 滅。イベリア進出
* 内陸アフリカ・・・・イスラーム化以前から黒人王国が存在	o <sub>7</sub> <b>朝</b>	(1130~ 1269)…ムラービト朝に代わったベルベル人王朝。レコンキスタに敗北
□ 王国(前 920 頃~前 656)・・・ナイル上流の黒人王国。前 8 Cにはエジプト文配 □ 11 王国(前 670 頃~後 350)・・・クシュ王国がアッシリアの侵入で遷都。アクスムに減 □ 12 王国(前 120 頃~8 C頃)・・・セム系アクスム人建国のエチオピア最初の統一王朝 □ 15 王国(8 C以前~1076)・・・西スーダンの黒人王国。サハラ縦断し 11 交易 □ 15 王国(1240~1473)・・・西スーダンの黒人王国。サハラ縦断し 11 交易 □ 15 王国(1240~1473)・・・西スーダンの黒人イスラーム王国。 17	o <sub>8</sub> <b>朝</b> (	1230 ~ 1492)…都 <sub>9</sub>
TEB (前 670 頃~後 350) ・・・・クシュ王国がアッシリアの侵入で遷都。アクスムに減  1	*内陸アフリカ…イスラーム	化以前から黒人王国が存在
TEB (前 120 頃~8 C 頃)・・・セム系アクスム人建国のエチオピア最初の統一王朝  □ 13	O <sub>10</sub> <b>王国</b>	(前 920 頃~前 656) …ナイル上流の黒人王国。前 8 C にはエジプト支配
で 15. 王国(8 C 以前~1076)…西スーダンの黒人王国。サハラ縦断し 14.	o <sub>11</sub> <b>王</b> 国	』(前 670 頃〜後 350)…クシュ王国がアッシリアの侵入で遷都。アクスムに滅
<ul> <li>■ 王国 (1240 ~ 1473) …西スーダンの黒人イスラーム王国。マンサ・ムーサのメッカ巡礼有名 0 15 王国 (1473 ~ 1591) …西スーダンの黒人イスラーム王国。 マンサ・ムーサのメッカ巡礼有名 0 15 王国 (1473 ~ 1591) …西スーダンの黒人イスラーム王国。 (た大学 0 カネム=ボルヌー王国 … 9 C よりチャド湖東岸に存在。チャド湖南西岸のボルヌに選都後はボルヌー王国</li></ul>	O <sub>12</sub> <b>王</b> 国	』(前 120 頃~8C頃)…セム系アクスム人建国のエチオピア最初の統一王朝
□ 王国 (1473~1591) …西スーダンの黒人イスラーム王国。」 に大学  ○ カネム=ボルヌー王国・9 C よりチャド湖東岸に存在。チャド湖南西岸のボルヌに遷都後はボルヌー王国  ○ 18南ローデシアの石造都市遺跡  ○ 19東田・15 C 頃ザンベジ川流域に栄え、イスラーム商人と交易  *アフリカ東海岸の港市・海港都市繁栄。アラビア語の影響を受けた。 (海岸の意)語普及  ○ 21 …現ソマリアの首都で 9 世紀にアラブ人が建設しインド洋貿易の拠点  ○ 22 …現ケニア、郷和の分遣隊到達、ヴァスコ=ダ=ガマ寄港し水先案内人とカリカットへ  ○ 23 …現ケニア最大の港市、イギリスが内陸のウガンダと鉄道で結び、経路にナイロビ建設  ○ 24 …現タンザニア、同ガのソファラを支配下に繁栄もボルトガルの攻撃で衰退  ○ ソファラ・現モザンビーク、スワヒリ文化圏の南端、モノモタパ王国の金・象牙の出荷地  *インド・・・ベンガルではパーラ朝(8~12 C)がナーランダを復興し、最後の仏教の繁栄  北西インドでは 26 がヒンドゥー教とヴァルナ秩序を保護し、分立抗争  ○ 13 世紀初期から 16 世紀初期までのイスラーム 5 王朝の総称がデリースルタン朝(ロディー朝以外トルコ系)  ○ 首都はデリー。奴隷王朝のアイバクがクトゥブ=ミナレット  ○ 27 … エ親(1206~1290)・・・ゴール朝のマムルーク出身のアイバクが自立し建国  ・ 現(1290~1320)・・・14 世紀初め南インドに遠征し、その大部分を支配  ・ 現(1414~1451)・・・ティムールの部将が建国し、デリー周辺のみ支配  ・ 現(1414~1451)・・・・ティムールの部将が建国し、デリー周辺のみ支配  ・ 現(1414~1451)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	o <sub>13</sub>	8 C以前~ 1076)…西スーダンの <b>黒人</b> 王国。サハラ縦断し <sub>14</sub> 交易
o カネム = ボルヌー王国…9 C よりチャド湖東岸に存在。チャド湖南西岸のボルヌに遷都後はボルヌー王国 o 18	o <u>王国</u> (124	0~1473)…西スーダンの黒人 <b>イスラーム</b> 王国。 <b>マンサ・ムーサ</b> のメッカ巡礼有名
○ 18	O <sub>16</sub> 王国	(1473~1591)…西スーダンの黒人イスラーム王国。 <sub>17</sub> に大学
*アフリカ東海岸の港市・・海港都市繁栄。アラビア語の影響を受けた。 O 21	o <u>カネム = ボルヌー王国</u> ・	··9Cよりチャド湖東岸に存在。チャド湖南西岸のボルヌに遷都後はボルヌー王国
*アフリカ東海岸の港市・・・海港都市繁栄。アラビア語の影響を受けた 20	0 18	・南ローデシアの石造都市遺跡
0 21	O <sub>19</sub>	国…15 C 頃ザンベジ川流域に栄え,イスラーム商人と交易
○ 22	*アフリカ東海岸の港市…海	港都市繁栄。アラビア語の影響を受けた <sub>20</sub> (海岸の意) 語普及
0 23	21	
o 24		
o 25	O <sub>23</sub>	むたまででである。またいではいる。またいではいる。これではいる。またいではいる。これでは、これではいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、
o ソファラ…現モザンビーク,スワヒリ文化圏の南端,モノモタバ王国の金・象牙の出荷地 *インド…ベンガルではパーラ朝(8~12 C)がナーランダを復興し,最後の仏教の繁栄 北西インドでは 26 がヒンドゥー教とヴァルナ秩序を保護し,分立抗争 o 13 世紀初期から 16 世紀初期までのイスラーム 5 王朝の総称がデリースルタン朝(ロディー朝以外トルコ系) o 首都はデリー。奴隷王朝のアイバクがクトゥブ=ミナレット(モスクの塔)を建設 o 既存の権力機構を通じインド社会支配。北インドのヒンドゥー的社会秩序維持,スーフィーによる布教  王朝(1206~1290)…ゴール朝のマムルーク出身のアイバクが自立し建国 朝(1290~1320)…14 世紀初め南インドに遠征し,その大部分を支配 o 29 朝(1320~1414)…イブン=バトゥータ滞在。王朝末にティムール侵入 n 旬(1414~1451)…ティムールの部将が建国し,デリー周辺のみ支配 n 旬(1451~1526)…唯一のアフガン系王朝でアグラに遷都 o 32 王国…14 世紀南インドに成立のヒンドゥー教の大国,カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入,16 世紀前半全盛→ヴァスコ=ダ=ガマ到来 1. アイユーブ朝 2. サラディン 3. スンナ 4. イェルサレム 5. マムルーク 6. ムラービト朝 7. ムワッヒド朝 8. ナスル朝 9. グラナダ 10. クシュ 11. メロエ 12. アクスム 13. ガーナ 14. 塩と金 15. マリ 16. ソンガイ 17. トンブクトゥ 18. ジンバブエ	O <sub>24</sub>	見タンザニア,19 世紀後半アラビア半島のオマーンの下で発展→イギリスの支配下
*インド…ベンガルではパーラ朝(8~12 C)がナーランダを復興し、最後の仏教の繁栄 北西インドでは 26 がヒンドゥー教とヴァルナ秩序を保護し、分立抗争 o 13 世紀初期から 16 世紀初期までのイスラーム 5 王朝の総称がデリースルタン朝(ロディー朝以外トルコ系) o 首都はデリー。奴隷王朝のアイバクがクトゥブ=ミナレット o 既存の権力機構を通じインド社会支配。北インドのヒンドゥー的社会秩序維持、スーフィーによる布教 王朝(1206~1290)…ゴール朝のマムルーク出身のアイバクが自立し建国 o 27 期(1320~1320)…14 世紀初め南インドに遠征し、その大部分を支配 o 28 朝(1290~1320)…14 世紀初め南インドに遠征し、その大部分を支配 o 29 朝(1320~1414)…イブン=バトゥータ滞在。王朝末にティムール侵入 o 30 朝(1414~1451)…ティムールの部将が建国し、デリー周辺のみ支配 o 31 朝(1451~1526)…唯一のアフガン系王朝でアグラに遷都 o 32 王国…14 世紀南インドに成立のヒンドゥー教の大国、 カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入、16 世紀前半全盛→ヴァスコ=ダ=ガマ到来 1. アイユーブ朝 2. サラディン 3. スンナ 4. イェルサレム 5. マムルーク 6. ムラービト朝 7. ムワッヒド朝 8. ナスル朝 9. グラナダ 10. クシュ 11. メロエ 12. アクスム 13. ガーナ 14. 塩と金 15. マリ 16. ソンガイ 17. トンブクトゥ 18. ジンバブエ	O <sub>25</sub>	lタンザニア,南方のソファラを支配下に繁栄もポルトガルの攻撃で衰退
北西インドでは 26 がヒンドゥー教とヴァルナ秩序を保護し、分立抗争  o 13 世紀初期から 16 世紀初期までのイスラーム 5 王朝の総称がデリースルタン朝(ロディー朝以外トルコ系) o 首都はデリー。奴隷王朝のアイバクがクトゥブ=ミナレット (モスクの塔)を建設 o 既存の権力機構を通じインド社会支配。北インドのヒンドゥー的社会秩序維持、スーフィーによる布教  王朝(1206~1290)…ゴール朝のマムルーク出身のアイバクが自立し建国 朝(1290~1320)…14 世紀初め南インドに遠征し、その大部分を支配 朝(1320~1414)…イブン=バトゥータ滞在。王朝末にティムール侵入 朝(1414~1451)…ティムールの部将が建国し、デリー周辺のみ支配 朝(1451~1526)…唯一のアフガン系王朝でアグラに遷都 O 32 王国…14 世紀南インドに成立のヒンドゥー教の大国、カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入、16 世紀前半全盛→ヴァスコ=ダ=ガマ到来 1.アイユーブ朝 2.サラディン 3.スンナ 4.イェルサレム 5.マムルーク 6.ムラービト朝 7.ムワッヒド朝 8.ナスル朝 9.グラナダ10.クシュ 11.メロエ 12.アクスム 13.ガーナ 14.塩と金 15.マリ 16.ソンガイ 17.トンブクトゥ 18.ジンバブエ	ο ソファラ…現モザンビー	- ク,スワヒリ文化圏の南端,モノモタパ王国の金・象牙の出荷地
o 13 世紀初期から 16 世紀初期までのイスラーム 5 王朝の総称がデリースルタン朝 (ロディー朝以外トルコ系) o 首都はデリー。奴隷王朝のアイバクが <u>クトゥブ=ミナレット</u> (モスクの塔) を建設 o 既存の権力機構を通じインド社会支配。北インドのヒンドゥー的社会秩序維持,スーフィーによる布教  王朝 (1206 ~ 1290) …ゴール朝のマムルーク出身のアイバクが自立し建国 朝 (1290 ~ 1320) …14 世紀初め南インドに遠征し,その大部分を支配 の 29 朝 (1320 ~ 1414) …イブン=バトゥータ滞在。王朝末にティムール侵入 朝 (1414 ~ 1451) …ティムールの部将が建国し,デリー周辺のみ支配 の 30 朝 (1451 ~ 1526) …唯一のアフガン系王朝でアグラに遷都 の 32 王国…14 世紀南インドに成立のヒンドゥー教の大国, カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入,16 世紀前半全盛→ヴァスコ=ダ=ガマ到来 1.アイユーブ朝 2.サラディン 3.スンナ 4.イェルサレム 5.マムルーク 6.ムラービト朝 7.ムワッヒド朝 8.ナスル朝 9.グラナダ 10.クシュ 11.メロエ 12.アクスム 13.ガーナ 14.塩と金 15.マリ 16.ソンガイ 17.トンブクトゥ 18.ジンバブエ		
の首都は <u>デリー</u> 。奴隷王朝のアイバクが <u>クトゥブ=ミナレット</u> (モスクの塔)を建設  の既存の権力機構を通じインド社会支配。北インドのヒンドゥー的社会秩序維持,スーフィーによる布教  王朝(1206~1290)…ゴール朝のマムルーク出身のアイバクが自立し建国  朝(1290~1320)…14 世紀初め南インドに遠征し,その大部分を支配  朝(1320~1414)…イブン=バトゥータ滞在。王朝末にティムール侵入  朝(1414~1451)…ティムールの部将が建国し,デリー周辺のみ支配  朝(1451~1526)…唯一のアフガン系王朝でアグラに遷都  「五里…14 世紀南インドに成立のヒンドゥー教の大国,カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入,16 世紀前半全盛→ヴァスコ=ダ=ガマ到来  1.アイユーブ朝 2.サラディン 3.スンナ 4.イェルサレム 5.マムルーク 6.ムラービト朝 7.ムワッヒド朝 8.ナスル朝 9.グラナダ 10.クシュ 11.メロエ 12.アクスム 13.ガーナ 14.塩と金 15.マリ 16.ソンガイ 17.トンブクトゥ 18.ジンバブエ		
の既存の権力機構を通じインド社会支配。北インドのヒンドゥー的社会秩序維持,スーフィーによる布教  王朝(1206~1290)…ゴール朝のマムルーク出身のアイバクが自立し建国  ロ 28 朝(1290~1320)…14世紀初め南インドに遠征し,その大部分を支配  ロ 29 朝(1320~1414)…イブン=バトゥータ滞在。王朝末にティムール侵入  ロ 30 朝(1414~1451)…ティムールの部将が建国し,デリー周辺のみ支配  ロ 31 朝(1451~1526)…唯一のアフガン系王朝でアグラに遷都  ロ 32 王国…14世紀南インドに成立のヒンドゥー教の大国,  カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入,16世紀前半全盛→ヴァスコ=ダ=ガマ到来  1.アイユーブ朝 2.サラディン 3.スンナ 4.イェルサレム 5.マムルーク 6.ムラービト朝 7.ムワッヒド朝 8.ナスル朝 9.グラナダ 10.クシュ 11.メロエ 12.アクスム 13.ガーナ 14.塩と金 15.マリ 16.ソンガイ 17.トンブクトゥ 18.ジンバブエ		
<b>王朝</b> (1206~1290) …ゴール朝の <b>マムルーク</b> 出身の <b>アイバク</b> が自立し建国 <b>朝</b> (1290~1320) …14 世紀初め南インドに遠征し、その大部分を支配 <b>朝</b> (1320~1414) …イブン=バトゥータ滞在。王朝末にティムール侵入 <b>朝</b> (1414~1451) …ティムールの部将が建国し、デリー周辺のみ支配 <b>朝</b> (1451~1526) …唯一のアフガン系王朝でアグラに遷都 <b>丁</b> カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入、16 世紀前半全盛→ヴァスコ=ダ=ガマ到来  1.アイユーブ朝 2.サラディン 3.スンナ 4.イェルサレム 5.マムルーク 6.ムラービト朝 7.ムワッヒド朝 8.ナスル朝 9.グラナダ 10.クシュ 11.メロエ 12.アクスム 13.ガーナ 14.塩と金 15.マリ 16.ソンガイ 17.トンブクトゥ 18.ジンバブエ	·	
1/2   1		
1		
# (1414~1451) …ティムールの部将が建国し、デリー周辺のみ支配  # (1451~1526) …唯一のアフガン系王朝でアグラに遷都    Tal   Tal	1 0 28	
O 32 王国…14世紀南インドに成立のヒンドゥー教の大国, カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入, 16世紀前半全盛→ヴァスコ = ダ = ガマ到来 1.アイユーブ朝 2.サラディン 3.スンナ 4.イェルサレム 5.マムルーク 6.ムラービト朝 7.ムワッヒド朝 8.ナスル朝 9.グラナダ 10.クシュ 11.メロエ 12.アクスム 13.ガーナ 14.塩と金 15.マリ 16.ソンガイ 17.トンブクトゥ 18.ジンバブエ	ス o <sub>29</sub>	
O 32 王国…14世紀南インドに成立のヒンドゥー教の大国, カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入, 16世紀前半全盛→ヴァスコ = ダ = ガマ到来 1.アイユーブ朝 2.サラディン 3.スンナ 4.イェルサレム 5.マムルーク 6.ムラービト朝 7.ムワッヒド朝 8.ナスル朝 9.グラナダ 10.クシュ 11.メロエ 12.アクスム 13.ガーナ 14.塩と金 15.マリ 16.ソンガイ 17.トンブクトゥ 18.ジンバブエ	<b>タ</b> 0 30———	
カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入、16 世紀前半全盛→ヴァスコ = ダ = ガマ到来  1. アイユーブ朝 2. サラディン 3. スンナ 4. イェルサレム 5. マムルーク 6. ムラービト朝 7. ムワッヒド朝 8. ナスル朝 9. グラナダ  10. クシュ 11. メロエ 12. アクスム 13. ガーナ 14. 塩と金 15. マリ 16. ソンガイ 17. トンブクトゥ 18. ジンバブエ		
1. アイユーブ朝 2. サラディン 3. スンナ 4. イェルサレム 5. マムルーク 6. ムラービト朝 7. ムワッヒド朝 8. ナスル朝 9. グラナダ 10. クシュ 11. メロエ 12. アクスム 13. ガーナ 14. 塩と金 15. マリ 16. ソンガイ 17. トンブクトゥ 18. ジンバブエ	32-	
10. クシュ 11. メロエ 12. アクスム 13. ガーナ 14. 塩と金 15. マリ 16. ソンガイ 17. トンブクトゥ 18. ジンバブエ		

移動前	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヿ゚ヹ゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	II ¬、,	
// 20 里川田	1(/)'/	ハノン	Л

T	リケルマン								
原住地は <u>バルト海</u> 沿岸,先住 <sub>1</sub> 人を圧迫・同化し <u>ライン川</u> 右岸・ <u>黒海</u> 沿岸・ <u>ドナウ</u> 左岸な									
紀元前後からコロヌス・傭兵・下級官僚としてローマ帝国に平和的・個別的に移住									
前 1 世紀 <b>カエサル</b> 『 <sub>2</sub> 』・後 1 世紀 <sub>3</sub> 『 <u>ゲルマニア</u> 』が史料									
王が首長が指導する小部族に分かれ、貴族や平民・奴隷などの身分が存在									
自自	自民の成年	三男子で構成され	れる民会で重要事	項を決定					
<b>∳</b> 狩狈	鼡・牧畜・	農耕に従事も	農業人口増大で耕	地が不足し移動の要因					
フン人の	7.淮山								
1		人はマジア玄流	8.妝陸軍民族公小名	7.77   1.77	▶を服屋→ 移動へ				
	4人はアジア系遊牧騎馬民族で北匈奴と同族説が有力。 <b>東ゴート</b> を服属→ <sub>5</sub> 移動へ パンノニア(現ハンガリー)拠点に、5世紀に <sub>6</sub> のもとで大帝国								
					もことへ中国 がガリア侵入阻止→撤退後,崩壊				
<b>V</b>			<u> </u>	四ローマとグルマク連行事が	5万 サ / 反八阻止一 100 区 夜 , 朋 塚				
移動の閉		、4女手H目44 (9.7	-) ,	海河(276) 、マドリマ)	プリの際いる自立カートンフ際互				
▼					ープルの戦いで皇帝ウァレンス戦死				
→ <u>7</u> 建国	<u> アイトンソ</u>	<u>/人</u> 術と相平→`	アストンリス审の	死後,西ゴート族の西ローマ	<b>反人→</b> 語部族 <b>修</b> 期				
国名		定住地	存続期間	内容					
9		イタリア半島	493 ~ 555	<b>テオドリック</b> 大王が <b>オドア</b>	<b>"ケル</b> 倒し建国→ <b>東ローマ</b> に滅				
10		北アフリカ	429 ~ 534	最長距離移動、カルタゴの	)故地に建国→ <b>東ローマ</b> に滅				
5		イベリア半島	415 ~ 711	410年アラリックのローマ	・ ・ ・ 占領→ <b>ウマイヤ朝</b> に滅				
フラン	ク	ガリア北部	481 ~ 843	西欧の原型					
11		ガリア東南部	443 ~ 534	フランク王国に滅亡					
12		北イタリア	568 ~ 774	申ローマ後退後のイタリアに建国→ <b>フランク王国</b> に滅					
13		イングランド	449 ~ 829	アングロ・サクソン・ジュートの七王国建設					
フラン	万丁同门			I					
777		31-511,		<b>夕山白</b> ベッニンカ郊が	s 表 妹 _ 】 <i>其</i> 中国				
X	14	'		家出身でフランク部族					
				パリ・ <sub>16</sub>					
ヴ									
イン	r	*8世紀初メロヴィング家の王権衰退→ <sub>17</sub> の <sub>18</sub> の <sub>18</sub> 有力に <b>689-741</b> …イベリア半島の西ゴート王国を滅ぼして侵入のイスラーム勢力に対抗							
グ									
グ 朝	19			<b>間の戦い</b> に勝					
751	位 75				<b>朝</b> の開始				
	<u>21</u> … <sub>12</sub> … <sub>12</sub> 。 を討ち, <sub>22</sub> <b>地方</b> を教皇に寄進→ <u>教皇領</u>								
カー	│ 位 76				と戦い,ドイツの <u><b>ザクセン人</b></u> を討伐				
	<b>ロ</b> 23								
<b>リ</b> 内政 о全国を州, <sub>25</sub> (グラーフ) 統治。 <sub>26</sub> 派遣し監督,移動宮廷で巡回									
	<b>ン</b> 文化 o イングランドより学僧 <sub>27</sub> を招き, <sub>28</sub>								
グ 戴冠 o 東ローマ帝国から自立をはかる教皇 29により、30年に戴冠									
朝		o 西欧世界の	成立=古典古代・	キリスト教・ゲルマン的要素	素の融合				
*カール大帝の孫の代で帝国三分→ゲルマン民族の諸子均分相続制が背景									
					⁄ク・北イタリア),東西フランク				
	32_		条約(870	))…中部フランクを東西フラ	ランクで分裂→仏・独・伊の原型				
					ウヌム 8. ドナウ 9. 東ゴート 10. ヴァンダ				
11. ブルグン	/ド 12.ラ	nンゴバルド 13.	ヘブターキー 14.	クローヴィス 15. メロヴィング	16. アタナシウス 17. 宮宰 18. カロリング				

19. カール = マルテル 20. トゥール・ポワティエ 21. ピピン 22. ラヴェンナ 23. カール大帝 24. アヴァール 25. 伯 26. 巡察使 . アルクィン 28. カロリング = ルネサンス 29. レオ 3世 30.800 31. ヴェルダン 32. メルセン

世界史確認プリント:前編

### ローマ教会の台頭

#### ローマ地域の指導者

\*西ローマ帝国末期,首都と皇帝はラヴェンナなどに移転→教皇が政治的にもローマ市と周辺地域を指導 は、フンのアッティラを説得し、ローマ侵入阻止、ヴァンダルのガイセリックとも交渉

#### 修道院の建設

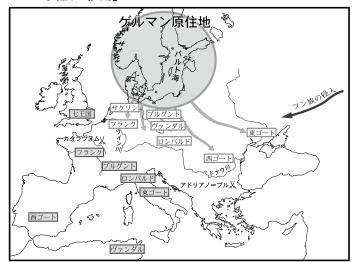
2\_\_\_\_\_\_\_の<sub>3</sub>\_\_\_\_\_\_\_修道院(529 設立,中部イタリア)→修道院運動導入 ・修道士に"服従・清貧・貞潔"の会則,"祈りかつ働け"をモットーにキリスト教普及の拠点

#### 東西教会の対立

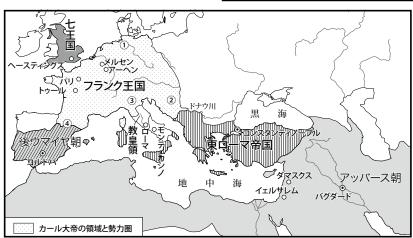
### ゲルマン布教とフランクへの接近

4	_(位 590	604) がゲル	マン布教本格	5化,グ	レゴリウス聖歌	でも有名	
5	_(726) ··	・東ローマ皇帝	6		が発布し	ローマ教会反	発
ランゴバルドの圧力→フラ	ンク王国に	接近…ピピン	の即位援助	(751),	レオ3世による	カールの戴冠	(800)

#### 【ゲルマン民族の移動】



#### 【800年前後の西欧】



- ①ザクセン人 …北ドイツのエルベ流域に居住。8世紀にカール大帝に臣従しカトリック受容
- ②アヴァール人 …モンゴル系遊牧民でカール大帝に敗北

周辺のスロヴェニア・クロアチアがカトリック受容

- ③ランゴバルド王国 …教皇を圧迫も、774年にフランク王国に滅亡
- ④<u>イベリア遠征</u> …後ウマイヤ朝と抗争→撤退時のエピソードから中世武勲詩の『**ローランの歌**』成立 →カタルーニャ地方にスペイン辺境伯領を設置→バルセロナを中心に発展
- 1. レオ1世 2. ベネディクトゥス 3. モンテ = 1 カシノ 4. グレゴリウス 1世 5. 聖像禁止令 6. レオン 3世

### 東ヨーロッパ世界

### ビザンツ帝国の盛衰

19. 聖ヴィターレ 20. モザイク 21. イコン

395	<b>東西分裂</b> → 476 年 <b>オドアケル</b> に西ローマ帝国滅亡
	唯一のローマ皇帝として地中海帝国の回復を目標とし、挫折した時期
初	<b>位 527-565</b> い <sub>2</sub> <b>王国・</b> <sub>3</sub> <b>王国</b> 征服。地中海世界回復
期	 
	・ビザンツ式の <sub>5</sub> <b>聖堂</b> 再建,皇帝が教会を支配する <sub>6</sub> <b>主義</b> を強調
	・ <sub>7</sub> を振興→ <b>絹織物産業</b> も発達
	・トリボニアヌスらに『 <sub>8</sub> 』編纂させ、ローマ法を集大成
	・プラトンが開設したアカデメイアの学院を異教的と閉鎖→学者はササン朝に亡命
	<b>ササン朝・イスラーム教徒アラブ人</b> 侵入 エジプトとシリアを失う
	位 610-641 …ササン朝・アラブ人イスラーム教徒の侵入に対抗もエジプト・シリア喪失
	ヘラクレイオス1世 ····公用語がラテン語 から <sub>9</sub>
	<u> 制度</u>
8世紀	o 11 制…軍管区制の下で兵士に土地を与え、自由農民創出とされた制度
	ビザンツ社会が形を整え, <b>スラブ人</b> を教化してビザンツ = スラブ文化圏を形成
中	
期	12 ····726 年 <sub>13</sub> <b>令</b> イスラーム教徒の偶像崇拝批判に対抗→東西教会対立へ
	<b>位 867-886</b> …帝国第二の最盛期マケドニア朝の開祖
	バシレイオス1世 …スラブ人を撃退し、ギリシア正教化、北境を防衛させる
	<b>位 976-1025</b> …キエフ公国のウラディミル 1 世と妹の婚姻→ルーシのギリシア正教改宗
	バシレイオス2世 …ブルガリア人と戦ってブルガール王国を征服し、ブルガール殺しの異名
	<b>朝</b> 侵入…マンジケルトの戦いに敗北(1071)
11 世紀	大土地所有の発展・官僚組織の後退など封建化が進行し、帝国衰退
後	<b>位 1081-1118</b> … <sub>15</sub> <u>制</u> (封建的 <u>土地</u> 制も <u>身分</u> 階級成立せず)実施
期	アレクシオス 1世 …セルジューク朝圧迫にローマ教皇に救援要請→十字軍
	<u>1204-61</u> … <u>第</u> <sub>17</sub> <b>回十字軍</b> がヴェネツィア商人の先導でコンスタンティノープル占領し建国
	16 ・・・・帝国の一族はニケーア帝国建国し対抗→奪回
	<b>オスマン帝国</b> 侵入…コンスタンティノープル中心の小都市国家化
	* 1453 年 <sub>18</sub> <b>帝国</b> のメフメト 2 世にコンスタンティノープル陥落し,滅亡
	*ビザンツ建築の代表は, <sub>5</sub>
	20
【ビサ	ブンツの特徴】
©ドξ	ナートゥス制の延長で、皇帝による中央集権体制、皇帝教皇主義で、帝国が教会を支配
→異	<b>は端とされた単性論がシリアやエジプトで勢力を保つ(アルメニア正教会、コプト正教会など)</b>
◎コン	(スタンティノープルは,東西と南北(地中海と黒海)交易の拠点,正教の中心として「第2のローマ」主張
	<b>: スマ金貨</b> が国際通貨として流通
◎滅亡	T前後の学者のイタリアへの移住は,イタリアルネサンスに影響
	ィニアヌス 2. ヴァンダル 3. 東ゴート 4. ササン 5. 聖ソフィア 6. 皇帝教皇 7. 養蚕 8. ローマ法大全 9. ギリシア ヌ(テマ) 11. 屯田兵 12. レオン 3 世 13. 聖像禁止 14. セルジューク 15. プロノイア 16. ラテン帝国 17. 4 18. オスマン

### 【ポーランド】

<b>西スラヴ</b> 族が 10 世紀録	<b></b>	_受容し, 11 世紀に	ローマ教皇権に直属(	申聖ローマ帝国に対抗)
13 世紀 <b>ドイツ騎士団</b> カ	・ ぶ <b>プロイセン</b> に入植・バトゥ	,遠征軍も襲来(12	241年 <sub>2</sub>	の戦い)
14 世紀カジミェシュ 3	3世(大王)が統一回復し,	クラクフ大学も成	立(後に <b>コペルニクス</b> )	舌躍)
1386 年ドイツ騎士団 と	と対抗し, <sub>3</sub>	と連合	→ <sub>4</sub>	<b>朝</b> 成立
	ウ(グルンヴァルト)の戦い			
ベーメン】				
<b>西スラヴ</b> 族が9世紀初	<b>モラヴィア国</b> 建国→ <sub>5</sub>		_受容もマジャール人の	侵入で滅亡(906)
	_ <b>人</b> は9世紀末モラヴィア国			
	スロヴァク人は以後第一次			
11 世紀初:8	に併合	↑され、帝国内の∃	三国となる。	
	で選帝侯(勅書の			ア王カレルでもあった
	ラハ大学総長。宗教改革と			
ı14	- 14 年開始の <sub>12</sub>	公会訓	<b>義</b> で処刑→支持者は <sub>13</sub> _	戦争
·· ハンガリー】				
=	の 15人がパ	ンノニア平原に谁	出し、先行するフン・ア	プヴァールを吸収
	し, 西ヨーロッパ侵入を繰		що, лип / о / • /	, , , , , e , , , , , , , , , , , , , ,
	戦いでオットー1世に敗北		<b>严</b> 宏1	ハンガリー工国建国
カスラヴ諸族】	我なでオットー1 国に飲む	710 巴和 16——		ハンカリー工国廷国
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	マチマ人け フランカ工国	に服屋!	<b>严</b> 宓	
	アチア人は、フランク王国	• •		<b></b>
	人はブルガリア・東ローマ			文台
	・ドゥシャンの下でツァー!			
	の戦いに敗北し、オスマンや	が国の文配下		
ルーマニア】	7のダレッケ叩に上去の	7.1	******* <b>**</b> **	<b>14.</b>
	<b>き</b> のダキア征服に由来の <sub>21</sub> _			
- <b>-</b>	受容→ 14 世紀オス	〈マンの文配→19	世紀に独立し, <sub>23</sub>	
ブルガリア】				
	人が7世紀初に			
	<u>:</u>	受容→9世紀末	ミシメオン1世がツァー	リを称し全盛
l 1 世紀ビザンツ帝国に	:服属			
2世紀にビザンツ帝国	国より独立→ 14 世紀にオス	マン帝国に服属		
ロシア】				
_	<b></b> 1…862年 <sub>27</sub>	<b>族</b> の長 <b>。</b>	が建国	し、ロシアの起源
	<u>公国</u> …ノブゴロド公が <sub>30</sub> _			
	ش 30			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
13 世紀	~ 32 の遠征で征服→ <sub>34-</sub>		に <u>め</u> なり上血 <b>国</b> の成立(タ	タタールの <b>前</b> )
	大公国··· <sub>36</sub>			
	<b>ハムロ</b> 36 皇帝の姪ソフィアと結婚し			
	•			_
	はツァーリを正式称 <sup>り</sup> <sup>フット 3.リトアニア 4.ヤゲャ</sup>			
	7 y r - 3. y r 7 ー 7 - 4. v 7 · 11. フス - 12. コンスタンツ			
カトリック 18. セルビア 19	. ギリシア正教   20. トラヤヌス	21. ラテン 22. ギ	リシア正教 23. ルーマニア	24. ブルガール
	ロド 27.ルス (ルーシ) 28.リ		7 30. ドニエプル 31. ウ	ラディミル 1 世

### 封建社会の成立

到连社会切成立			
ノルマン人の活動			
北方ゲルマン人で別称1	,原住地心	はスカンディナビア半島・ニ	エトランド半島
商業活動と海賊活動			
スウェーデン系…バルト海か	らドニエプル川を経て東ローマ	帝国と交易→ <sub>2</sub>	の活動
ノルウェー系…9Cアイスラ	ンド 10 Cグリーンランド,100	)0 年頃北米に到達(レイフ	・エリクソン)
デンマーク系… <sub>3</sub>	<b>人</b> としてイングランド・フ	<b>ソ</b> ランス北岸・ライン流域な	どを襲撃
イングランド侵攻 …8世紀末	よりイングランド侵攻→9世紀	末,4	<b>大王</b> に撃退
10 世紀末	Rより侵攻再開→ 1016 年 <sub>5</sub>	が征服し,	<b>デーン朝</b> の成立
<b>ノルウェー・デンマーク・ス</b>	ウェーデンの3国建国,1397年	Fデンマーク中心に <sub>6</sub>	同盟(連合)
ノルマン人の国家			
7	!)・・・・ルーシの8	が建国し,ロシアの起	<b>起源</b>
9	…リューリックの一族が南下し	, ドニエプル中流域に建国	,ロシア諸侯の中心
<u>ノルマンディー公国</u> (911)			
	がイングランド征服		
12	130)…ノルマンディー公国出具	<b>身の勢力,ビザンツ帝国・</b> イ	イスラーム勢力と抗争
→ルッジェーロ2世が父から	シチリア,叔父ロベール=ギス	カールからナポリを継いで	建国
→ビザンツ・イスラーム文化	と西欧文化が共存し,12 世紀ル	⁄ネサンスの一中心	
<b>野建社会</b> 要因 ○ <u>アラブ</u> ○ <u>ノルマン</u> →小領主 ○ 混乱期の →部族語	紀に成立した政治制度を <b>封建制</b> , 人の地中海覇権で地中海岸の商業 人・13 人の (封建契約) 地域住民(農奴制) の9~10世紀に地域防衛機構と を経済を表する。 オットー1世 に統合の核が復活し、西欧世界の発	業都市衰退し、内陸の荘園か の侵入に地方有力者(諸侯)な を保護し、支配下に置いてる して成立し、10世紀後半の 世がマジャール人を撃退→神	経済活動の基盤 が対抗し、武装して自立 各地に割拠 の秩序回復へ
14 …一定の奉仕	の代償として土地を貸与するロ・	ーマ末期の制度	
	弟が有力者に忠誠を誓い,従者	として仕える古ゲルマンの制	訓度
・ <b>封建制</b> ・・・・主君が臣下	に <u><b>封土</b></u> を与え,保護し,臣下は	忠誠と <u>軍役</u> (重装騎兵の騎	士) 義務を果たす
o双務的契約関係で、どち	らが契約違反しても主従関係を	解消できる	
o臣下は契約に違反しない	限り,複数の主君を持つことが	可能	
O 16	<b>権(インムニタス)</b> 封土への主	三君の課税や,役人の立入拒否	5の特権
<b>*</b> <sub>17<b>道</b>…十字軍期にキ</sub>	リスト教思想の影響で形成。騎士	は、武勇と忠誠・貴婦人への	いいたわりを徳目
古典荘園の仕組み 領主 <b>直営地</b> …ここでの週3回ほど 農民 <b>保有地</b> …生産物の一部を領主 共同地 …入会地ともいい,山	に治める = <sub>19</sub> ( <b>生産物</b>	<b>地代</b> )	
*農奴は移動の自由なく 20	に服し, <b>結婚税・死</b>	<u> 亡税・<sub>21</sub> </u>	<b>脱</b> (教会に) 負担

1. ヴァイキング 2. ルーシ 3. デーン 4. アルフレッド 5. クヌート 6. カルマル 7. ノブゴロド 8. リューリク 9. キエフ 10. ロロ 11. ノルマンディー公ウィリアム 12. 両シチリア 13. アラブ 14. 恩貸地制 15. 従士制 16. 不輸不入 17. 騎士 18. 賦役 19. 貢納 20. 領主裁判権 21. 十分の一

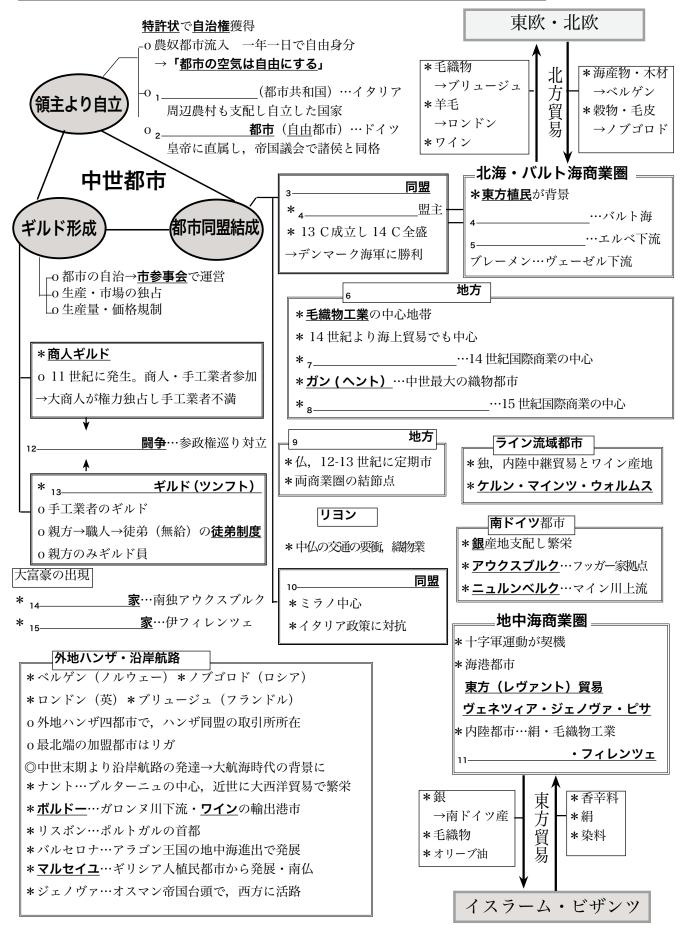
# 西欧封建社会の拡大

# 拡大運動

* 10 世紀後半から封建	制の下で秩序を回復した	西欧カトリック世界が	ば, 11 世紀より拡大	運動に転換
イベリア半島への1_	, J	<b>エルベ川以東への<sub>2</sub></b>	, シ	リア地方への <b>十字軍運動</b>
*背景				
・気候の温暖化…11世	世紀に気温が上昇し,13†	世紀まで全体的に温暖	<b>養な気候が続く</b>	
・中世農業革命… <sub>3</sub>	制や4	<b>犂</b> の使用が普別	及し,生産性が向上	,人口も増加
・大開墾運動 … <sub>5</sub>	派修道会②	D森林開墾,オランダ	の干拓,アルプス高	5地の開墾
・商業の復活・・・農業	生産の上昇による余剰生	産物の交換から,都市	<b>声と貨幣経済が再生</b>	
・巡礼の流行 …教区	教会の設置や, 教会改革	運動で信仰心が高揚,	教会は私闘を禁じ	る神の平和を推進
紀元	1000 年頃から終末論流行	うし、聖人や聖遺物へ	の崇敬から巡礼の素	热狂
<u> </u>	マ, <u>イェルサレム</u> , <u>サン</u>	ティアゴ・デ・コンホ	<u> </u>	ア半島)が三大聖地
・時禱書…修道院の礼	拝儀礼を一般向けに編纂	「ベリー公の豪華時福	[書] が有名	
荘園制の変化				
11世紀			0.	
農 o II 世紀より気流	温上昇し,3			
番     ` .	引く <u>重量<sub>4</sub> 型 型</u>			
	共同農業→ <b>開放耕地</b> と集	村化→教区教会の設置	直→村洛共同体の強	化から目冶へ
	商業ルネサンス			
教皇権の台頭				
皇帝権との抗争				
	<b>修道院(910 設立,フラン</b>	,	,	
	己なかば教皇庁主導の改革	•		
	-マ皇帝は,帝国教会政策			』に活用
•	<b>***</b> (1100) III (1) = [6:41]	_		
	<u>錦約</u> (1122)世俗の権利	の授封を皇帝に、秋日	上惟を教皇に承認し	聖俗の分離か惟正
教皇権の絶頂	_	<b>ウ</b> 数人詳~		
1096~1291	…11 <u>~~</u> ~ が却			
十字軍運動				
位 1198~1216				し"教皇は太陽皇帝は月"
14 - HW	··· <u>第四回十字軍</u> を提唱			
	派(カ			
	ンチェスコ派を事実上公			
	催…キリスト教会全体の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· ———
*教会法(カノン法)整体		果を編綦,各地の教会	*   裁判所で裁判権を作	丁悝し影響力を払入
中世後期の修道院運	<u>  <b>     </b>                               </u>	業の由心として活題	"だり働け"の武律	<b></b>
5				<b>型位</b>
	- ・			<b>钛修</b> 道会運動開始
	<u></u>			
<del></del>				
<ol> <li>レコンキスタ</li> <li>東方植民</li> <li>ヴォルムス</li> <li>カレルモン</li> </ol>				
17. ラテン 18. アルビジョワ l	9. 托鉢 20. フランチェスコ	21. ドミニコ		

#### ヨーロッパ中世の都市

#### 定期市→常設の市→都市復活(商業ルネサンス)→十字軍運動→遠隔地交易と貨幣経済の普及



1. コムーネ 2. 帝国 3. ハンザ 4. リューベック 5. ハンブルク 6. フランドル 7. ブリュージュ 8. アントウェルペン 9. シャンパーニュ 10. ロンバルディア 11. ミラノ 12. ツンフト 13. 同職 14. フッガー 15. メディチ

#### 封建制の危機の時代

#### 危機の 14 世紀

\*封建諸侯と教皇権の没落で、王権が伸長

西欧は封建勢力が分立しつつ皇帝と教皇が指導するキリスト教共同体から、国家を中心とする体制へ移行

#### \*背景

- ・気候の寒冷化 …およそ300年続いた温暖な時代が終了し、気候が寒冷化して農業生産も低下
- ・1 ( ) の流行…イギリスやフランスでは人口の三分の一が死滅, 社会の変動を促す
- ・農奴解放 …労働力不足から、農民の地位は向上、人口減による地代減少で領主は打撃
- ・封建諸侯の没落 …地代の減少,火砲の出現など戦術の変化による地位の低下,長期の戦争で没落
- ・教皇権の衰退 …十字軍運動の相次ぐ失敗、教皇庁の統制強化への反発などで教皇の権威が低下

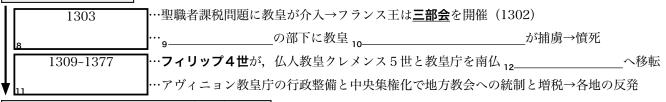
#### 荘園の変化と農民の地位向上

12世紀 \*貨幣経済の普及→領主直営地は低生産性から廃止され、農民保有地に一本化

純	o 農民 <b>保有地</b> …		<b>地代</b> が地代	の中心→貨幣経	済の普及とと	もに3	<u>地代</u> へ
粋	$\rightarrow$ ;	純粋(地代)	荘園になり農好	又の地位向上・貨	貨幣地代の転換	!進むと自由を買	<b>『い取る農民出現</b>
荘		ex14	世紀のイギリス	で独立自営農民	(英 <sub>4</sub>	)	出現
園	* 14 世紀1	(	<b>)</b> _流行	農民数減少し,	領主が農民保	護→中世 <b>農奴解</b>	<b>解放</b> の原因の一つ
	封建反動	…中世末の貨	常経済の普及や	ウ火砲の出現で没	落した領主が	封建的束縛強化	Î.
		…西欧では農	民反乱誘発し,	東欧では農奴制	が強化される		
		* 1358年 <sub>5</sub> .		<b>の乱</b> …百年	F戦争期フラン	ノスの農民反乱	
	農民一揆		0 ギ	ョーム・カイエ	指導。乱敗北	も仏農民地位向	上
		* 138	1年6———	の乱…	百年戦争期イギ	ギリスの農民反	£L
		о 6—		指導し一時ロン	ドン占領。乱	敗北も英農民地	位向上
		o 精神	的指導者はウィ	ィクリフ説を奉じ	こた <sub>7</sub>		
		o <u>"7</u>	<u>'ダム</u> が耕し, <u>〈</u>	<u>イヴ</u> が紡いだ時,	誰が領主(貴	<u> 族)</u> だったか』	

#### 教皇権の没落

#### フランス王権に屈服



#### 教会の分裂と地方教会の独立(改革)運動

1378~1417	教皇のバビロン捕囚終了後,アヴィニョンに対抗教皇
13	…各地方教会も,ローマ派とアヴィニョン派に分裂し,混乱
14 C	-  …イギリスのオックスフォード大学教授
14	…イギリス教会のローマ教皇からの自立を主張し聖書の英訳の試み,支持者をロラーズ
14 C末~15 C初	ボヘミア(ベーメン)のプラハ大学の総長
15	…ウィクリフ説を支持し、チェック人の民族運動も指導、聖書のチェコ語訳の試み
1414~1418	…皇帝 <u>ジギスムント</u> が提唱し,シスマを解消←公会議を教皇権の上位に置く公会議主義
16	… <u>ウィクリフ</u> と <u>フス</u> を異端としフスを火刑→フス支持のチェック人が <sub>17</sub>

1. ペスト (黒死病)2. 生産物3. 貨幣4. ヨーマン5. ジャックリー6. ワットタイラー7. ジョン = ボール8. アナーニ事件9. フィリップ 4世10. ボニファティウス 8世11. 教皇のバビロン捕囚12. アヴィニョン13. シスマ14. ウィクリフ15. フス16. コンスタンツ公会議17. フス戦争

	イギリス			
	*ローマ撤退後,	ゲルマン民族大移動で <sub>1</sub> `に <b>七王国</b> ( <sub>2</sub>	・ジュ	ート到来
七	→イングランド	に <u>七王国</u> ( <sub>2</sub>	_)成立。ケルト系はウェールズ	^
丰	位 829 - 839		らウェセックスの王でカール大帝	とも連帯
国		…829 年七王国を統一して <b>イングラン</b>	<b>ノド王国</b> 建国	
	位 871 – 899	    	<b>人</b> の侵入を撃退し,反撃開始	
	4	…兵制・裁判制など改革。『アングロ	サクソン年代記』の文化事業	
	1016 – 1035	= <b>∖</b> …デンマークの王子 <sub>6</sub>	がイングランドを征服し	、王(デーン朝)
	デーン朝	<b>)</b> …デンマーク・ノルウェー王兼ね,ス		
		後継争いから北海帝国崩壊し,イングラ		
	·-	…1066 年ヘースティングズの戦い		
( )		<sub>8</sub> 即位し <sub>9</sub>	•	
		<b></b>		
	10			
ーン	10	』 		,
タ		… <u>第<sub>14</sub> <b>回十字軍</b>に参加し</u> , <sub>15</sub>		と戦う
タジネ		] …ヘンリ2世の末子 (欠地王)。仏王]		
ヤツ		…カンタベリ大司教叙任問題で18—		
	L <sub>O</sub>	(大 <b>憲章, 1215 年)</b> 封		
朝	位 1216 – 1272	···大憲章無視し,1258年 <sub>21</sub>	σ	乱発生
	20	■ → 65 年王の諮問会議に州・騎士の		
	位 1272 – 1307	・・・・ウェールズ征服し、以後皇太子をフ		A
	22			: 2名。都市市民2名)
		■ …フィリップ4世の孫で,フランス∃	20	
	24	・・・・上下両院成立 =1341 年に上院(貴		<u> </u>
		(去バラ) レ	(白バラ) の王位争い	に豊族の内紛
	) 4	<sub>26</sub> (亦バフ)と <sub>27</sub> 有力貴族が疲弊し,自滅→ <sub>28-</sub>		
25_		月刀貝吹が吹笄し、日燃 / 28————		
	フランス			—
//		人の侵入に対し、30を北フ	•	
~	位 987 – 996	… <sub>32</sub> <u>伯</u> でパリとオルレア		
朝	31	… <u>カロリング朝</u> 断絶で <sub>33</sub>		
773	1066	34		<b>兼</b> 任
	<b>ノルマンの征服</b>			
	位 1180 – 1223	…第三回十字軍参加→ <b>プランタジネッ</b> 	<b>ト朝</b> と抗争→ <u>ジョン王</u> から仏内芽	<b>英領の大半を奪う</b>
	33	…都市に大幅な自治特権を認めて連携		
	位 1226 – 1270	<sub>37</sub> <b>十字軍</b> で南仏の <sub>3</sub>	<sub>37——</sub> 根絶。南	<b>「仏諸侯勢力を支配下</b>
	36	…第 <u>6・<b>7回十字軍</b>指揮。<b>ルブルック</b></u>	をモンゴルに派遣。高等法院創認	Ž.
	位 1285 – 1314	…聖職者への <b>課税権</b> で教皇 <sub>39</sub>	と抗争。カ・	ペー朝全盛期
	<u> </u>	… <sub>40</sub> (1302年) 召集。		
	—o <u>1303</u> 年 <u>アナ</u>	·一二事件··· <sub>39</sub>	を監禁	
	└o 1309 年 <u>教皇</u>	<b>のバビロン捕囚</b> …教皇庁を南仏 <b>アヴィ</b>	<u>ニョン</u> へ	
		プターキー 3. エグベルト 4. アルフレッド		
		<ul><li>10. ヘンリ2世 11. アンジュー 12. プ 18. インノケンティウス3世 19. マグナカルタ</li></ul>		
		10. イン・/ ラー・/ インハ 5 世		

30. ロロ 31. ユーグ = カペー 32. パリ 33. カペー 34. ノルマンディー公ウィリアム 35. フィリップ 2世 36. ルイ 9世 37. アルビジョワ

40

38. フィリップ 4世 39. ボニファティウス 8世 40. 三部会

\*ワイン産地ギュイエンヌ争奪戦

…フィリップ4世の弟,ヴァロワ伯の息子 位 1328 – 1350 フィリップ6世 朝創始も、イギリス王エドワード3世が継承権主張 ァ ···毛織物地域<sub>2</sub>\_\_\_\_\_\_の争奪 П 1339 - 1453ワ …初期₄\_\_ \_\_\_活躍も,後期<u>ジャンヌ = ダルク</u>出現で形成逆転 百年戦争 朝 \_\_\_の支援でランスで戴冠,\_\_\_\_\_\_\_を除きイギリス軍を駆逐 位 1422 - 1461 …大商人ジャック = クールを登用し、財政改革。常備軍を整備 位 1483 - 1498 |…国内統一完了。ナポリ王国継承主張し,イタリア南下 シャルル8世 →ハプスブルク家との**8. 戦争**開始。ルネサンスがフランスへ伝来 ワット・タイラーの乱 カレー 【百年戦争中の英仏】 \* 1381 年**ワット・タイラー**指導 \*百年戦争後のイギリスの拠点 \*一時はロンドン占領し、農奴制 廃止・商品取引自由・地代軽減 アザンクールの戦い 等要求。 \* 1415年百年戦争最大の決戦 \*思想的指導者ジョン・ボール \*ランカスター朝ヘンリ5世勝利 →シェークスピア劇で有名 ルクセンブルク ジャックリーの乱 クレシーの戦い \* 1358 年ギョーム・カイエ指導 \*ポワティエの戦い後の領主の重 \* 1346 年**エドワード黒太子**勝利 税や傭兵の村荒らしに反対 ブザンソン \*ヨーマンの長弓隊活躍 ゛ ●ジュネーヴ ポワティエの戦い オルレアン \* 1356 年エドワード黒太子勝利 \*百年戦争末期のフランス拠点 \*フランス王を捕虜 \* 1429 年ジャンヌ・ダルクが英

#### **ヘプターキー成立以前のイギリス**

o 先史時代の遺跡にストーン = サークルの代表であるストーン・ヘンジ

の包囲を突破

→シャルル7世の戴冠へ

o <u>ケルト系</u>ブリトン人居住。後 43 年頃ローマの属州<u>ブリタニア</u>。ロンディニウム建設 →アングロ・サクソンの侵入でウェールズへ,『アーサー王物語』の形成

Ⅲ 1420~1429: イングランド支配地域 Ⅲ 1429 シャルル7世(仏王)の勢力圏

- o **スコットランド**にはアイルランドからケルト系スコット人が入植し広がる
- o アイルランドには5世紀に聖パトリックがカトリックを布教,独自の修道院文化が発展

#### < フランク王国以前のフランス

- o旧石器時代に<u>クロマニョン人</u>居住。先史時代の遺跡に洞窟絵画で有名な<u>ラスコー</u>
- o ケルト系民族居住。カエサルのガリア遠征でローマの属州。ルティティア(現パリ)建設

□ ブルゴーニュ公領(1461) □ 教皇領

# ドイツ

*マジャール人・スラヴ人の侵入に部族を支配する諸侯が武装して対抗し,強勢となって各地	に割拠
ザ	
<b>ク</b>   <u>ハインリビ1世</u>   …部族諸侯の軍事力を束ね,マジャール人に対抗, <sub>1</sub> <b>車</b>	<u>月</u> を創始
<b>セ</b>   「位 936(962) - 973 ]レヒフェルトの戦いで	
<b>ン</b> 朝 2 …962 年ヨハネス 12 世より西ローマ皇帝の戴冠 = 4 …	
o帝国教会政策 司教や修道院長を叙任。忠実な諸侯とし大諸侯抑制→叙任権闘争の原	因に
ザ リ 位 1056 - 1106 …ザクセン朝に代わったザリエル朝(フランケン朝・領域最大)の皇帝	
ッ エ <u>5数皇<b>グレゴリウス7世</b>と。</u> で破門→ <b>カノッサの屈辱</b> で	で許される
プレ 位 1106 - 1125 …1122 年 <sub>8</sub> 締結し、叙任権闘争終了	
朝   1   7   →俗権の授与を皇帝、聖職者としての叙任を教皇として妥協	
シ       位 1152 - 1190       …ザリエル朝と代わった       朝の皇帝。第三回十字軍で	事故死
<b>1</b>	
<b>タ</b>	
<b>フ</b>	
<b>ン</b> *イタリアでは統一願う <b>皇帝派</b> ( <sub>14</sub> と分裂維持の <u><b>教皇派</b></u> ( <sub>15</sub> )	の対立
1256 - 1273 …教皇と対立し敗北した <b>シュタウフェン朝</b> が、断絶	
16 …英仏など外国勢力の傀儡皇帝が続き、事実上の無皇帝時代で皇帝権失墜	
	<b>領</b> 成立
か	
ク   21	ל
1356 …皇帝選出権を7選帝侯に限定、マインツ・トリール・ケルンの大司教	
ン ブ (	
ル 2 …皇帝選出手続きを明確化、教皇の干渉排除、選帝侯に大権承認→帝国は	領邦の連邦へ
ク 位 1411 - 1437 …ハンガリー王として 1396 年オスマン帝国にニコポリスの戦いで敗北	
<b>ジギスムント</b>   …1414 年 <b>コンスタンツ公会議</b> 提唱→ 1419 年ベーメン王兼ね, <sub>23</sub>	<b>戦争</b> 惹起
1438~1806 …1273年ルドルフ1世が皇帝となり、大空位時代終結、1308年まで帝位	
	<b>!</b> <
イタリア	
962 :神聖ローマ帝国成立…ドイツ皇帝はイタリア支配の強化を目的に 11	
→ 12 世紀以降, <sub>25</sub> <b>派</b> < <u>ゲルフ</u> >と <sub>26</sub> <b>派</b> < <u>ギベリン</u> >の争い激イ	<mark></mark> ዸ
1130: <b>両シチリア王国</b> 成立… <u>ノルマン</u> 人がシチリアとイタリア南半支配→ 12 世紀末シュタウフェン	/朝成立
1282:シチリアの晩鐘…フランスアンジュー家の支配にシチリア島反乱→ナポリと分離しアラゴン	領に
*中部はローマ中心に教皇領…教皇は <u>ペテロ</u> の後継者を称し、イタリア政策の皇帝に対抗 *北部は都市国家が分立	
о <sub>27</sub> ····地中海交易に覇権, <b>第4回十字軍</b> の <b>コンスタンティノープル</b> 占領を先	導
O 28	
o <sub>29</sub> ···内陸都市でロンバルディア同盟の中心,ヴィスコンティ家の公国	
o <sub>30</sub>	5
1. ザクセン 2. オットー1世 3. マジャール 4. 神聖ローマ帝国 5. ハインリヒ 4世 6. 叙任権闘争 7. ハインリヒ 5世	
9. フリードリヒ 1 世 10. シュタウフェン 11. イタリア政策 12. フリードリヒ 2 世 13. 5 14. ギベリン 15. ゲルフ	
16. 大空位時代 17. 東方植民 18. エルベ 19. ブランデンブルク 20. ドイツ騎士団 21. カール4世 22. 金印勅書 24. ハプスブルク 25. 教皇 26. 皇帝 27. ヴェネツィア 28. ジェノヴァ 29. ミラノ 30. フィレンツェ 31. メディ	

# イスラーム史の用語解説

o <b>ミスル</b>	イスラーム初期に征服地に建設された軍営都市。征服者であるアラブ人が,戦士と
	して移り住み、アターと呼ばれる俸給を受けた。現在のイラクのバスラやクーファ
	は、このようなミスルに起源を持つ。
o <b>アター</b>	イスラームの初期に,アラブ人を戦士として登録し,征服地からの収益を俸給とし
	て支払った制度。官僚や軍人に対する給与支払い制度に発展したが、ブワイフ朝か
	らはイクター制(セルジューク朝で整備)にとって代わられた。
○ シーア派	…4代正統カリフであり、ムハンマドの従弟にして、その娘ファーティマの夫でもあ
	ー 
	るスンナ派に対する少数派を形成している。アリー以前の3人の正統カリフの権威
	も認めない。アリー暗殺後のウマイヤ朝の成立に反対し,アリーの子孫をイスラー
	ムの指導者に擁立しようとした人々によって始まった。ウマイヤ朝で弾圧され、ア
	ッバース朝の成立を支持したが、そのアッバース朝でも弾圧された。シーア派内で
	も分裂が進み、急進派のイスマーイール派(ファーティマ朝など)や、穏健派の
	12 イマーム派(ブワイフ朝, サファヴィー朝など)などがある。
o シャリーア	…コーランとムハンマドの言動 (スンナ) に関する伝承 (ハディース) を解釈して成
	立したイスラーム法で、人々の信仰のみならず、日常の社会生活をも規定。実際の
	運用には法学者のウラマーがあたる。ムハンマドの後継者であるカリフは、キリス
	ト教カトリックの教皇と違って教義決定権は持たなかったが、特にアッバース朝で
	カリフ権神授の説が導入されるとシャリーアの施行者としての宗教的権威を保持し
	た。その後カリフの世俗的権威が奪われてからは、カリフの権威はこの宗教的な権
	成が中心となった。
0 ウラマー	…イスラームの法学者。イスラームでは神の前に全ての人間が平等であることから建
0.774-	
	しシャリーア運用や金曜日にモスクで行われる集団礼拝を指導する専門家として、
	法学者であるウラマーが、事実上の聖職者の役割を担うようになった。人々の日常
	生活の指導者でもあるウラマーは、現在もイスラーム社会で大きな発言力を持つ。
o <b>モスク</b>	礼拝所であるが、偶像崇拝を否定するイスラームの考えから、礼拝室にはメッカの
	方角を示すくぼみがあるだけである。建築様式としては、ドームとミナレットと呼
	ばれる尖塔を持つことが一般的。金曜日には集団礼拝が行われ、礼拝後は人々の情報な嫌の場となる。
-1× = 11	報交換の場ともなる。イスラームの都市の中心的な建物である。
o <u>マドラサ</u>	多くの場合、モスクに付属する学院で、ウラマーの養成などを行う。
o <b>スーク</b>	
	イスラーム教徒(ムスリム)の都市生活の中心で、現在では屋根付きの大商店街に
	発展している伝統あるスークも多い。
o <u>キャラバンサライ</u> 	隊商宿。イスラーム世界では,ラクダを用いた隊商貿易が盛んに行われ,主要階道
	沿いに多くのキャラバンサライが建てられた。有力者の寄進によるキャラバンサラ
	イの中には無料で宿泊できるものもあり、一般の旅人も利用することができた。
о <u> ワクフ</u>	信託財産。イスラームでは、有力者や政府などがモスク・マドラサ・キャラバンサ
	ライ・病院などの施設に、その維持経営のために土地などをワクフとして寄進した。
	寄進されたワクフの運用からあがる収益で、公共の施設が運営された。

# 近世のイスラーム帝国

<u> </u>	「ムール帝国	■ <b>ディムール</b> 帝国の解体からサファフィー朝、ムカル帝国の <b></b> 五境
位 13	370 – 1405	···西チャガタイ = ハン国の混乱より台頭。都 <sub>2</sub>
1		…四方に遠征し、大帝国。 <sub>3</sub> (永楽期) への遠征途上病死
o 13	393: <b>イラン</b> 伊	併合ο 1398:デリー占領ο 1402: <sub>4</sub> <b>の戦い</b> …オスマン帝国に勝利
*三代シ	ヤー=ルフ、	四代 <b>ウルグ = ベク</b> (天文台建設)全盛→サマルカンド政権と <b>ヘラート</b> 政権に分裂し衰退
* <u>トルコ</u>	1・イスラーム	<b>、文明</b> 発展…サマルカンドにイスラーム建築, <sub>5</sub> (細密画)の発展
		人(ジュチ家が率いるトルコ・モンゴル系遊牧集団)がティムール帝国征服
→シャ	・イバーン朝建	設→ブハラ = ハン国,ヒヴァ = ハン国,コーカンド = ハン国(18 C~)などに分裂
サフ	7ァヴィー朝	
		*
<b>E</b> –		
		]…トルコ系遊牧民の神秘主義教団を母体→ <sub>8</sub>
		…都 <u>タブリーズ</u> ,帝号 <sub>9</sub> でイラン系都市民の支持
Г		国のセリム1世にチャルディラーンの戦いで騎馬軍団のキジルバシュが敗北
		…オスマン帝国よりイラク奪回。イギリスと協力しポルトガルよりホルムズ島奪回
XX.		… <sub>11</sub> に遷都, イマームのモスクを建設, 商港バンダレ = アッバー
		5兵軍団,生糸や絹織物の国内産業を育成,アルメニア商人の国際商業の活性化 
<b>→</b> * 172	22:アフガン	人がカンダハルで反乱→首都を占領される→衰退し 18 世紀前半には滅亡
L	メガル帝国	
<b>建</b> 位 1	1526 – 1530	
		』
]		···· <del>フージプート</del> と融和。 <sub>16</sub>
NU		
/>		』 『…デカン征服で領土最大→貴族の増大によるジャーギール地不足深刻化
更 21		
		」 16
		···デカン地方の部族でシヴァージーが王国形成
艮 * 22—		
<b>₹</b> ] *イス	くラーム政権は	、イスラーム教の強制を行わず
<u>.</u> 1		:義( <sub>23</sub> )の行者(スーフィー)の布教でイスラーム教が広がる
<b>5</b>		「似の神秘主義である <sub>24</sub> の信仰が盛んで、スーフィズムとの交流盛ん
' ' ' ' ' ' '   ' ' ' ' ' ' ' ' ' '		· (ナーナクに影響) やアクバル帝の融合の試み
<b>\$</b>		16 世紀初頭 <sub>26</sub>
t * 25-		10 世紀初頭 <sub>26</sub>
リ <u>* ニン</u> 記 * ノン		<del>-</del> ·
		・ <u>ム文化</u> …イラン・イスラーム文化とインド文化融合し成立,公用語はペルシア語
•   * <sub>20</sub> _		
* -	-ンノート絵画	<b>[</b> …ムガル絵画の影響を受けてラージプートの宮廷で成立
		「 3. 明 4. アンカラ 5. ミニアチュール 6. ウズベク 7. イスマーイール 1 世 8. シーア 9. シャーファハン 12. バーブル 13. カーブル 14. ロディー 15. アクバル 16. ジズヤ 17. アグラ
		7 $7$ $7$ $7$ $7$ $7$ $7$ $7$ $7$ $7$

25. シク 26. ナーナク 27. ウルドゥー 28. ムガル絵画

#### オスマン帝国

	<u>位 1299 - 1326</u> …ルーム=セルジューク朝より自立して建国
台	オスマン1世   … <sub>1</sub>   … <sub>1</sub>   (東ローマ帝国) と戦い領土拡大
頭	* 1361 2奪取 ムラト1世時。エディルネと呼称し首都(1361-1453)
	<u>位 1389 – 1402</u> …1389 年コソボの戦いでセルビア等に勝利の直後即位
	<b>─</b> ◎ 1396: <sub>4</sub> <b>の戦い</b> ハンガリー王ジギスムント率いる「十字軍」に勝利
中断	└─◎ 1402: <sub>5</sub> <b>の戦い</b> 現首都の近郊で <u>ティムール</u> に敗北し捕虜→憤死し,帝国中断
復	<u>位 1432 - 1481</u> … <u>1453</u> 年 <sub>7</sub>
興	6
7	└─◎ 1475: <sub>9</sub> <b>国</b> 保護国 キプチャク=ハン国の継承国で黒海北岸の国
	<u>位 1512 – 1520</u> …1514 年 <b>サファヴィー朝</b> のイスマーイール 1 世にチャルディラーンの戦いで勝利
	10
	位 1520 – 1556   …内政整備し,「立法者」と賞賛。 <sub>15</sub>
全	
盛	◎ 1526:モハーチの戦い… <sub>18</sub> 撃破し国王ラヨシュ 2 世を敗死,領土 2/3 支配
	  ◎ 1529: <b>第一次<sub>19</sub>       包囲</b> …ハンガリー王位を得たハプスブルク家と対抗→途中で撤退
	* 1571 <sub>21</sub>
斜	* 1683: <b>第二次 <sub>19</sub> </b>
陽	
	* 1699: <sub>22</sub> <b>条約</b> …オーストリアに <sub>18</sub> 割譲
	*チューリップ時代 …18 世紀前半のアフメト 3 世時代で,フランスを通じて西欧趣味が流行した文化の爛熟期
社	23
社会と制	24
制	25——————キリスト教子弟を徴用し、改宗するデウシルメ制に基づき編成の歩兵軍団
度	君主直属で火砲を使用、サファヴィー朝の騎馬軍団(キジルバシュ)に勝利
	26宗教別の共同体で、信仰と自治を容認→後に欧州列強の進出に利用される
	ユダヤ教徒・ギリシャ正教徒・アルメニア正教徒が独自の商業ネットワークで活動

1. ビザンツ帝国2. アドリアノープル3. バヤジット 1世4. ニコポリス5. アンカラ6. メフメト 2世7. コンスタンティノープル8. イスタンブル9. クリム = ハン10. セリム 1世11. マムルーク12. メッカ13. メディナ14. スレイマン 1世15. スレイマン = モスク16. フランソワ 1世17. カピチュレーション18. ハンガリー19. ウィーン20. プレヴェザ21. レパント22. カルロヴィッツ23. ティマール制24. ウラマー25. イェニチェリ26. ミッレト

#### 明清帝国

1368 位 1368- 1398 ·····<sub>2</sub> の乱 (白蓮教の韓山童・韓林児首領) の武将出身 ├…<u>江南地方</u>を根拠地に建国した唯一の統一王朝で明初の都は<u>。\_\_\_\_\_</u>(現在の南京) - 中華政策 o 中華秩序の回復をめざす 明 -<u>君主独裁</u> o <sub>4</sub>\_\_\_\_\_\_\_**省(丞相)**廃止…<u>六部</u>を皇帝に直属。五軍都督府(軍)・都察院(監察)も直属 o<sub>5</sub>\_\_\_\_\_\_官学…<u>大義名分論</u>で君臣の別強調 cf <u>華夷の別</u>強調は中華政策にも好都合 **制**…一皇帝期一元号の制で清末まで継承。元号名も皇帝名に -|人民支配||o <sub>7</sub>\_\_\_\_\_\_**制**…民戸を対象とした徴税と治安維持のための村落行政制度,110 戸を 1 里 **里長**…富裕な者 10 戸を里長戸とし、毎年輪番で里長として徴税、治安維持担当 甲首…残りを 10 戸×10 甲で甲首戸とし、毎年輪番で 10 人の甲首が里長を補佐 …里長・甲首に作成させた、租税台帳を兼ねた戸籍簿 ο明律・明令…唐制をもと o 職業別戸籍…**民戸**(州県)・**軍戸**(兵部) o 11 期…唐の府兵制を範。衛所に屯田を置き、軍戸に支給するかわりに兵役の義務 ┗対外政策 o 1,,\_\_\_\_\_\_\_...前期倭寇対策として私貿易(民間貿易)を禁止 o元朝をモンゴル高原に追う(北元)→**北元**を滅ぼす(1388 年フビライ家の直系が断絶) 。…二代 <sub>14</sub> \_\_\_\_\_\_\_\_**帝**(洪武帝の孫)の諸王抑圧政策に燕王朱棣(北平で辺境防衛)反乱 位 1402- 1424 | …北平を <sub>16</sub> (順天府) とし遷都・金陵を**南京** (応天府) と称し副都 -|文化事業|o 永楽大典…類書(諸種の書籍から項目ごと記述を抜粋した一種の百科事典) o四書大全·五経大全…それぞれ四書と五経の注釈書で、科挙の基準とされた └対外政策 o ,。 に五回親征・**東北地方**も攻略・**万里の長城**修築開始 o <u>ベトナム(大越国)</u>征服…<sub>19.</sub> <u>朝</u>滅亡の混乱を利用して一時支配 o **南海大遠征** (1405-1433) …イスラーム教徒の宦官の <sub>20</sub>\_\_\_\_\_の大遠征 →分遣隊は三回までインド西岸**カリカット**到着・四回以降にメッカ・**マリンディ**など到着 →マラッカ王国 (艦隊の基地提供) など南海諸国の朝貢促進, 足利義満も冊封 北虜南倭 …永楽帝の死後,対外消極策で朝貢貿易の縮小→モンゴル族が交易の拡大求め,侵攻 *》*…16 世紀には北方の<u>モンゴル人</u>,東南沿岸の後期 <sub>21</sub>\_\_\_\_\_\_の侵入に苦しむ o <sub>22</sub>\_\_\_\_\_\_の変…<sub>23</sub>\_\_\_\_\_の <sub>24</sub>\_\_\_\_に<u>英宗正統帝</u>捕虜(1449) ・ハン北京包囲(1550)→明と和睦 <u>.....</u>復興→ ₂6.... o 16世紀半頃,王直など中国商人中心に**後期倭寇**→海禁の緩和→**日本銀・メキシコ銀**の流入 →都市と農村の経済格差拡大し、都市への人口流入など社会不安発生→民変の多発 **位 1572- 1620 │**…初期 <sub>28</sub>\_\_\_\_\_の改革(1572-82:全国的検地と銀納の<u>一条鞭法</u>の普及) J…後期宦官重用・万暦の三大遠征(**豊臣秀吉の朝鮮侵入**など)・党争で衰退 党(顧憲成再建の東林書院より政界浄化主張) v s 非東林党 (魏忠賢ら宦官と結ぶ) \*党争···<sub>29-</sub> 1631-45 ···女真人(後金→清)との戦いで軍事費増大→重税→各地で農民反乱 <sup>´</sup> …陝西拠点に大順建国の**李自成**が 1644 年北京の**紫禁城**占領・毅宗崇禎帝自殺し,明滅亡 1. 太祖洪武帝朱元璋 2. 紅巾 3. 金陵 4. 中書 5. 朱子学 6. 一世一元 7. 里甲 8. 魚鱗図冊 9. 賦役黄冊 10. 六論 11. 衛所 12. 海禁 13. 靖難の役 14. 建文 15. 永楽帝 16. 北京 17. 内閣 18. モンゴル高原 19. 陳 20. 鄭和 21. 倭寇 22. 土木 23. オイラト 24. エセン 25. タタール 26. アルタン 27. 万暦帝 28. 張居正 29. 東林 30. 李自成の乱

34.	位 1616-26	・·· <b>女真人建州部</b> 出身, <sub>2</sub> ・毛皮の交易で台頭→ 1616 年 <b>後金(アイミ</b>	ノン <u>)</u> 建国
後金	太祖,		
<u>玩</u> 163		ー 3	
清	太宗』		
	位 1643- 1661	」	
	-	10	
	位 1661- 1722	」 <u></u> の <sub>14</sub>	
		10	
	位 1722- 1735	」 15	
		****	
	# 1705 1705		
	位 1735- 1795	21	
	直離…山国内州・	」	在でログ
		数(ダライ = ラマ)やイスラーム(ベグ)の保護者,現地の首長に統治をゆだね	ス間接締治
		ナム・タイ・ビルマ・琉球(日中両属),日本は冊封離脱,近松門左衛門『国性釒	
	<b>禹</b> 国…	/ グ・テイ・モルマ・処界(日中岡属/,日本は間料融加,近仏日生制   1 - 国は則	5 口 牧』
懐柔政	效策 24—————	<u>制</u> …同一官職に漢人と満人併用・合議制をとり漢人懐柔	
	大編纂事業…伝	統文化尊重し学芸奨励。学者動員し優遇・科挙も盛ん	
	『 <u>康熙字</u>	<u>"典</u> 』…漢字の字書・『 <u>古今図書集成</u> 』…大百科事典・『 <u>四庫全書</u> 』…中国文化叢書	
	『 <u>五体清</u>	<b>文鑑</b> 』…五民族語対照辞典	
威圧政	效策 <sub>25</sub>	• 禁書…排満・反清思想の弾圧や,反政府出版物の弾圧	
	26	…自民族の風習を強制「留頭不留髪,留髪不留頭」	
田洼	の経済と社会		
		南)で農村家内工業発展し <b>綿織物・絹織物</b> 盛ん→養蚕・桑・綿花の栽培	
	<b>-</b>	近域にうつり、湖広熟すれば天下足る	
		コシ,江南でサツマイモの栽培→ 18 世紀の人口増加の一因→辺境・山間地の開発	
商業	_ `	<b>商人</b> と江南安徽省出身の <sub>28</sub> <b>商人</b> 活動・互助機関 <u>会館・</u>	公所建設
	¬	:付・赤絵生産。南京木綿有名で,海外にも輸出	<u> 五川定成</u>
	_	D 16 世紀に税制を銀納の <sub>29</sub> に	
— <u>[] 1. 2</u>		プロ	÷
		し、地主に対して <u>抗租</u> 運動(ex 鄧茂七の乱)・家庭内奴隷の解放闘争は奴変	I
		営農による租税軽減運動は抗糧	
連胡の	- 【○ 任曽 では, <sub>31</sub> ∂貿易問題	(科挙合格者で地方に在住する名望家の地主)が社会の指導層に	
		文封端のため、	
		等封鎖のため,沿岸住民を内地に強制移住させる <sub>32</sub> で海禁を強化 余→ 1685 年海外貿易の役所として海関を設置(広州など 4 カ所)	
			のも新司
		<b>帝</b> の時対欧州貿易港を <u>広州</u> 一港とし、 <u>公行</u> (特許商人組合)を通じての貿易	
		□…南方でサツマイモ、北方でトウモロコシの栽培が普及、四川など新開地の開発	
→果	L曽チンチカ囲からの系	毀物輸入と,東南アジアへの <b>華僑</b> (南洋華僑)増加	
		旗 4. ホンタイジ 5. チャハル 6. 李朝 7. 清 8. 満洲 9. 順治帝 10. 呉三桂 11. 緑営 審の乱 15. ネルチンスク 16. ピョートル 1世 17. 雍正帝 18. 軍機処 19. キリスト 20. 乾	
		<b>雪が出 15. ネルケンスケ 10. ビョードル 1 世 17. 雅正市 16. 単微地 19. ギリスド 20. 紀</b> 理藩院 24. 満漢偶数(併用) 25. 文字の獄 26. 辮髪 27. 山西 28. 新安 29. 一条鞭法	<sup>医市</sup> 30. 地丁銀

31. 郷紳 32. 遷界令 33. 乾隆

# 世界の一体化の開始

# 古代アメリカ文明

	<b>ベーリング海峡</b> 越えた <b>モンゴル</b>		
古代アメリカ文明	前 1000 年期初期から 16 世紀	前半のスペイン人征服まで	繁栄
特徴 o <u>リャマ・アルパ</u> フ	<b>力</b> を家畜とし、穀物は <sub>1</sub>	を主農作物,ト	マト、ジャガイモ、カボチャ
o 都市文明・神権政	<b>汝治・階級社会などは他の古代</b>	文明と共通	
②金・銀・青銅器位	吏用も, <u>鉄器</u> は未使用。犁・車	「・ろくろも未使用, <u>馬</u> も存	在せず
メソアメリカ文明 …今	日のメキシコとグアテマラの韓	乞燥した平原と湿潤な平地を	:中心
文明	・・メキシコ湾岸で最初の都市文	明,ジャガー崇拝,巨石人頭	頂像(前 10 C - 後 9 C頃)
1 4-10世紀	繁栄	<u>半島</u> ・グアテマラ中心。ス・	ペイン侵入当時は衰退期
3	→Ⅲ	<u>・                                    </u>	
1 – 6 C		<u> </u>	
5 5	<b>立田</b>		
		月のピラミッド建設, 黒曜石	
12 C頃-		形成。都 <sub>7</sub>	
<b></b> 6	<b>エ</b> ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	カ文明継承し、神聖文字使月	月 8に征服
文明 :::ペ/	レー・ボリビアの海岸低地やア	ンデス高原中心	
<b>文明</b> … 文明 … ·	中央アンデス初期の文明(前 1	0 C - 前 5 C頃)	
13世紀−	1533 <sub>12</sub>	<b>実建国し都 13</b>	-14に征服
11	<b>₩</b>  되		  伝制を整備, <b>マチュピチュ</b> 遺跡
ο 太陽崇拝	 で皇帝(インカ)は太陽の化身		
	マヤ 4. ユカタン 5. テオティワフ		
9. アンデス 10. チャビン 11.	インカ 12. ケチュア 13. クスコ 1	4. ピサロ 15. キープ	
大航海時代の背景			
	) <sub>1</sub> やジパングの責	古今の獲得 短期的にはマニ	7 川カの芸会ら用人切特獲得
	•		
	教国プレスター = ジョンの国		
	完了の <u>ポルトガル</u> ・ <u>ス</u>		
	台頭で、イタリア商人(特に		
	<u>針盤</u> の改良や造船技術の発達。 -	· ·	
\0 <sub>4</sub>	の『 <sub>5</sub>	』(東方見聞録)	)で東方への関心
ポルトガルの探検			
<b>セウタ</b> …アフリカ	の西北端。ポルトガルの 6	航海王子	が征服し,探検事業開始
			ジョアン2世命名の最南の岬
91498	年ポルトガルの <sub>10</sub>	が到着	し,インド航路を実現
11イン	ドに向かったポルトガルの <sub>12</sub>	艦隊が浴	票着し,ポルトガル領と宣言
スペインの探検			
<u>西インド諸島</u> …1492 4	年 <u>イサベル</u> 女王の支援で <sub>13</sub>	がパロス比	港→ <u>サンサルバドル</u> 島到達
<u>中米海岸一带</u> …14——		が探検して新大陸である	と宣言→アメリカの名の由来
	ン人 <sub>15</sub>		
	ガル人 16		
<u> </u>	が到達 	<b>重も,呪</b> ��八の尹いに関与し	ノ(戦州→部下か世界周伽
勢力の調停			
<b>教皇子午線</b> …1493 年教皇7	アレクサンデル6世がポルトガ	`ルとスペインを調停(植民	地分界線)

48

条約で境界線を移動

→翌 1494 年に 17—

#### 古代アメリカ文明



①<u>テノチティトラン</u>…アステカの首都,湖上の島にあった コルテスに破壊,現メキシコ市の一部

②パナマ …スペイン人バルボアが地峡を横断

太平洋を発見

③**<u>チャビン</u>**…チャビン文明(前 10 –前 2 世紀)頃

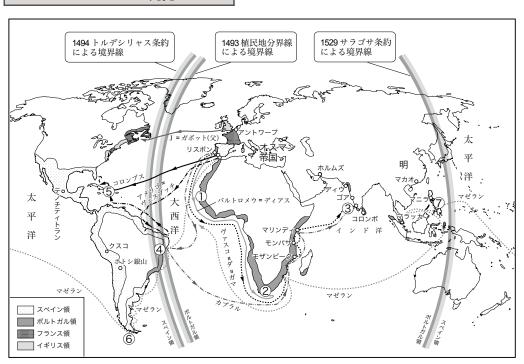
アンデス文明の源とされる神殿文化

④クスコ …インカ帝国の中心都市

ピサロに破壊され, 現在は観光都市

◎マチュピチュ …急峻な山上に建設された都市遺跡

#### ヨーロッパの"発見"



①<u>ヴェルデ岬</u>…アフリカ西端の岬。ポルトガルの**エンリケ航海王子**の探検事業で発見

⑤ <sub>18</sub> **諸島**…<u>1492</u>年<u>イサベル</u>女王の支援で**コロンブス**が<u>サンサルバドル</u>島到達

⑥**マゼラン海峡** …ポルトガル人**マガリャンイス(マゼラン)**がスペイン王の命で西廻り航路探査

1. 香辛料2. レコンキスタ3. トスカネリ4. マルコポーロ5. 世界の記述6. エンリケ7. 喜望峰8. バルトロメウ = ディアス9. カリカット10. ヴァスコ = ダ = ガマ11. ブラジル12. カブラル13. コロンブス14. アメリゴ = ヴェスプッチ15. バルボア16. マゼラン17. トルデシリャス18. 西インド19. フィリピン

#### 大航海時代の到来で大西洋を挟んだ、欧州・アメリカ大陸・アフリカが 環大西洋革命 西欧中心に一体化 (近代世界システム), 相互に影響して社会が変化 商業の中心が地中海岸から**大西洋岸**に移動し、大西洋岸都市繁栄 (北海・バルト海貿易と大西洋貿易結合) 初期の中心は**リスボン**と <sub>2</sub>\_\_\_\_\_ アントウェルペンには香辛料(葡),銀(南独),毛織物(英),穀物(東欧)等集散 イタリア都市が相対的に没落 の流入で欧州の物価上昇、経済活動は活発化 新大陸からの₄\_\_\_\_ →固定地代に依拠する5\_\_\_ **の没落**と商工業に従事する**市民台頭** →エルベ川以東では土地貴族が農場経営の6-→農民が自由を失い, 賦役労働を強制された側面を再版農奴制 →都市が発展した西欧に対して穀物供給を目的、オランダ商人が活躍 →東西ヨーロッパの分業体制が成立し、東欧は商工業地域の西欧に従属 新奇物資流入: 新大陸-ジャガイモ・トウモロコシ・トマト・タバコ アジア-イランより絹織物、インドより綿布、中国の茶 生活革命 生活の変化: 衣服=綿製品の大流行(キャラコ熱) 食事=寒冷地でジャガイモ、飲料で茶・コーヒーに砂糖 影響: 新大陸で単作大農場の7\_\_\_\_\_ 英仏はインド産綿布の安定供給を求めインド進出し抗争 →西欧中心の国際分業体制の進展 大西洋三角貿易の奴隷貿易での利益が原資、アフリカ輸出用綿布の市場 原料の綿花は初期は西インド諸島、19世紀前半は合衆国南部より供給 産業革命 封建領主の没落と市民層の台頭など背景 アメリカ独立革命→フランス革命→ラテン = アメリカ革命と相互に影響 市民革命 ■西欧は工業地域;18 Cより**生活革命**も本格化 ヨーロッパ 東欧は農場領主制で穀物供給地 銃・雑貨・綿布(初期はインド産) 砂糖など 18 C大西洋三角貿易 アメリカ 黒人奴隷 アフリカ III 奴隷狩り流行→部族抗争激化 砂糖・コーヒー・タバコ・綿花など プランテーション経営 →人口は停滞し, 伝統的社会破壊 →モノカルチャー構造 →地主支配と西欧工業への依存 1713 年, **ユトレヒト条約** (スペイン継承戦争)

1. 商業革命 2. アントウェルペン(アントワープ) 3. 価格革命 4. 銀 5. 封建領主 6. グーツヘルシャフト(農場領主制) 7. プランテーション

黒人奴隷導入で社会変化

16C ポルトガルがブラジル開発

17C イギリスがジャマイカ獲得 17C フランスがハイチ獲得

→人種別社会層形成

占供給権)獲得。

→イギリスは**アシエント** (スペイン植民地への黒人奴隷独

→リヴァプール近郊の**マンチェスター**の綿工業への投資

**→リヴァプール**やブリストルが奴隷貿易で繁栄

→奴隷貿易の利益が産業革命の原資となる

# 近世社会の成立

	*** / <del> -</del> #1	$\Delta$
压引法力	業体制	ひりかりい

を中心とするネー	- デルラントが,国際貿易・金融の中心地
イギリスは, <b>毛織物</b> 提供地域としてネーデル	ルラントを中心とする国際分業体制に参加
2	<b>役物</b> 供給地域として国際分業体制に組み込まれ,西欧経済に従属
- →領主が農民を再農奴化,賦役労働で農場	場を経営する <b>農場領主制(<sub>3</sub>)</b> 普及
→市民層の発達は抑制され,プロイセン゛	では <sub>4</sub> (地主貴族) が支配層となる
主権国家体制の成立	
	域を持つ独立の国家(主権国家)が併存する <u><b>主権国家体制</b>へ</u>
*軍事革命で戦争の長期化・大規模化→軍事費	費と兵員調達の必要
→各国は徴税機構を整備し、国内の諸団体	に対する一元的支配を強化→主権国家の形成へ
*国際体制としての主権国家体制…ハプスブル	ルク家の皇帝権復興の意図→フランスが反発しイタリア戦争激化
1494-1559 ···1494 年 <sub>6</sub>	のシャルル8世がナポリ王国継承主張しイタリア侵入
<u>5</u> … <u>ハプスブルク</u> 家の皇帝.	7
	タリアを断念・ハプスブルク家はブルゴーニュを仏へ
<b>カトー・カンブレジ条約</b> →ハプスブルク	家対フランスの国際政局固定,皇帝権と教皇権の没落進行
→各国は外交官を常駐させ,外交交渉-	→ 9の外交原則も発生
→ <sub>10</sub> の <u>ウェストファリア条約</u>	]で国家主権の不可侵を確認し,国際法に基づく主権国家体制が確
絶対王政	
* <b>絶対王政</b> …16-18 世紀の国王による集権的国	専制体制 (フランスが典型)
* <sub>11</sub>	4・外交原則は。
市民階級  (ブルジョワジー) …資本主義生	
<b>制</b> …資本家が生産者を	に原料と道具を貸与し,製品を買い上げて販売
	) …資本家が手工業者を大量に雇用し工場での分業で生
<b>□</b> 軍事機構 14 <b>制度</b> ·	…騎士の軍役から傭兵の活用を経て移行。将校は貴族が独占
「「行政機構」 <sub>15</sub> <b>制度</b>	…封建時代の諸侯分権にかわり,集権統治体制を支える
	の貨幣蓄積を目的
	銀や換金商品(香辛料・綿布・毛皮など)の獲得を目的
18-	俞入を制限し,輸出のための国内産業を保護,植民地との交易を₹ ₹配に対抗し,イギリスとフランスが推進
→//ンへ <sup>…</sup> 19————	が王立マニュファクチュア創設や東インド会社再建 の共和政時に中継貿易排除の <sub>21</sub> 法制
	されず,個人個人を国民として直接掌握に至らず(社団国家)
	(郷紳) が,無給の治安判事として地方行政を担当
→官僚制と常備軍が未発達	
	4. ユンカー 5. イタリア戦争 6. フランス 7. カール 5世 8. フランソワ 13. マニュファクチュア 14. 常備軍 15. 官僚 16. 重商主義 17. 重金

# 宗教改革

#### ドイツ宗教改革

*ドイツは政治	<del>+</del> 治的に分裂。教皇権の介入が容易→ <sub>1</sub>	の販売集中し『ロ	コーマの牝牛』
	出身の教皇 <sub>2</sub> , <sub>3</sub>		
	の『 <b>愚神礼讃</b> 』など,人文主		
1517	··· <u>1517</u> 年 <sub>6</sub>	<b>大学</b> の <sub>7</sub>	がラテン語で発表
	と魂の救いは	無関係とする, <u>教義</u> 上の公園	用討論書
1519	7 2412411 4 1 7 7 2 1	)討論	
ライプチヒ討			
1520	…ルターの主著。聖書中心の <sub>9</sub>		
	人は信仰によってのみ義とされる	. •	
1521	···皇帝 <sub>12</sub>		
1504.05	<u>ザクセン選帝侯</u> <sub>13</sub>		
1524-25	…対領主 12 ヵ条要求を掲げ中部・		
1526	···ルター初期は同情的も,社会変重		•
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul><li>…オスマン帝国の<sub>16</sub></li><li>cf 同年のモハーチの戦いで,</li></ul>		
1529	… <sub>17</sub> とのイ		
ノュパイエル帝国	議会 →新教諸侯抗議( <sub>18</sub>		
1555	… <u>1555</u> 年 <sub>21</sub> <u>派</u> 公認も		
スイスの宗教ご			
1484-1531	 で宗教改革 <sup>©</sup>	<b>もルターと教義問題で決裂</b>	
ļ	→後にその支持者はカルヴァン派に合	流	
1509-64	   …フランス人で 1536 年『 <b>キリスト教</b>	<b>綱要</b> 』発表・ <sub>26</sub>	<b>説</b> (救いは予め神に決定)
1	で神政(神	権)政治を行い,牧師を信	徒の長老が補佐する <b>長老制度</b>
— 意義 o 職業	を神が定めたものとして勤労を奨励し,終	結果としての蓄財を肯定して	て資本主義精神の源流
→各国	の新興商工業者に普及		
c.f. <sub>28</sub> _	『プロテ	スタンティズムの倫理と資	本主義の精神』で解明
29		ぼでピューリタン革命の中心	N
30	…スコットランドのカルヴァン	⁄派,ノックスがスコットラ	ンド国教会を発足
31	…フランスのカルヴァン派,コ	ムグノー戦争	
32	オランダのカルヴァン派,乞	<b>乙食党に由来,オランダ独立</b>	五戦争
宗教改革			
1534	   ·· <u>スペイン</u> 人 <sub>34</sub>	中心に結成。:	シャヴィエルも結成に参加
	」・・教皇に忠誠。各地に学校建設。南欧・	への新教普及阻止。西南ドク	イツを旧教に奪回
1545-63	ー 一・教皇パウルス3世主催。教皇の至上t	権とカトリック教義の確認。	教会の刷新
	<b>」</b> →禁書目録作成し <sub>36</sub>	所( <u><b>宗教裁判</b></u> 所)設立し	して魔女狩り
	世 3.サン=ピエトロ 4.エラスムス 5.九十三		
	3 11. ヴォルムス帝国議会 12. カール 5世 ] 17. フランソワ 1 世 18. プロテスタント 19. シ		

23. カルヴァン 24. ツヴィングリ 25. チューリヒ 26. 予定 27. ジュネーヴ 28. マックス = ヴェーバー 29. ピューリタン

30. プレスビテリアン 31. ユグノー 32. ゴイセン 33. イエズス会 34. イグナティウス = ロヨラ 35. トリエント公会議 36. 異端審問

#### ステュアート朝と国教会の成立

<u> 位 1485 – 1509</u> …ランカスター家の血統で、ヨーク家より妃を迎え、バラ戦争を終結

位 1509-47 ···初期『信仰擁護者』で教皇に協力も、王妃キャサリンとの離婚問題で教皇より独立 ヘンリ8世 ···修道院を解散し、土地財産没収、郷紳(ジェントリ)などに安く分与して動揺鎮める

**首長法** -1534 年発布。別名国王至上法で,国王を教会の唯一の首長

o 第一次囲い込み (エンクロージャー) 進展 牧羊地目的,トマス・モア『ユートピア』で批判

o **星室庁裁判所** 貴族の反抗を抑制するための国王直属の裁判所を整備

位 1547-53 …ヘンリ8世の唯一の男子。国教会の教義にカルヴァン主義導入

エドワード6世 \*教義新教的, 儀礼は旧教的な国教会の特色成立

一般祈祷書 》..1549 年発布。信仰義認説・予定説・聖書主義を採用

位 1553-58 ...カール 5 世と従姉妹。スペイン王子フェリペ(後フェリペ 2 世)と結婚 メアリ1世 ...カール 5 世と従姉妹。 スペイン王子フェリペ (後フェリペ 2 世) と結婚

信仰箇条 …1563 年の聖職者会議でエドワード 6 世の祈祷書を改訂。カルヴァン色は薄まる

o**アルマダ戦争** (1588) …王位簒奪の陰謀事件でスコットランド前女王メアリ・ステュアートを処刑

<u>ドレーク</u> (2番目の世界周航) やホーキンズの私拿捕船を私掠特許状で公認,スペイン船襲撃も背景スペインのフェリペ2世が無敵艦隊 (アルマダ) 派遣 vs ドレークらに撃破

ο救貧法(1601)…貧民の救済と浮浪者の取締を規定←囲い込みの進展が背景

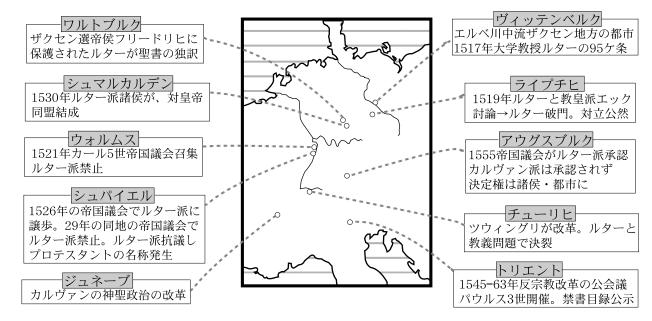
\*ステュアート朝期イギリスでは<u>ジェントリ(郷紳)</u>が<u>マニュファクチュア</u>の毛織物工業に進出し台頭 議会に進出し、治安判事として地方行政も担当→常備軍や官僚制が発達せず

#### 宗教改革と主権国家

統一法

◇宗教改革で教皇を頂点とした統一的キリスト教世界が分裂→国家が教会を支配する国家教会→主権国家を可能 o 領邦教会制度…ドイツの領邦で君主がその宗派を決定し、教会と聖職者を管理→アウクスブルク和議で確立 o イギリス国教会…ヘンリ8世の首長法で国王が教会の長

o ガリカニスム…フランスでカトリックにとどまりつつ教皇権より独立→ルイ 14 世時ボシュエが強調



# 各地域の歴史

# スペイン(イスパニア)の繁栄

* 1	1479 年アラゴンの <sub>1</sub> <b>5</b>	<u>世</u> とカスティリャの <sub>2</sub>	<b>1世</b> 共同統治
	o 身分制議会 (コルテス) 無力化・異端審問導		
* 1	1492 年 <sub>3</sub> 攻略し <u>ナスル</u> 朝滅ぼ	ず (レコンキスタ完成)・,_	の新世界『発見』
		朝の開始,神聖ローマ	
5			
	<u>位 1556-1598</u> …スペイン・両シチリア・		
9	1505		併合"太陽の沈まぬ国"
(	/o 1571 年 <sub>12</sub> <b>海戦</b> 勝利…		
	o 旧教政策… <b>ユグノー戦争</b> 介入・ <sub>13</sub>		, , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ ,
	0 1588年 (無敵艦隊)		マダが敗北し、大西洋の覇権失う
Į	o 富が貴族・聖職者に集中する不均衡も衰退		
		· /////[-]	
	オランダの経済覇権		
前	* 12 世紀より自治都市発展。フランドル地ス	方は中世 <sub>15</sub>	<u>工業</u> の中心
史	O 16————————————————————————————————————	美の中心。ハンザ同盟の取引所	所。港湾機能停止して以後衰退
	│	都市。河港都市	
	\0 <sub>17</sub> (アントウェル^	<u>ペン)</u> …毛織物生産で繁栄の泡	毎港都市。15 世紀末に国際商業の中心
	* 百年戦争…フランドルはイギリス産羊毛の	輸出地で,英仏のフランドル	争奪が戦争要因
	*フランス王家の分家ブルゴーニュ公家が,	ネーデルラントも併合し,フ	ランスに対抗
	→遺産相続のブルゴーニュ公女とオーストリ	リア公マクシミリアン(後に	皇帝マクシミリアン1世)結婚
	* 1477 年婚姻により <sub>6</sub>	<b>家</b> 領→カール 5 世の領	土分割でスペイン領に
<b>X</b> +	一		
独	オランダ独立戦争 …20		
立	o 1568:総督アルバ公の新教徒弾圧・1		
777 IV	o 1579: <sub>21</sub> <b>同盟</b> …総菅		10 州脱落し、 <b>北部 32 州</b> で結束
戦	o 1581:独立宣言··· <sub>23</sub>		22
争			
•	o 1588:スペインの <u>無敵艦隊(<sub>26</sub></u>		
	o 1602: オランダ <sub>27</sub>		
	o 1609: 休戦条約…オランダが事実上の		
	o 1648: <sub>28</sub>	•	
	26	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
繁			
栄	o 首都 <sub>29</sub> ,独立戦争		
<b>*</b>	oオランダ領東インド・ケープ植民地・ニ	ューネザーランド植民地(西	iインド会社)形成し覇権国家
衰	】*∕o 総督オレンジ家と <sub>30</sub>	<u>州</u> (最有力州でオランダの名	6のもと)中心の大商人が対立
	ο 英仏の重商主義政策で、中継貿易が打撃	(ex イギリスの <u>航海法</u> )	
退	o 毛織物加工業が、原料産地のイギリスで	も発達し, 衰退	
	o イギリスの圧迫…三回(1652:65:72)	の <sub>31</sub> 戦争	( <b>クロムウェル</b> の <u>航海法</u> きっかけ)
	o フランスの圧迫…ルイ 14 世のオランダ	曼略戦争(1672 ∼ 78)	
	ェルナンド 2. イサベル 3. グラナダ 4. コロンブス		
	ェリペ2世 10.フィリピン 11.ポルトガル 12.レ アントワープ 18.カルヴァン 19.ゴイセン 20.フュ		

25. エリザベス 1世 26. アルマダ 27. 東インド会社 28. ウェストファリア 29. アムステルダム 30. ホラント 31. 英蘭

#### フランスの大陸覇権

ヴ	位 1515 – 1547	…皇帝 <b>カール5世</b> と抗争 <sub>2</sub>	と同盟し, <b>カピトレーシ</b>	<b>′ョン</b> の特権
ア	1	…フランス = ルネサンス最盛期の∃	Eで,レオナルド = ダ = ヴィンチを宮	廷画家
ロワ	位 1560 – 1574	…メディチ家出身の母カトリーヌた	が実権。新旧両派の間で動揺	
朝	3	…ギーズ公など旧教派大貴族抑制の	のため,新教寛容政策→ <sub>4</sub>	<b>戦争</b> 勃発
773			<b>の虐殺</b> で,新教派の大虐	
ブ	₩ 戦	<b>争</b> 1598 年アンリ4世の <sub>6</sub>	発布で終結→個人の	信仰の自由を承認
ル	位 1589 – 1610	…新教側の指導者で即位後旧教に改	女宗→ 1598 年 <b>ナント王令</b> で <b>ユグノー</b> 戦	<b>战争</b> _終結
ボ	7	…ブルボン朝を創始し,財政再建,	産業振興、東インド会社設立、カナ	ダ植民地建設
ン	位 1610 - 1643	·· <u><b>三部会</b></u> 召集停止(1615 年解散)·	・宰相 <sub>9</sub> 学士院(7	アカデミー) 創設
朝		··大貴族・ユグノー抑圧。 <b>反ハプス</b>	<b>くブルク政策</b> で <sub>10</sub>	介入
	1618 – 1648	…フェルディナント2世の旧教政領	策に 11の新教徒反乱	し開始
	1	1	が鎮圧し, <sub>13</sub>	
	1	,	と <b>フランス</b> 新教支援。スペィ	
	15	•••	 終約で,その会議は欧州史上最初の国際	
		18の大部分		
			ポンメルン獲得し, <sub>20</sub>	<b>海</b> の覇権を握る
			<ネーデルラント連邦共和国	
		 (諸侯・自由都市)	の主権がほぼ認められ、ドイツの分裂	製が確定
	→傭兵の略奪·	や村荒らしでドイツの都市・農村に	は大きな打撃を受け,人口激減し,近位	代化遅れる
	* 皇帝と教皇(	の権威低下,内政不十渉の原則でヨ	住権国家体制が確立,現在の国際体制の	の原形成立
		,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	位 1643 – 1715	…宰相 25 高等法院	院や貴族の <sub>26</sub> <b>の乱</b> 鎮	
	位 1643 – 1715	…宰相 <sub>25</sub> 高等法陸 三十年戦争の <b>ウェストファ</b>	院や貴族の <sub>26</sub> の <u>乱</u> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得	圧
	位 1643 – 1715 24 —o 親政 … <b>王権神</b>	…宰相 <sub>25</sub> 高等法院 三十年戦争の <b>ウェストファ</b> <b>時授説</b> 信奉しボシュエ重用。 <u>ヴェル</u>	院や貴族の <sub>26</sub> <b>の乱</b> 鎮 <u>リア条約</u> でライン左岸一部獲得 <b>,サイユ宮殿</b> 造営→" <u>太陽</u> 王"と賞賛	圧 「朕は国家なり」
	位 1643 – 1715 24 —o 親政 … <b>王権神</b>	…宰相 <sub>25</sub> 高等法院 三十年戦争の <b>ウェストファ</b> <b>昨授説</b> 信奉しボシュエ重用。 <u>ヴェル</u> <b>重商主義政策</b>	院や貴族の <sub>26</sub> <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>,サイユ宮殿</b> 造営→" <u>太陽</u> 王"と賞賛 <b>を</b> で新大陸開発や <sub>28</sub>	圧 「朕は国家なり」
	位 1643 - 1715 24 —0 親政 … <b>王権神</b> —0 財務長官 27—	…宰相 <sub>25</sub> 高等法院 三十年戦争の <u>ウェストファ</u> <b>神授説</b> 信奉しボシュエ重用。 <u>ヴェル</u> <u>重商主義政策</u> 王立 <sub>29</sub>	院や貴族の <sub>26</sub> <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>,サイユ宮殿</b> 造営→" <u>太陽</u> 王"と賞賛 <b>を</b> で新大陸開発や <sub>28</sub>	圧 「朕は国家なり」 再建 ゛ルドを統制・保護
	位 1643 - 1715 24	<ul> <li>・・・幸相 25 高等法院</li></ul>	院や貴族の <sub>26</sub> <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>,サイユ宮殿</b> 造営→ <b>"太陽王"</b> と賞賛 <b>5</b> で新大陸開発や <sub>28</sub> 創設し,手工業ギ	圧 「朕は国家なり」 再建 「ルドを統制・保護 流出で産業衰退
	位 1643 - 1715 24	高等法院         三十年戦争のウェストファ <b>押授説</b> 信奉しボシュエ重用。 ヴェル         重商主義政策         王立 29         財政負担, 宮廷の奢侈, 6         公流域への領土拡大をめざし侵略戦	院や貴族の <sub>26</sub> <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>,サイユ宮殿</b> 造営→ <b>"太陽王"</b> と賞賛 <b>⑤</b> で新大陸開発や <sub>28</sub> 創設し,手工業ギ <b>廃止</b> →ユグノーの国外	圧 「朕は国家なり」 再建 「ルドを統制・保護 流出で産業衰退
	位 1643 - 1715 24	高等法院         三十年戦争のウェストファ <b>押授説</b> 信奉しボシュエ重用。 ヴェル         重商主義政策         王立 29         財政負担, 宮廷の奢侈, 6         公流域への領土拡大をめざし侵略戦	院や貴族の <sub>26</sub> <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>サイユ宮殿</b> 造営→ " <u>太陽</u> 王" と賞賛  で新大陸開発や <sub>28</sub> 創設し,手工業キ <b>廃止</b> →ユグノーの国外  争→イギリスとの海外植民地戦争を誘 デルラントの総督位継承主張。英・蘭	圧 「朕は国家なり」 再建 「ルドを統制・保護 流出で産業衰退
	位 1643 - 1715 24	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	院や貴族の <sub>26</sub> <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>サイユ宮殿</b> 造営→ " <u>太陽</u> 王" と賞賛  で新大陸開発や <sub>28</sub> 創設し,手工業キ <b>廃止</b> →ユグノーの国外  争→イギリスとの海外植民地戦争を誘 デルラントの総督位継承主張。英・蘭	圧 「朕は国家なり」 再建 「ルドを統制・保護 流出で産業衰退 ・発
	位 1643 - 1715 24	<ul> <li>・・・・幸相 25 高等法院</li></ul>	院や貴族の <sub>26</sub> <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>サイユ宮殿</b> 造営→ "太陽王" と賞賛  で新大陸開発や <sub>28</sub> 創設し,手工業キ <b>廃止</b> →ユグノーの国外  争→イギリスとの海外植民地戦争を誘 デルラントの総督位継承主張。英・蘭ド	圧 「朕は国家なり」 再建 「ルドを統制・保護 流出で産業衰退 発 こ阻止
	位 1643 - 1715 24	・・・・・     マー・・・・・     マー・・・・・・・・・・・	院や貴族の <sub>26</sub> <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>サイユ宮殿</b> 造営→ "太陽王" と賞賛 で新大陸開発や <sub>28</sub> 創設し,手工業キ <b>廃止</b> →ユグノーの国外 争→イギリスとの海外植民地戦争を誘 デルラントの総督位継承主張。英・蘭バリアム就任し抗戦	圧 「朕は国家なり」 再建 「ルドを統制・保護 流出で産業衰退 発 こ阻止 アム王戦争 <b>リペ5世</b> 即位
	位 1643 - 1715  24	<ul> <li>・・・幸相 25 高等法院</li></ul>	院や貴族の 26 <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>サイユ宮殿</b> 造営→ "太陽王" と賞賛  で新大陸開発や 28 創設し、手工業ギ <b>廃止</b> →ユグノーの国外  争→イギリスとの海外植民地戦争を誘 デルラントの総督位継承主張。英・蘭バリアム就任し抗戦  ウクスブルク同盟戦争)海外でウィリスプルク朝断絶。ルイ 14 世の孫 <b>フェ</b>	圧 「朕は国家なり」 再建 「ルドを統制・保護 充出で産業衰退 :発 ご阻止 アム王戦争 <u>リペ5世</u> 即位 <b>ン女王戦争</b>
	位 1643 - 1715  24	・・・・・     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	院や貴族の 26 <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>サイユ宮殿</b> 造営→ "太陽王" と賞賛  で新大陸開発や 28 創設し,手工業キ <b>廃止</b> →ユグノーの国外  争→イギリスとの海外植民地戦争を誘 デルラントの総督位継承主張。英・蘭パリアム就任し抗戦 ウクスブルク同盟戦争)海外でウィリンプスブルク朝断絶。ルイ 14 世の孫 <b>フェ</b> 持し,墺・蘭・普と連合。海外は <b>ア</b>	圧 「朕は国家なり」 一再建 ボルドを統制・保護 流出で産業衰退 発 ご阻止 アム王戦争 リペ5世即位 ン女王戦争 立承認
	位 1643 - 1715	<ul> <li>※率相 25 高等法院 三十年戦争のウェストファ 接受説信奉しボシュエ重用。 ヴェル 重商主義政策 王立 29</li> <li>○財政負担,宮廷の奢侈,6 方と では では では できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる</li></ul>	院や貴族の 26 <b>の乱</b> 鎮 <b>リア条約</b> でライン左岸一部獲得 <b>サイユ宮殿</b> 造営 → "太陽王" と賞賛 で新大陸開発や 28 創設し、手工業キ <b>廃止</b> → ユグノーの国外 争 → イギリスとの海外植民地戦争を誘 デルラントの総督位継承主張。英・蘭バリアム就任し抗戦 ウクスブルク同盟戦争)海外でウィリンプスブルク朝断絶。ルイ 14 世の孫 <b>フェ</b> だ持し、墺・蘭・普と連合。海外は <b>ア</b> ンスの不合同条件にフェリペ5世の即任	圧 「朕は国家なり」 一再建 ボルドを統制・保護 流出で産業衰退 発 こ阻止 アム王戦争 リペ5世即位 ン女王戦争 立承認 ュタット条約)
	位 1643 - 1715 24	<ul> <li>※率相 25 高等法院 三十年戦争のウェストファ 接受説信奉しボシュエ重用。 ヴェル 重商主義政策 王立 29</li> <li>○財政負担,宮廷の奢侈,6 方と では では では できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる</li></ul>	院や貴族の 26 の乱鎮 リア条約でライン左岸一部獲得 サイユ宮殿造営→ "太陽王" と賞賛 で新大陸開発や 28 創設し、手工業キ 廃止→ユグノーの国外 争→イギリスとの海外植民地戦争を誘 デルラントの総督位継承主張。英・蘭ド リアム就任し抗戦 ウクスブルク同盟戦争)海外でウィリンスブルク朝断絶。ルイ 14 世の孫フェ 持し、墺・蘭・普と連合。海外はアンスの不合同条件にフェリペ5世の即 リアには南ネーデルラント割譲(ラシ ・ランド・アカディアなどの北米植民地	圧 「朕は国家なり」 一再建 ボルドを統制・保護 流出で産業衰退 発 こ阻止 アム王戦争 リペ5世即位 ン女王戦争 立承認 ュタット条約)
	位 1643 - 1715  24  - 0 親政 … <b>王権神</b> - 0 財務長官 27-  - 0 衰退 … 戦争の - 0 戦争 … ライン 南ネーデル・ オランダ戦・ ファルツ戦・ 1701-17: 30  4- 西-	<ul> <li>※宰相 25 高等法院 三十年戦争のウェストファ 接受説信奉しボシュエ重用。 ヴェル 重商主義政策 王立 29</li> <li>り財政負担、宮廷の奢侈、6 タント継承戦争 ※ スペイン領ネーラ 争 ※ オランダ総督にオレンジ公ウィ 争 ※ ラント進出を狙う(アウザ・ファット 地域公カールの継承支 ※ 3 カールの継承支 ※ 3 カールの継承支 ※ 3 カースト ・ → 英: ハドソン湾・ニューファンド</li> </ul>	院や貴族の 26 の乱鎮 リア条約でライン左岸一部獲得 サイユ宮殿造営→ "太陽王" と賞賛 で新大陸開発や 28 創設し、手工業ギ 廃止→ユグノーの国外 争→イギリスとの海外植民地戦争を誘 デルラントの総督位継承主張。英・蘭ド リアム就任し抗戦 ウクスブルク同盟戦争)海外でウィリンプスブルク朝断絶。ルイ 14 世の孫フェ 持し、墺・蘭・普と連合。海外はアンスの不合同条件にフェリペ5世の即任リアには南ネーデルラント割譲(ラシド・アカディアなどの北米植民地	圧 「朕は国家なり」 一再建 ボルドを統制・保護 流出で産業衰退 発 こ阻止 アム王戦争 リペ5世即位 ン女王戦争 立承認 ュタット条約)

1フランソワ1世2.オスマン帝国3.シャルル9世4.ユグノー5.サン=バルテルミ6.ナントの王令7.アンリ4世8.ルイ13世9. リシュリュー10. 三十年戦争11. ベーメン12. ヴァレンシュタイン13. デンマーク14. グスタフ=アドルフ15. ウェストファリア16. アウクスブルク17. カルヴァン18. アルザス19. スウェーデン20. バルト21. スイス22. オランダ23. 領邦24. ルイ 14世25. マザラン26. フロンド27. コルベール28. 東インド会社29. マニュファクチュア30. スペイン継承戦争31. ユトレヒト条約32. ルイ 15 世

	イギリス立憲3	E政の成立
	位 1603-25	
	1	<b>王権神授説</b> 信奉。 <u>国教</u> を強制。特権商人保護→議会に進出した <u>ジェントリ</u> と対立
	位 1625-49	╗…王権神授説の理論家フィルマーが仕える。絶対王政を強行
	2	」・・・議会の課税協賛権を無視して増税策→議会との対立激化。清教徒革命を招く
		ピューリタン(清教徒)革命の経過
ス	1628	─…チャールズ1世に対して議会の同意のない課税と不法逮捕に反対
	(3	)…チャールズ1世はいったん承認後、議会を解散して 11 年間の独裁政治
テ	1640	<b>~</b> …チャールズ↑世の国教強制に <b>スコットランド</b> で <b>プレスビテリアン</b> の反乱
ュ	短期議会	)…反乱鎮圧費用を捻出のため召集。議会は王の独裁を批判し,3週間で解散
	1640-53	──王に対し課税の議決を交渉材料。側近を断罪し絶対王政の基盤弱体化をはかる
ア	長期議会	)…王の反省と政策の変換を求める大諌奏をきっかけに議会派と王党派の対立激化
ı	1642-49	〜… <u>王党派</u> の挙兵。初期王党派優勢→議会派独立派 <sub>5</sub> の <u>鉄騎隊</u> 活躍
_	4	<b>)→<u>議会派</u>は新型軍→<sub>6</sub></b>
r	*議会派分裂·	…王権に妥協的な長老派,議会主権と教会の独立運営主張の独立派,身分平等要求の水平派
朝	1649-60	<b>、</b> … <sub>7<b>派</b>を追放し, <sub>8</sub>就任)</sub>
145	共和政	<b>)</b> …51 年 <sub>11</sub> → <b>英蘭戦争</b> 。スコットランド・ <sub>12</sub> 征服
	位 1660-85	□…リチャード・クロムウェル失脚後長老派に招かれ王政復古
	13 TOOU-85	…ブレダ宣言で議会尊重→清教弾圧→ルイ 14 世とドーヴァー密約で旧教復活意図
	1673	一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	14	)…官吏や議員を国教徒に限定
	1679	・・・王の専制に対抗し、法によらぬ逮捕・裁判を禁じる
	15	)同時期に旧教徒の王弟ジェームズを王位継承者から排除しようという運動発生
	位 1685-88	
	16	…カトリック容認政策推進のため、専制的政策
		名誉革命の経過
	1688-1689	
	名誉革命	<b>)</b> …議会が <b>オラニエ公</b> <sub>19</sub> とメアリ招く →ジェームズ2世フランスに亡命
	1689	…王は立法・行政・司法・課税・軍事で議会に反した行動をとりえないと主張
	権利の宣言	/…王権に対する議会優位宣言。 <u>ウィリアム3世</u> と <sub>20</sub> は宣言承認し即位
	1689	、…権利の宣言を法文化。イギリス立憲政治の原点となり、立憲王政へ道を開く
	21	<b>)</b> cf. <sub>22</sub> が「統治( <b>市民政府)二論</b> 」で抵抗権で革命を正当化
	位 1689-1702	□ □…妻メアリ2世と共同王位。 <b>政党内閣</b> 制度開始。寛容法でプロテスタント全般の信教の自由
	23	…ルイ 14 世に対抗。ファルツ継承戦争で海外植民地戦争のウィリアム王戦争
	位 1702-14	────────────────────────────────────
ハ	24	
	位 1714-27	
ヴァー	25	
朝	位 1760-1820	一…七年戦争(フレンチ・インディアン戦争)の勝利
	ジョージ3世	╝…トーリー党と協力して王権の強化を試み,アメリカ独立革命を引き起こし挫折

1. ジェームズ 1 世 2. チャールズ 1 世 3. 権利の請願 4. 清教徒革命 5. クロムウェル 6. ネーズビー 7. 長老 8. 水平 9. 独立 10. 護国卿 11. 航海法 12. アイルランド 13. チャールズ 2 世 14. 審査法 15. 人身保護法 16. ジェームズ 2 世 17. ウィッグ 18. トーリー 19. ウィレム 20. メアリ 2 世 21. 権利の章典 22. ジョン=ロック 23. ウィリアム 3 世 24. アン女王 25. ジョージ 1 世 26. ハノーヴァー 27. ウォルポール

#### 議会派の分裂

…ジェントリ・ヨーマン上層部中心で<u>清教徒</u>(<u>ピューリタン</u>)が多い 議会派 …イングランド東部・南部を拠点。中心都市はロンドン

長老派 プレスビテリアン |…議会内多数派で、立憲君主制と長老制度による教会運営主張

」…王権と妥協的で独立派と対立し追放される→のちに王政復古を主導

独立派 インディペンデンツ |…議会主権と教会の独立運営主張し長老派と対立

…長老派と対立時は水平派と協力も、制限選挙主張して水平派と対立

水平派 レヴェラーズ …貧農・職人・小市民中心で指導者はリルバーン。下級兵士が支持

|…人民主権。普通選挙など要求の人民協定発表。独立派に弾圧

─o 真性水平派<デッカーズ>…私有財産否定し,土地は耕す人のものと主張の最急進派

#### 二大政党の成立

- oトーリー党…貴族・国教会聖職者・大地主中心で国王の大権を尊重。保守党のもと
- o **ウィッグ党**…進歩的貴族や商工業者中心。自由党のもと

#### アイルランド

- \*住民はケルト系カトリックが多数
- \*清教徒革命で王党派支持
- \*クロムウェルの征服
  - →植民地化の開始
- \*名誉革命後ジェームズ2世の拠点
- →ウィリアム3世の再征服

# 議会派 王党派 スコットランド のエティンパラ クエティンパラ

ピューリタン革命

#### スコットランド

- \*住民はケルト系で長老主義教会
- \*イングランドと同君連合を形成
- \*チャールズ1世の国教強制に反乱 →ピューリタン革命の契機
- \* 1707 年, アン女王時にイングラ ンド王国と合邦

#### ネーズビーの戦い

\* 1645 年, 鉄騎隊をモデルに議会 派が組織した「新型軍」が, 王党 派を撃破→議会派の勝利が決定

#### イギリス商業革命と財政革命

- ◎イギリスの商業革命…17世紀後半からアジア・アメリカ大陸との貿易が激増
  - ・重商主義(貿易差額主義)…国家が経済を管理、輸出の助成、産業の育成によって貿易収支の黒字をはかる
    - ・航海法(1651) …共和政(コモンウェルス)期、イギリスの植民地貿易から外国船を排除
    - ・植民地確保…雑工業製品の輸出と植民地物産の輸入
      - ・アイルランド…イギリスと競合する商品の対英輸出を禁止
      - ・ジャマイカ…砂糖プランテーション開発
      - ・インド(ボンベイ・マドラス・カルカッタ)…インド産綿布の輸入
      - ・北アメリカ南部…**タバコ**のプランテーション
- ◎財政革命···名誉革命後, イングランド銀行の創設, 国債市場成立で資金力を強化
  - ・<u>イングランド銀行</u>…17 世紀末<u>ウィリアム3世</u>時に創立,紙幣発行と**国債**引き受けで財政確立
    - ・オランダの金融業者もウィリアム3世とともにロンドンに進出し、金融街<u>シティ</u>を形成 →オランダ資金の流入、アムステルダムからロンドンに国際金融の中心が移動する端緒
  - ・議会の徴税権確立…国債の元利を議会が保証したため、イギリス国債の信用強化→国債市場成立
  - ・南海泡沫事件…1720年、アシエントを得たことで発足した南海会社が、株操作でバブル崩壊事件

#### 中欧ヨーロッパ 位 1493-1519 …ブルゴーニュ公女との結婚でネーデルラントを支配 マクシミリアン1世 …フランスとイタリア戦争開始、子や孫の婚姻でハプスブルク家発展の基礎を築く スブル 位 1519-1556 …スペイン王カルロス1世でネーデルラント、両シチリアも領有 …フランス王フランソワ1世とイタリア戦争,ルターの宗教改革に直面 ク 位 1556-1564 …カール5世の弟で、ハンガリー王女との婚姻より、ハンガリー・ベーメン王 朝 フェルディナント1世 |…オーストリア・ハプスブルク家の開始 オ |…イエズス会の教育を受け、ベーメン王としてカトリック政策 位 1619-1637 ı フェルディナント2世 →ベーメン反乱による三十年戦争の開始 ス トリ \_\_\_\_\_でトルコよりハンガリー領を全て奪回 \* 1699 年。\_\_\_ 位 1711-1740 …スペイン継承戦争で活躍し、スペインより南ネーデルラント獲得 ア カール6世 …欽定典範(家憲)で長子による全領土継承を定める |…**オーストリア継承戦争・七年戦争**を戦い,フランスと**外交革命** 位 1740-1780 …帝位は夫のフランツ1世。後息子のヨーゼフ2世。オーストリアの近代化に努力 位 1765-1790 ¶…母の**マリア・テレジア**とともに**第一回ポーランド分割**に参加 …啓蒙専制君主で1781年農奴解放令(挫折)宗教寛容令。イエズス会の財産没収 …**バイエルン公**が**マリア・テレジア**の継承に反対。仏・西・蘭・普便乗 1740-48 のみオーストリア支援。海外で <u>ジョージ王戦争</u> \_\_\_\_\_\_額有は承認 1748 、…占領地を相互返還。プロイセンの<sub>7</sub>\_\_\_\_\_ アーヘン条約 <sup>/</sup>…マリア・テレジアの夫フランツの神聖ローマ皇帝位承認 …シュレジエン奪回を目指すマリア・テレジアがフランスと<sub>9</sub>\_\_\_\_で同盟 1756-1763 \_\_\_\_のみプロイセン支援。新大陸で <sub>10</sub>\_\_\_\_\_\_ 1763 …プロイセンのシュレジエン領有確認 フベルトゥスブルク条約 \_\_\_\_\_**条約**でフランスはミシシッピ以東の*ルイジアナ*と*カナダ*を英に ブランデンブルク プロイセン 木 12 C成立。金印勅書で選帝侯となる。都ベルリン 13世紀第三回十字軍時結成のドイツ騎士団領に由来 I 15Cより<sub>12</sub> 家支配 1410年タンネンベルクの戦いに敗北 ンツ →ヤゲウォ朝ポーランドに臣従 16世紀ホーエンツォレルン家騎士団長が新教に改宗 オ →プロイセン公国の開始 レルン朝。 プロイセン王国 1618 年連合してブランデンブルク・プロイセン。1657 年ポーランドより自立 フリードリヒ・ヴィルヘルム大選帝侯…最初に常備軍を組織,三十年戦争で領土拡大,ユグノーの亡命者受け入れ プロイ スペイン継承戦争で皇帝支援し、<sub>13</sub>\_\_\_\_ が王号を得てプロイセン王国 (土地貴族) が農民を再農奴化,賦役労働を強制して資本主義的大農経営(グーツヘルシャフト) セ |…官僚制度を整備,ユンカーを将校団に常備軍を整備 …軍人王(兵隊王)と称され,ユンカーを基盤とした**軍国的絶対主義**の基礎を確立 〗···**オーストリア継承戦争・七年戦争**を戦い,**ポーランド第一回分割**を提唱 位 1740-86 ···**啓蒙専制君主**で「君主は国家第一の下僕」・<sub>17</sub>\_\_\_\_\_と交遊 16 〔o 信仰の自由承認,行政・司法制度の改革,重商主義政策による産業の振興,王領での農民保護 **宮殿**をベルリン(北方のアテネと称賛)郊外のポツダムに造営 lo**ロココ式**の <sub>18</sub>\_\_\_\_

1. カルロス 1 世2. カルロヴィッツ条約3. マリア = テレジア4. ヨーゼフ 2 世5. オーストリア継承戦争6. イギリス7. シュレジエン8. 七年戦争9. 外交革命10. フレンチ = インディアン11. パリ12. ホーエンツォレルン13. フリードリヒ 1 世14. ユンカー15. フリードリヒ = ヴィルヘルム 1 世16. フリードリヒ 2 世17. ヴォルテール18. サン = スーシ

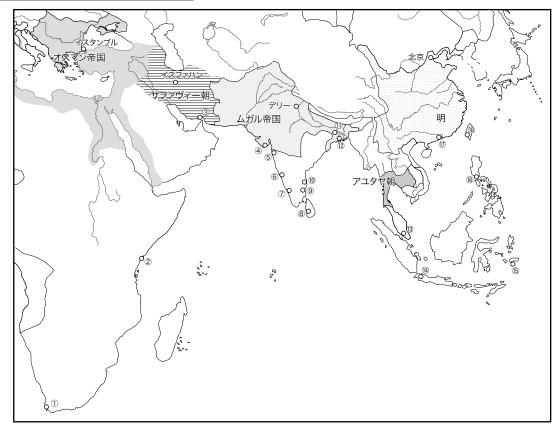
### ロシア

◎ス	ウェーデン系ノルマン人のルーシがドニエプル水系のスラヴ人地域に進出し,スラヴ人に同化
	- 862-1479 - ····862 年頃リューリク建国,バルト海と黒海を結ぶ交易路にルーシが進出
<u></u>	
(z_	882-1236 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
© 12	2世紀には貴族による大土地所有と農民の農奴化が進み,キエフ公国は衰退して諸公の分立が進む 
3	1243-1502 …1240 年 <sub>4</sub> …の遠征軍がキエフ公国を占領し支配 = 『タタールのくびき』 …ロシア諸侯を通じた間接統治,草原の道の交通路にロシア諸侯接続
	1547-1917 …モスクワ大公がツァーリ(皇帝)を称し、東ローマ帝国の継承を主張「第3のローマ」
5_	<b></b>
リ	位 1462-1505   ···1480 年 <sub>7</sub> <b>大公国</b> , <sub>3</sub> <b>国</b> より自立
ュ	
1	<u>位 1533-1584</u>   … <sub>8</sub> の称号を正式採用。初代ロシア皇帝を自称。 <sub>10</sub> 制を強化
リ	
ク	
朝	│ │
	位 1613-1645   ··· リューリク朝滅亡の混乱後 <sub>15</sub>   <b>朝</b> 創始。農奴制をさらに強化
マ	* <sub>16</sub>
フ	位 1672 – 1725   ···1689 年 <sub>18</sub>
朝	1072 = 1725
刊	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	戦争中 <sub>22</sub> 建設し首都
	位 1762 - 1796 …七年戦争でフリードリヒ 2 世に協力した夫ピョートル 3 世廃し即位
	23
	—— o 東方進出…漂流民(大黒屋光太夫)返還を口実に <sub>25</sub>
	<b>半島</b> のクリム=ハン国を併合, 黒海の商船航行権獲得
	」
	ポーランド分割
*	16 世紀後半, <sub>28</sub> <b>朝</b> の断絶→ <sub>29</sub> の下,王権が弱体化→国力の低下→分割で消滅
第一	一次(1772) <sub>{</sub> ロシアの <sub>23</sub> の進出を警戒したプロイセンの <u><b>フリードリヒ2世</b></u> 呼びかけ
	オーストリアのマリア・テレジアと 30も参加し、三国で分割
第二	二次(1793) 〉フランス革命に共鳴し,ポーランドで憲法制定→ロシア・プロイセン介入し分割
	31(アメリカ独立革命参加)の抵抗運動も敗北
	三次(1795) プロイセン・オーストリア・ロシア三国で分割し、ポーランドが消滅
1. ノブ:	ゴロド 2. キエフ 3. キプチャク = ハン 4. バトゥ 5. ロシア 6. イヴァン 3世 7. モスクワ 8. ツァーリ 9. イヴァン 4世
1. ノブ: 10. 農好	
1. ノブ: 10. 農奴 17. ピョ 23. エカ	ゴロド 2. キエフ 3. キプチャク=ハン 4. バトゥ 5. ロシア 6. イヴァン 3世 7. モスクワ 8. ツァーリ 9. イヴァン 4世 11. ロシア正教会 12. コサック 13. イェルマーク 14 ミハイル=ロマノフ 15. ロマノフ 16. ステンカ = ラージン

オランダ	一独立後,中継貿易	は進出し繁栄→航海法・英蘭	戦争でイギリスに圧迫され後退
*アジア貿易	1		ポルトガルの利益を奪う
			・スリランカを奪取
4	<b>事件</b> (1623)	で, <sub>5</sub> <b>諸島</b> より	)イギリスを排除→イギリスはインド進出へ
6———- <sup>Ľ</sup>	i領 →日中中継貿易に	ニ参入(江戸幕府の鎖国政策で対	日貿易独占, <sub>7</sub> の出島に拠点)
$\rightarrow_1$	台湾は 1661 年 <sub>8</sub>	にゼーランディア	"城奪われる→ 1683 年清朝支配
*新大陸貿易	西インド会	社設立。新大陸への黒人奴隷輸出	<b>さもおこなう</b>
9———	<b>植民地</b> …中	心都市は <u>ニュ<b>ーアムステルダム</b></u> -	→後にイギリスに奪われ, <u><b>ニューヨーク</b></u>
フランス	―コルベールの重商	1 主義政策→ 17 世紀末よりイ=	ギリスと海外植民地戦争
*大陸覇権 …	三十年戦争で 10	<b>左岸</b> など獲得→ <sub>11</sub> _	全盛
*海外進出 …	12	が東インド会社再建や王立マ、	ニュファクチュア設立など重商主義
インド… <sub>13-</sub>		_(マドラス近郊)と 14	(カルカッタ近郊)拠点
カ・	ーナティック戦争でテ	<sup>デ</sup> ュプレクス活躍	
西インド・・・	スペインよりイスパニ	ニョーラ島西部(現 15	) 獲得
→サンド	マングと命名し,奴隷	<b>‡制プランテーション経営(コー</b>	ヒーとサトウキビの栽培)
新大陸…ミ	シシッピ流域の <sub>16</sub>	Ł <sub>17</sub>	中心のカナダを経営
			<b>岸・アカディア・ニューファンドランドを英</b>
			カナダ・ミシシッピ以東ルイジアナを英
		植民地経営→17世紀末よりこ	
		<del></del>	Eし他国の中継貿易排除→ <sub>24</sub> <b>戦争</b>
		第二次百年戦争で北米・インドで	
			(ベンガル地方)を三大拠点
オーストリア約	<b>迷承戦争にカーナティ</b>	ック戦争,七年戦争時 <sub>30</sub>	<b>の戦い</b> (1757)でクライブ勝利
*西インド進出・	17 世紀ジャマイス	かを獲得し,砂糖の奴隷制プラン	ケーションを経営
→砂糖プラン	/ ターは本国に帰国し	、ジェントリとなって議会に進	出→白人による独立運動発生せず
*新大陸進出…	…13 植民地形成,ユ	トレヒト条約で 18 世紀の大西洋	三角貿易の <u>奴隷貿易</u> を主導
英仏植民地戦争 (	第二次百年戦争)		
* 17 世紀末より	北米とインドでイギ	リスとフランスの重商主義政策が	衝突
o ウィリアム王戦	战争(1689 ~ 97) ···	新大陸でファルツ継承戦争に呼帰	芯して開始,引き分けにおわる
O 31	<b>戦争</b> (1702 ~ 13)	…新大陸でスペイン継承戦争に	呼応して開始
→ <sub>32</sub>	<b>条約</b> …ハドソ	ン湾岸・アカディア・ニューフ	ァンドランドをイギリス領
oジョージ王戦争	· (1744~48) ····新	大陸でオーストリア継承戦争時に	こ行われ,決着つかず
0 33	<b>戦争</b> (1	$1744 \sim 48, 50 \sim 54, 58 \sim 61$	)…インドで行われ,初期はフランスが優勢
			<b>行して新大陸で開始し,イギリスが勝利</b>
			が,フランスとベンガル太守軍に勝利
			 をフランス
		 をスペインより獲得	
		 <b>ミシシッピ以西ルイジアナ</b> を割詞	襄し新大陸の植民地消滅
			<ol> <li>台湾 7. 長崎 8. 鄭成功 9. ニューネザーラント</li> </ol>

1. (私日) 泉インド云社 2. ハケワイ 3. マノワガ 4. ノンボイ 3. モルワガ 0. 日高 7. 長間 8. 頭成切 9. ニューネリーファイ 10. ライン 11. ルイ 14世 12. コルベール 13. ポンディシェリ 14. シャンデルナゴル 15. ハイチ 16 ルイジアナ 17. ケベック 18. アン女王 19. ユトレヒト 20. フレンチ = インディアン 21. パリ 22. クロムウェル 23. 航海 24. 英蘭 25. エリザベス 1世 26. 東インド会社 27. ボンベイ 28. マドラス 29. カルカッタ 30. プラッシー 31. アン女王 32. ユトレヒト 33. カーナティック 34. フレンチ = インディアン 35. プラッシー 36. クライブ 37. ケベック (カナダ) 38. ルイジアナ 39. フロリダ

#### ヨーロッパの"進出"



- ①ケープタウン …ポルトガル放棄の後, 1652年よりオランダ東インド会社が植民開始
- ②マリンディ …アフリカの港市で、鄭和の遠征隊の分遣隊も到来、ヴァスコ・ダ・ガマも寄航
- ③ホルムズ島 …ポルトガルがサファヴィー朝から奪う→アッバース1世に奪還
- ④ディウ …1509 年ディウ沖海戦でポルトガルがマムルーク朝艦隊に勝利
- ⑤**ボンベイ** …1661 年イギリスがポルトガルから譲り受ける。イギリスのインド三大拠点の一つ
- **⑥ゴア** …1510 年ポルトガルが占領し、ポルトガルのインド拠点、ザビエルはゴアの大司教
- ⑦**カリカット** …1498 年ポルトガルの**ヴァスコ・ダ・ガマ**が到着し, インド航路を実現
- ⑧コロンボ …1505 年ポルトガルが占領し、ポルトガルのセイロン支配→17 世紀にオランダが奪う
- ⑨ポンディシェリ …1672-74 年にフランスが獲得, フランスのインド進出拠点
- ⑩マドラス …1639-40 年にイギリスが支配,イギリスのインド三大拠点の一つ
- **⑪シャンデルナゴル**…1674 年にフランスが支配,フランスのインド進出拠点
- **②カルカッタ** …1690 年にイギリス東インド会社が商館設置, イギリスのインド三大拠点の一つ
- ③マラッカ …1511 年ポルトガルのアルブケルケがマラッカ王国を滅ぼしポルトガルの拠点
- ⑭**バタヴィア** …1619 年オランダ東インド会社が商館設置,オランダの東南アジア進出の拠点
- ⑮<u>アンボイナ</u>…1623 年オランダが雇用日本人を含むイギリス商館員全員を虐殺した<u>アンボイナ事件</u>発生
- (®マニラ …1571 年フェリペ2世時, 総督レガスピが建設し, スペインのフィリピン支配の拠点
- **⑰マカオ** …1557 年ポルトガルが居住権を獲得,中国の生糸と日本銀の中継貿易の拠点
- ®ゼーランディア …1624 年台湾を占領したオランダの拠点, 1661 年反清復明運動推進の鄭成功が占領

#### 世界システム論

- ◎従属理論…南北問題に注目し、先進国と新興独立国間における不平等な分業体制の構造を論じた理論
  - ・北側と南側との間に従属関係がつくられ、北側に経済発展が、南側に「低開発」が蓄積される構造を指摘
- ◎世界システム論…従属理論をウォーラーステインが発展させ、16世紀以降の歴史形成理論とした
  - ・中心/半周辺/周辺という構造を伴う国際分業体制が16世紀ヨーロッパで形成→世界に拡大→南北問題
  - ・16世紀ヨーロッパで成立し、世界に拡大した不平等な国際分業体制を「近代世界システム」と命名